

2025年版

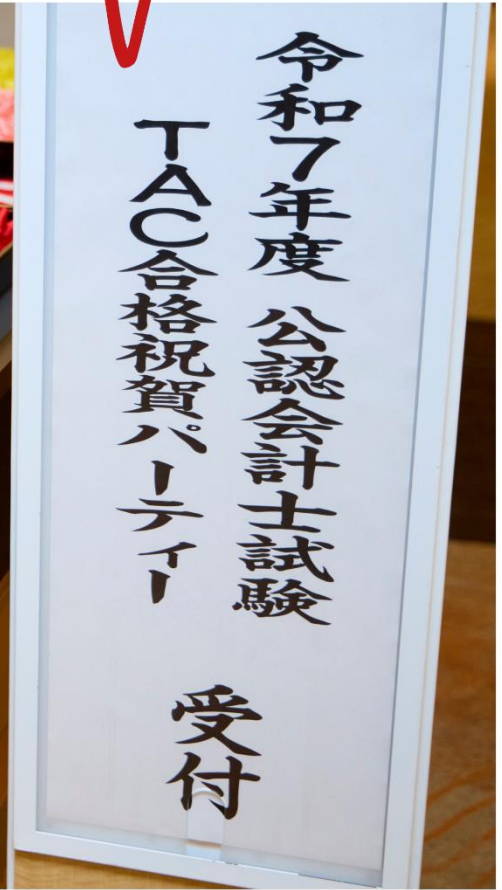


公認会計士試験

Success-Voice



合格者のメッセージに耳を傾けろ  
合格の方程式が  
ここにある！



令和7年度 公認会計士試験 合格体験記

TAC

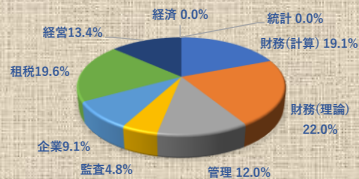
2025年度  
公認会計士試験  
合格者アンケート

# TAC DATA BANK

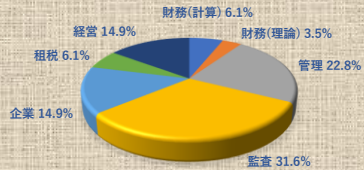
これから学習を始める皆さんにとって、合格者のデータは非常に有益な情報となるはずですが、実際にTACを利用して合格された方の科目別の学習比率やTACのサポート制度の利用状況などを、ご自身の状況と照らし合わせながら参考にしてください。



〈得意科目〉



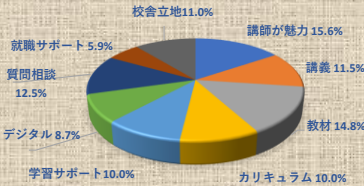
〈不得意科目〉



公認会計士試験の配点構成を踏まえ、配点比率の高い財務を基礎から着実に学習し、得点源としている合格者が多く見られます。

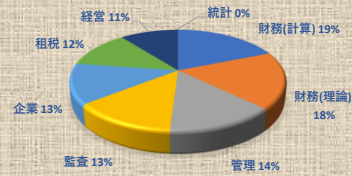
苦手科目については、答練等の結果に一喜一憂するのではなく、伸びしろと前向きに捉え、誤答箇所を徹底的に克服していく姿勢が共通しています。

〈TACの良かった点〉



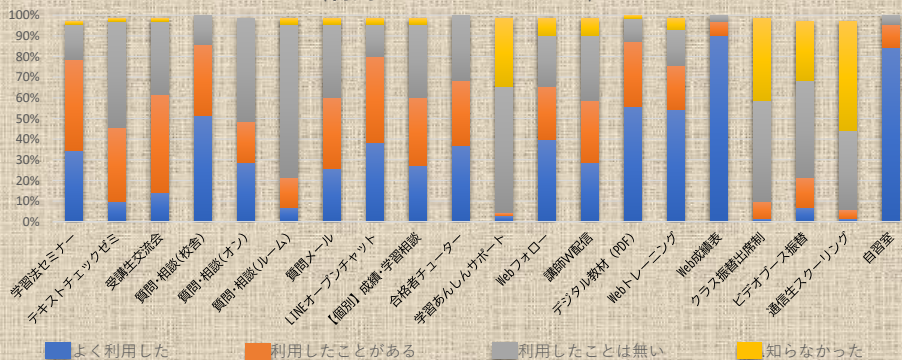
質の高い講義に加え、講師によるきめ細かな受講相談もTACの大きな特長であり、講師を身近に感じている受験生が多い。さらに、期ごとに学習方針を確認することで、相談が効率的な学習の促進につながったとの回答も見られる。

〈科目学習配分〉



科目別の傾向としては、財務に多くの学習時間を割く受験生が多い一方、時間をかけても苦手意識を持ちやすい科目として監査が挙げられます。これに対し、租税は学習時間に比して得意科目としている受験生の割合が高い傾向が見られます。

〈利用したTACのサービス〉



多くの合格者は「自習室」に毎日通うことを学習習慣として確立しています。そのうえで、「講師W配信」を活用し、自分に合った講師を選択して受講しています。また、答練を重ねながら「Web成績表」で弱点を把握し、着実に対策を行うことが合格につながって

「学習法セミナー」や「質問・相談」を通じて講師やチューターと積極的にコミュニケーションを図り、自身の学習方法を定期的に見直すことで、モチベーションを維持・向上させながら学習を進めています。

編集部より：比較的短期での合格者の共通点として、睡眠時間の確保を含め、日を跨がずに就寝の方が多く印象です。また、散歩や適度な運動、友達とも時間を決めてコミュニケーションを取るなどメリハリを付けながら気分転換と健康維持にも気を使っていることが伺えます。

# 2025年度 公認会計士試験 合格体験記

受験勉強の中で試行錯誤を重ね、自分なりの学習法を見出し、公認会計士試験合格を勝ち取った人たちが書いた体験記です。彼らだからこそ語れる、努力の軌跡や成功へのヒントがここにあります。この体験記には、同じ夢を追いかける皆さんへの熱いメッセージが込められています。合格者の声に耳を傾け、これからの道しるべとしてください！

## 在学中合格

- |  |   |   |  |
|--|---|---|--|
| <br>齋藤 圭太 さん<br>慶應義塾大学 2年 P 2       | <br>坂本 理人 さん<br>慶應義塾大学 2年 P 3        | <br>本間 宙 さん<br>慶應義塾大学 2年 P 4       | <br>井上 眺太 さん<br>慶應義塾大学 2年 P 5     |
| <br>角田 昂大 さん<br>早稲田大学 2年 P 6        | <br>小山 真太郎 さん<br>立命館大学 2年 P 7        | <br>中村 奏人 さん<br>関西学院大学 2年 P 8      | <br>弓削 陽大 さん<br>関西学院大学 2年 P 9     |
| <br>酒井 俊輔 さん<br>慶應義塾大学 2年 P 10      | <br>貝崎 礼奈 さん<br>慶應義塾大学 3年 P 11       | <br>櫻井 暖也 さん<br>慶應義塾大学 3年 P 12     | <br>小泉 涼華 さん<br>慶應義塾大学 3年 P 13    |
| <br>北野 紘平 さん<br>早稲田大学 3年 P 14       | <br>井内 啓太 さん<br>法政大学 3年 P 15         | <br>藤田 哲矢 さん<br>法政大学 3年 P 16       | <br>小林 美和 さん<br>法政大学 3年 P 17      |
| <br>北村 悠人 さん<br>法政大学 3年 P 18        | <br>宇都宮 叶太 さん<br>法政大学 3年 P 19        | <br>染谷 太翔 さん<br>青山学院大学 3年 P 20     | <br>服部 響太郎 さん<br>名古屋大学 3年 P 21    |
| <br>前田 陽斗 さん<br>名古屋大学 3年 P 22       | <br>栗山 莉々香 さん<br>同志社大学 3年 P 23       | <br>長谷 一輝 さん<br>同志社大学 3年 P 24      | <br>藤田 将大 さん<br>慶應義塾大学 3年 P 25    |
| <br>岩原 浩誠 さん<br>早稲田大学 3年 P 26       | <br>藤原 さくら さん<br>法政大学 3年 P 27        | <br>児山 優登史 さん<br>法政大学 3年 P 28      | <br>松本 大聖 さん<br>明治大学 3年 P 29      |
| <br>長谷 勇輝 さん<br>立教大学 3年 P 30        | <br>川口 隼人 さん<br>龍谷大学 3年 P 31         | <br>高田 祥平 さん<br>東北大学 4年 P 32       | <br>佐藤 里奈 さん<br>慶應義塾大学 4年 P 33    |
| <br>五月女 和真 さん<br>東京大学 4年 P 34       | <br>先山 希 さん<br>東洋大学 4年 P 35          | <br>高須 駿佑 さん<br>名古屋大学 4年 P 36      | <br>小森 涼介 さん<br>立命館大学 4年 P 37     |
| <br>鳥見 太志 さん<br>関西学院大学 4年 P 38      | <br>都築 美早 さん<br>神戸大学 4年 P 39         | <br>和田 空 さん<br>慶應義塾大学 4年 P 40      | <br>進士 翔太郎 さん<br>早稲田大学 4年 P 41    |
| <br>水野 圭太 さん<br>法政大学 4年 P 42        | <br>川崎 颯太 さん<br>法政大学 4年 P 43         | <br>後藤 剛己 さん<br>法政大学 4年 P 44       | <br>醍醐 蓮 さん<br>法政大学 4年 P 45       |
| <br>村瀬 莉子 さん<br>名古屋大学 4年 P 46     | <br>南海 健人 さん<br>名古屋大学 4年 P 47      | <br>荒川 陽紀 さん<br>南山大学 4年 P 48     | <br>立花 貴大 さん<br>同志社大学 4年 P 49   |
| <br>柴北 凌輔 さん<br>関西学院大学 4年 P 50    | <br>沖本 昂士 さん<br>神戸大学 4年 P 51       | <br>山本 朱璃 さん<br>北海道大学大学院 1年 P 52 | <br>牧 晃大 さん<br>早稲田大学大学院 2年 P 53 |
| <br>友草 嘉音 さん<br>兵庫県立大学大学院 1年 P 54 | <br>富田 翔太 さん<br>名古屋市立大学大学院 1年 P 55 |   |  |

## 社会人合格

- |  |   |   |   |
|--|---|---|---|
| <br>宗宮 聡 さん<br>東京大学大学院修了 P 56 | <br>古瀬 要 さん<br>早稲田大学卒業 P 57  | <br>西名 裕太 さん<br>京都大学大学院修了 P 58   | <br>片山 絢斗 さん<br>早稲田大学卒業 P 59 |
| <br>後藤 健太 さん<br>名古屋大学卒業 P 60  | <br>江藤 康祐 さん<br>早稲田大学中退 P 61 | <br>杉山 綾香 さん<br>大阪府立大学大学院修了 P 62 |   |

## 学習専念合格

- |  |   |   |  |
|--|---|---|--|
| <br>大西 優佑 さん<br>大阪市立大学卒業 P 63 | <br>田野入 昭人 さん<br>神村学園高校卒業 P 64 | <br>山越 秀悟 さん<br>明治学院大学中退 P 65  | <br>荻田 洵 さん<br>明治大学卒業 P 66    |
| <br>大宮 瑛 さん<br>神戸大学卒業 P 67    | <br>藤田 亮 さん<br>一橋大学卒業 P 68     | <br>松本 凜子 さん<br>早稲田大学卒業 P 69   | <br>藤木 栄人 さん<br>西南学院大学卒業 P 70 |
| <br>元畑 勇人 さん<br>一橋大学卒業 P 71   | <br>藤原 竜輝 さん<br>同志社大学卒業 P 72   | <br>大本 さくら さん<br>関西学院大学卒業 P 73 | <br>中西 晴哉 さん<br>関西学院大学卒業 P 74 |
| <br>山本 晃大 さん<br>千葉大学卒業 P 75   | <br>松原 千夏 さん<br>同志社大学卒業 P 76   | <br>森重 天満 さん<br>明治大学卒業 P 77    | <br>國廣 翔大 さん<br>福岡大学卒業 P 78   |
| <br>長谷川 雄一 さん<br>愛知大学卒業 P 79  | <br>安井 亮太郎 さん<br>立命館大学卒業 P 80  | <br>武富 勇太 さん<br>福岡大学卒業 P 81    | <br>高柳 佑斗 さん<br>法政大学卒業 P 82   |
| <br>宇都宮 大輝 さん<br>龍谷大学卒業 P 83  | <br>飯田 大賀 さん<br>東京農業大学卒業 P 84  | <br>坂本 龍一 さん<br>中京大学卒業 P 85    |  |

※次頁以降掲載の一発合格の印は、論文式試験における合格回数となります。

# SUCCESS VOICE

在学中合格



在学中  
一発合格

**齋藤 圭太** さん  
慶應義塾大学  
法学部 2年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学1年生 1年4ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	大学
1:00		13:00	
2:00	睡眠	14:00	TAC 自習
3:00		15:00	
4:00		16:00	
5:00		17:00	大学
6:00		18:00	
7:00	起床・食事	19:00	TAC 自習
8:00	移動	20:00	
9:00	TAC 自習	21:00	
10:00		22:00	移動
11:00	大学	23:00	食事・自由
12:00		24:00	睡眠

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約5時間 上級期 約8時間

## TACのココが良かった！

### 自習室

自分の通っていた校舎は、長机の他に隣の席とのあいだに衝立のあるブース席があり、あまり他の人を気にせずに勉強できる環境があったのが良かったと思います。また、校舎が大学の近くにあり、自習室に荷物をおいたまま、大学に行き、終了後にすぐに帰ってきて学習を再開することができたのがよかったと思います。

公認会計士試験は、正しい努力を積み重ねれば必ず乗り越えられる試験です

## 公認会計士を目指したきっかけ



私が会計士を目指そうと思った時期は大学1年生のはじめ頃です。私は大学受験を経験しておらず「一度人生で本気と言えるほど勉強に打ち込んでみたい」という強い思いがありました。

また、将来への漠然とした不安から、一生の武器になる専門性を身につけたいと考えたこと、そして合格していた友人の話を通じて会計という分野そのものに深い興味を抱いたことが重なり、挑戦を決意しました。

## TACを選んだ理由



TACを選んだ最大の理由は、大学の近くに校舎があり、大学生活と両立しやすい環境だったからです。予備校を検討するにあたって、簿記3級の体験講義に参加した際、講師の方の温かくアットホームな雰囲気を感じ、「ここなら長期間の受験勉強も乗り越えられそうだ」と感じました。

また、高校・大学の同級生が通っていたことも心強く、切磋琢磨できる仲間が作れると感じたことも決め手となりました。

## 具体的な学習方法



まず、学習初期から学習時間管理アプリを利用して勉強時間を記録し、積み上げを可視化しました。客観的な数値で進捗を把握することは、中だるみを防ぐのに有効でした。学習場所については、「自習室と電車内以外は勉強しない」というルールを徹底していました。自宅では一切勉強しないと決めることで、自習室にいる時間の集中力を高め、生活にメリハリをつけました。

この試験は長期戦になるため、無理をしないことが重要です。そのため、定期的に大学の友人と食事や遊びに行く時間を確保し、精神的な負荷を調整していました。

また、モチベーションに左右されず学習を習慣化するため、毎日必ず自習室へ行くことを自分に課していました。加えて、TACで作った学習中間の存在も大きかったです。単なる雑談だけでなく、特定の教材の効果的な活用方法について議論するなど、勉強にあたって有益な関係を築けました。お互いに学習方法を相談したり、適度な息抜きを共にしたりすることで、最後まで安定して学習を続けることができたと思います。

入門・基礎期には、核となる計算科目の習得を優先し、多くの時間を割きました。復習を重視し、忘却曲線に従って、講義の当日または翌日、3日後、7日後、14日後、28日後に復習を行うスケジュールを組みました。このように仕組み化することで、モチベーションに左右されずに淡々と学習をこなすことができ、スケジュール管理も容易になりました。

上級期以降は、科目数が増えるため科目間のバランスを最優先しました。毎朝、学習を開始する前に各科目のタスクと時間配分を決定し、それに沿って進めることで、偏りのない学習ができました。もし計画通りに進まない場合でも、未完了分を翌日や週末に柔軟にスライドさせることで、自分を責めずに前向きな気持ちを保つよう工夫していました。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



合格への最大のポイントは、学習を継続することにあると思います。長期間にわたる試験勉強を乗り切るためには、単なる意志の力だけに頼らず、モチベーションを適切に管理し、自然と机に向かえるような仕組みを作ることが重要です。そのための近道として、適度なりフレッシュを取り入れたり、TACの講師やチューターを積極的に活用したりすることをお勧めします。一人で悩まず、利用できる環境を最大限に活かすことが、結果的に学習の効率化に繋がります。

公認会計士試験は、正しい努力を積み重ねれば必ず乗り越えられる試験です。自分の可能性を信じて、ぜひ挑戦への一歩を踏み出してください。

対面講義や問題集、Webトレーニング、チューターや講師への質問など、フル活用が合格への近道

在学中合格



在学中  
一発合格

**坂本 理人** さん  
慶應義塾大学  
商学部 2年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学1年の春 1年4ヵ月

1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	食事
2:00		14:00	大学
3:00	睡眠	15:00	
4:00		16:00	おやつ
5:00		17:00	
6:00		18:00	TAC 自習
7:00		19:00	
8:00	起床	20:00	
9:00	通学	21:00	サークル
10:00	大学	22:00	帰宅
11:00	TAC 自習	23:00	自由
12:00		24:00	睡眠

1日の平均学習時間

入門・基礎期 約4時間 上級期 約7時間

TACのココが良かった！

自習室

一人ひとりのスペースが広く、ついたてもあり、周囲を気にせず集中できました。また、ロッカーに大量の教材をすべて保管できたのも便利で助かりました。さらに受付スタッフの方々も親切で、安心して通える環境が整っており、楽しく学習を続けることができました。

公認会計士を目指したきっかけ



大学1年生の春、TACで簿記3級の体験講義を受けたことがきっかけです。講義を通して会計の面白さを実感するとともに、社会に出る前に自分の武器となる専門性を身につけたいと考えるようになり、会計士講座の受講を決意しました。

TACを選んだ理由



TACを選んだ理由は、アットホームな雰囲気の魅力を感じたからです。先生や受付の方との距離や、受講生同士の距離がとても近く、温かみを感じました。また、講義や質問コーナーなど、対面でのサポートが充実しているうえ、校舎内で先輩たちが楽しそうに勉強している様子を見て、学習のモチベーションを保てると感じました。

具体的な学習方法



メリハリを強く意識して学習を進めていました。教材や勉強道具はすべてTACのロッカーに置き、TACの自習室以外では勉強せず、逆に校舎に来たときには人一倍集中して取り組むようにしていました。

また、大学の先輩でもあるTACのチューターの方に、大学の授業の取り方や、履修の組み方といったアドバイスも貰い、効率的に大学との両立を達成することができました。

また、サークルは忙しい時期とそうでない時期の緩急が大きいイベント系のサークルに所属していたため、イベントの時期はサークル活動を全力で楽しみ、学習との切り替えを意識してメリハリをつけていました。メリハリをつけながら、集中力を保って勉強できたのが、モチベーション維持の秘訣だったと思います。

短答期のうちに理解をしっかりと固めることを意識しました。早いうちから基礎を確実に身につけることで、時間の限られる論文期に、重要論証の暗記や租税法・経営学の学習に集中できる時間を確保できました。

また、一つ一つの講義を大切に受けることを心掛けていました。講義直後の、自分の理解が最もフレッシュなタイミングで復習を完璧にやり切るようにしていました。

ちなみに気分転換には、TACの校舎近くのコンビニでデザートを買って休憩する時間を作っていました。勉強の合間にリフレッシュすることで集中力を維持でき、長時間の学習でも疲れすぎず続けることができました。メリハリをつけつつ、一歩ずつ着実に進めることが合格への鍵だと思えます。

TACの一番の魅力は、対面の講義や質問コーナーが充実している点です。疑問点をその場で直接質問できるため理解が深まります。また、先生方が対面で丁寧にフォローしてくださるので、学習ペースを崩さず順調に勉強を進めることができました。

公認会計士を目指す方へのメッセージ



公認会計士試験は範囲も広くとても大変な道のりですが、合格のポイントはTACのサービスをとことん使い倒すことです。

対面講義や各種問題集、Webトレーニング、質問コーナーなど、利用できるものはすべて活用してください。分からないことや迷ったことは、先生方やチューターに遠慮せず相談するのが成功への近道です。私もチューターとして、皆さんが安心して学習を進められるようサポートしていきます。

自分を信じてぜひ、一歩ずつ前に進んでください。努力は必ず実を結びます。皆さんの合格を心から応援しています。

# SUCCESS VOICE



在学中  
一発合格

**本間 宙** さん  
慶応義塾大学  
経済学部 2年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

高校3年生の11月 1年9ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00	自由時間	12:00	昼食
1:00		13:00	
2:00		14:00	TAC
3:00		15:00	
4:00	睡眠	16:00	休憩
5:00		17:00	
6:00		18:00	
7:00		19:00	TAC
8:00	食事	20:00	
9:00	移動	21:00	
10:00		22:00	移動
11:00	大学	23:00	自由時間
12:00		24:00	

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約5時間 上級期 約8時間

## TACのココが良かった！

### 自習室

家で勉強があまりできないタイプだったので入門期から最後までずっと自習室で勉強していた。日吉校はあまり混んでおらず、ほぼ毎日同じ席で同じように勉強することができたのでとても集中できて良かった。また周りに受験生仲間がいたこともよかった。

**TACで高3で合格した友人の勧めや、校舎の雰囲気良さにも惹かれてTACでスタート！**

## 公認会計士を目指したきっかけ



高校3年生の11月に公認会計士の勉強を目指そうと決めた。高校の部活を引退しやることなく将来の不安から公認会計士の安定性にひかれた。またすでに高校3年生で合格している友人や自分が始める少し前に勉強を始めた友人がいて影響を受けた。

## TACを選んだ理由



高校3年生で合格した友人がTAC出身だったことやその友人経由で入った別の友人もTACに入っていたため自分も話を聞いてみようというTAC日吉校にいったところ、受付の方や講師の方の対応がとても良く、また、校舎の雰囲気良さなどに惹かれたため特に他の予備校と比較することなく簿記3級の体験講座からスタートしそのままTACで公認会計士の勉強を始めた。

## 具体的な学習方法



自分が受験生活を振り返って学習継続やモチベーション維持のために日々気を付けていたことは定期的に会計士受験生以外の友人と会うことだった。大学の授業も出席する必要がなく勉強に充てられる時間も週で1コマか2コマは人と話すために出席していた。TACの自習室が午後9時半で閉まったあとに友人と会うことをモチベーションに昼間の勉強に励んでいた。

大学のテストは、普段はまったく勉強せず、数日前や前日に会計士の勉強をほとんどせず、大学のテストのために詰め込む日を作り、友人と一緒に勉強することで逆に息抜きとすることができた。

また普段から家に帰ったらまったく勉強をしないと決めることで、オンとオフをはっきりさせメリハリをもって勉強していた。

すべての時期においてできる限り計画通りに進めることを心がけていた。勉強を始めるのが遅くカリキュラム通りに進めることができなかったが、講師の方にいつまでどこまで進めるかの目安を決めてもらい、それに沿って進めていった。

アクセスや答練が始まる時期には追いつき完成度が高くなくても日程通りに受けることを大事にしていた。また、学習方法については、家では一切勉強しないと決め基本的に学校以外は毎日自習室に来ていた。

休みの取り方は自習室の空いている時間はできる限り避け、閉まった後に友人と遊んだりしていた。また短答後の12月と1月の2か月間も旅行に行ったり遊んだりして休んでいた。勉強中の休憩時間はコンビニで買ったものを校舎の周りを散歩しながら食べるというのをよくやっていた。また勉強していて眠くなったら無理せず寝ることにしていた。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



私が思う合格のポイントはいかに勉強を中断しないかだと思う。しっかりとカリキュラム通りに講義などを進め、本番にできるようになっていれば何の問題もないと思うので、たとえ答練などで点が取れなくても諦めないことや、勉強だけになるとどうしても続かないので、自分なりのリフレッシュ方法を見つけて勉強を継続させることが大切だと私は感じた。

また、そのためには周りの家族や友人などの協力が必要不可欠なので感謝したい。目指す方も諦めず続ければ合格できると思うので頑張ってください。



**在学中  
一発合格**

**井上 晁太 さん**  
慶應義塾大学  
経済学部 2年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

高校生の頃 2年6ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	食事
1:00		13:00	大学授業
2:00	睡眠	14:00	
3:00		15:00	
4:00		16:00	
5:00		17:00	TAC学習
6:00	起床	18:00	
7:00		電車	19:00
8:00		20:00	
9:00	TAC自習	21:00	
10:00		22:00	電車
11:00		23:00	風呂
12:00		24:00	睡眠

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約6時間 上級期 約8時間

## TACのココが良かった！

### 自習室

周りにも同じ公認会計士試験合格を目指す受験生仲間が勉強していたので自分も頑張らなきゃいけないとやる気が出ました。また勉強場所で悩む必要がなかったため勉強だけに集中することができて良い環境だと思いました。

**TACのカリキュラムやテキスト、答練などの完成度が高いので特に悩まずに合格ができた！**

## 公認会計士を目指したきっかけ



高校生の頃、日本経済の成長を後押しし、自らが先頭に立って牽引していけるような人になりたいという目標を持っていました。そして会社のプロフェッショナルである公認会計士の試験勉強で得られる知識は私の目標達成に大きく貢献すると思い会計士を目指そうと思いました。

## TACを選んだ理由



友人がTACで勉強していたため、ここで勉強すれば合格できるという安心感があったためTACを選びました。また予備校の受付の方がとてもフレンドリーでここに毎日通いたいなと思ったのも理由の一つになります。

## 具体的な学習方法



自分は何かと両立できるほど器用な人間ではないとわかっていたので、合格するまでは部活やアルバイトなどはせずに勉強に専念していました。会計士受験生以外の友人も合格するまでは遊んだりはせずに勉強だけの環境を自分で作っていました。

大学の授業に関してもなるべく出席とテストのない科目を中心に取り、公認会計士試験の勉強の支障にならないようにしていました。大学の勉強との両立は全くできておらず成績は最悪でした。ただ公認会計士試験の勉強に振り切ったおかげで一発で合格することができたと思うので後悔はありませんでした。モチベーションについては毎回の答練やアクセスでいい順位を取りたいという強い気持ちがあったため勉強に対するモチベーションを継続して高く保つことができたと思います。

短答の上級期、直前期に入ると計算科目の復習に時間を割くことができないため、入門基礎マスター期に財務会計論の計算科目を固めることを意識して勉強していました。上級期では、アクセスに向けた予習に時間を多く割いて理論はテキストの精読と講義を見進めていました。直前期はアクセスの復習と理論科目のテキストの精読、問題集の回転をしていました。

時間配分の比率は計算と理論で2：8でした。論文期は答練の予習を繰り返していたらいつの間にか本試験になっていたという感覚でした。

理論問題集の論証暗記等を中心に租税法の計算にもある程度の時間を割いていました。財務と管理の計算にはあまり時間割いていませんでした。経営学は、ファイナンスは一度身につければ大体の問題は解けるようになったのであまり時間は割かず経営管理に時間を割いていました。

TACは、カリキュラムやテキスト、答練などの完成度が高いので、TACにしたがって勉強すれば問題なく合格することができるところを一番に推したいと思います。私自身TACのカリキュラムやテキスト、答練などの完成度が高いおかげで特に悩まずに合格ができたと思っています。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



公認会計士になればキャリアの幅が大きく広がると思っています。会計など会社に関する高度な知識を有するプロフェッショナルはどこにいても重宝されるのではないかと思います。

勉強していると途中で挫折に近い経験をすると思いますが、自分は何故公認会計士を目指そうと思ったのか、自分の夢は何かを思い出して頑張ってください。合格すれば、自分の夢にも大きく近づけると思っています。

また大変な時は講師の方々に頼りましょう。

# SUCCESS VOICE



在学中  
一発合格

**角田 昂大** さん  
早稲田大学  
商学部 2年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学入学時 1年5ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	食事
1:00		13:00	大学
2:00		14:00	
3:00	睡眠	15:00	
4:00		16:00	自習
5:00		17:00	
6:00	起床	18:00	
7:00	食事	19:00	講義
8:00	通学	20:00	
	自習	21:00	通学
9:00		22:00	食事
10:00	大学	23:00	自由
11:00		24:00	睡眠
12:00			

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約4時間 上級期 約8時間

## TACのココが良かった！

### 自習室

TACの自習室は基本的に毎日開放されているため、毎日自習室に行くことをルーティンに組み込むことで、しっかりと自習することができました。また、自習室では他の受講生の方も自習されており、他人の目を意識して、集中することができました。

## TACの自習室に毎日行くことをルーティンに組み込むことで、集中して学習できた

## 公認会計士を目指したきっかけ



会計士を目指したのは、高校1年生の時に日商簿記2級を独学で取得したことがきっかけです。高校受験が終わり、「何か受験勉強とは関係ないことを勉強してみたい」と思い、会計・簿記の勉強を始めました。そこから、会計・簿記の面白さに気づき、大学入学を機に会計士試験の受験を決めました。

## TACを選んだ理由



日商簿記2級を学習した際、TAC出版の参考書を利用したことがきっかけです。当時、私は高校1年生でアルバイト経験などもなく、会計とは無縁の生活をしていました。ですが、そんな私でも簡単に内容を理解することができ、1発合格することができました。そのため、会計士試験を受験する際も、「TACなら合格させてくれる」という安心感があったので、TACを選びました。

## 具体的な学習方法



私が学習継続のために気を付けていたのは、「1つでも他の受験生より自分が優れている点を見つけること」です。私は短期合格のコースで受講していたため、カリキュラムから大幅にずれた状態から学習を始めました。そのため、カリキュラム通りに学習している他の受験生と比べると、知識や計算力、点数の取り方など、足りてない部分が多くあると感じていました。ですが、このような気持ちになったとしても、誰よりも早く自習室に行って、誰よりも遅く自習室から出るというのを心掛け、自習室滞在時間は誰にも負けていないという状況を作りました。これを意識することで、長時間勉強することができるようえ、他の受験生からの引け目を感じることなく、自習することができました。

また、模試や答案練習などで、正答率が低い問題を正答できた際は、「他の受験生ができていない部分が得点できて良かった」と思うようにして、できるだけ自分のマイナスな面に目を向けないようにしました。

私は基本的に毎日自習室に行くことを心掛けていましたが、朝起きられず、寝坊してしまった日は終日休むというスタイルで、休息を取っていました。特に学習をはじめた時は、休息を取ってしまうと、遅れを取ってしまうのではないかと不安な気持ちと勉強できなかった罪悪感でいっぱいでした。ですが、ある時、TACの講師の方に「休憩も勉強のうち。合格のために必要な休憩と考えるようにしてみて。」という言葉をかけていただきました。

これ以降の休息日の時、私は全く勉強のことを考えることなく休むことができました。このスタイルのポイントは、休息日に勉強のことを考えてはいけないという点です。勉強のことを考えてしまうと、焦りがでてしまうことで、勉強し始めてしまい、十分な休息が取れないことがあります。なので、テキストを目に付かない場所にしまっておくなど、工夫するのがおすすめです。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



三大国家資格の一つとされている公認会計士。この合格体験記を読まれている皆さんは、どのような印象をお持ちでしょうか。

『真面目にやった人から報われる試験設計になっている。天才の人だけ受かってほしかったら、天才的な技能を要求する科目の配点を上げますよ。』(TAC公式YouTube ★短答リスタートセミナー★何を覚えれば短答に合格できる?)の岡本講師より)

この言葉を聞いて、何を感じたでしょうか。私が勉強していた際、この言葉を聞いて、「絶対にそんなことはない。合格者は何らかの才能を持っている。」と思いました。しかし、合格した今、これが誤りであったことに気が付きました。

公認会計士試験に才能は関係なく、時間をかけてしっかりと理解した人が受かる試験であると、胸を張って言えます。

毎日TACの自習室に通い、勉強を生活の一部として習慣化できたことが学習継続の要因



在学中  
一発合格

小山 眞太郎 さん  
立命館大学  
経営学部 2年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間  
高校時代 3年0ヵ月

1日のスケジュール

0:00	自由	12:00	食事
1:00		13:00	
2:00		14:00	学校
3:00		15:00	
4:00	睡眠	16:00	移動
5:00		17:00	
6:00		18:00	
7:00	起床	19:00	TAC
8:00	食事	20:00	自習
9:00	移動	21:00	
10:00		22:00	
11:00	学校	23:00	移動
12:00		24:00	自由

1日の平均学習時間

入門・基礎期 約3時間 上級期 約6時間

TACのココが良かった！

自習室

自習室は学習に集中できる環境が整っており、日々の学習習慣を安定して維持できた点が一番良かったです。周囲に同じ目標を持つ受験生がいることで自然と緊張感が生まれ、モチベーションの維持にもつながりました。長時間の学習でも集中力を保ちやすかったです。

公認会計士を目指したきっかけ



内部進学制度により大学受験の必要がなく、高校時代に比較的時間の余裕があったため、その時間を将来につながる学習に使いたいと考えました。その中で、会計分野に携わる親の勧めもあり、専門性を身につけられる公認会計士という資格に魅力を感じ目指しました。

TACを選んだ理由



TACを選んだ理由は、合格実績の高さと学習環境の充実度に魅力を感じたからです。講義・教材・答練が体系的に整っており、初学者でも学習の方向性に迷わず取り組めると感じました。

さらに、自習室やWebフォローなど学習を継続しやすいサポート体制が整っている点も決め手となり、長期間の学習でも安心して取り組めると考えました。

具体的な学習方法



受験生活を振り返ると、合格まで学習を継続できた一番の要因は、毎日自習室に通い、勉強を生活の一部として習慣化できたことだと感じています。自習室に足を運ぶことで自然と勉強モードに切り替わり、「毎日机に向かうこと」が当たり前になりました。

また、同じ目標を持つ受験仲間と仲良くなり、互いに刺激を受けながら切磋琢磨できたことも大きな支えでした。さらに、毎日の勉強終わりには高校からの友人と会ってリフレッシュすることで、精神的な負担を溜め込まずに学習を続けることができたため、周囲の友人や受験仲間には本当に感謝しています。加えて、合格した自分の姿を常に想像し、努力が実を結ぶ瞬間を思い描くことで、モチベーションを維持していました。それだけでなく、TACの近くで美味しいご飯のお店を探すなど、小さな楽しみを見つけることも長期戦の受験勉強を前向きに乗り切る工夫の一つでした。

2024年目標で学習を始めた当初は、会計士試験の難しさを甘く見ており、講義をとりあえず受けるだけで復習をほとんど行っていませんでした。今振り返ると、本当にあり得ないと思います。その結果、理解を伴わないまま暗記に頼り、短答式試験の直前には結論や解法を無理やり覚えて試験に臨むという学習をしてしまい、短答過年度という結果になりました。

しかし、2025年目標に切り替えてからは改心し、理解を重視した学習に取り組みました。テキストを丁寧に読み込み、トレーニングも一から解き直すことで、基礎を固めることを最優先にしました。この基礎固めこそが合格への一番の近道だったと感じています。

短答直前期は、計算科目はアクセスを回し、理論科目は答練やアクセスの肢を回して知識の定着を図りました。これらはTACの予想問題でもあるため、TACを信じて学習を進めることが大切だと思います。

論文期では、租税法・経営学・財務理論に特に力を入れ、理解を意識した勉強を心がけました。理論科目の暗記量が非常に多いため、十分な勉強時間をとれない計算科目は短答期の知識を維持するイメージで取り組みました。また、論証暗記にはタイピング勉強法がおすすめです。どんな難解な文章でも、声に出しながら5~10回入力することで覚えることができます。手書きよりも時間がかからず、手を動かすことで眠気覚ましや気分転換にもなるのでぜひ取り入れてみてください。

公認会計士を目指す方へのメッセージ



勉強のやる気が出ない時や、模試・答練の結果が悪い時でも、決して諦めないでほしいということです。私自身、成績に悩み、不安や焦りを感じることも何度もありました。それでも学習を続けられたのは、一人で抱え込まず、講師やチューター、受験仲間など周りの人を頼ることができたからだと思います。

会計士試験は長期戦であり、常に前向きでいることは難しいですが、継続すれば必ず力は積み上がります。周囲の支えを力に変えて、頑張ってください。

# SUCCESS VOICE



在学中  
一発合格

**中村 奏人** さん  
関西学院大学  
商学部 2年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

高校1年生 2年10ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	食事
1:00		13:00	
2:00		14:00	
3:00	睡眠	15:00	TAC
4:00		16:00	自習
5:00		17:00	
6:00		18:00	食事
7:00	起床	19:00	TAC
	食事	20:00	自習
	移動	21:00	移動
8:00		22:00	自由
9:00		23:00	
10:00	TAC	24:00	睡眠
	自習		
11:00			
12:00			

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約4時間 上級期 約6時間

## TACのココが良かった！

### 受講生交流会

この試験では周りの人たちの勉強法などをよく聞き、賢い人の勉強法をどんどん取り入れて行くことが大事だと考えているので、受験仲間を作ることができる機会はとても重要だと思ったためです。また、友達と話すことでメンタルが保たれることもあるので人と助け合うためにも友達は大切だと思っているためです。

## 受講生交流会で、受験仲間を作って、賢い人の勉強法をどんどん取り入れました

### 公認会計士を目指したきっかけ



高校1年生のときの、自分の将来について考えてみようというテーマの授業の中で、様々な職業を調べていて出会いました。

そしてその時に、弁護士と並ぶ3大国家資格である点や、給料が良い点に惹かれ、会計士を目指そうと思いました。

### TACを選んだ理由



YouTubeで公認会計士試験について検索したところ、TACの講師の方である小山さんのチャンネルを見つけ、その方の動画を見て公認会計士という職業や受験についての知識を得たため、TACを選びました。

また、高い合格実績や、他の予備校と比べ入会の際の相談を親身に聞いてくださったのもTACに決めた理由の1つです。

### 具体的な学習方法



まずは、友達を作って、一緒に勉強することを意識していました。友達と一緒にというのはお話ししながら勉強するのではなく、自習室で同じ教室で勉強して、ご飯を一緒に食べていました。毎日一人で黙々と勉強を続けていると誰とも話さなくなるためメンタルが傾きやすくなってしまいます。そのため、同じ勉強をしていて気を許すことができる友達をつくり、適度に雑談なども交え休憩しながらお互い切磋琢磨することでメンタルが安定し、モチベーションを維持することができていました。また、友達を作ることで、わからないところを聞くこともできます。講師の方に質問できる時間は限られているため、友達に聞くことでお互い理解が深まると思います。

入門・基礎期や、上級期については、日程通りに授業を見てその復習をしっかりやることにフォーカスすることが大事だと思います。授業が多くなってくと復習が追い付かなくなってしまうと思いますが、完璧主義になりすぎず、次の授業に進んでいく勇気も大切だと思います。カリキュラムの日程から大幅に遅れてしまうと取り返しのつかないことになる可能性があるため、まずは遅れないことを意識していただきたいです。

一方で短答直前期には、答練や模試などをペースメーカーとしながら次の答練への目標を設定し、それに基づいて予定を立てていくと良いと思います。

論文期については、科目数が増え、毎日全ての教科に触れることが難しくなります。また答練も増え、慌ただしい日々が続きます。そのため、長期的な予定を立てるのが難しいです。そこで、直近の答練に向けて勉強するという方針を継続するのが良いと思います。

休みの取り方については、校舎は基本毎日朝から夜まで空いていますが、日曜日は夕方18時に閉まるため、日曜日の18時以降は勉強しないと決め、友達とご飯に行ったりして休みをとっていました。勉強方法としては、計算科目でも理論科目でもまずはその章の全体像を把握することを意識するとよいと思います。そうすることで、暗記量を減らすことができ、勉強の効率が良くなると思います。

### 公認会計士を目指す方へのメッセージ



ズバリ合格のポイントは受験仲間だと思います！！辛い時はお互いに助け合い、嬉しい時は喜びを分かち合う事でお互いに切磋琢磨していくことが合格への近道だと僕は考えています。この長い勉強期間中の友達はこれからも長い付き合いになり、またご飯を食べている時にした何気ない世間話や、答練や模試、本試験後にみんなでご飯を食べに行った思い出などは一生の宝物になると思うので、皆さんもぜひ受験仲間を作ってみんなで一緒に合格して下さい！！

また、僕が合格するまで支えてくれた家族や友達、先生方、そして一緒に勉強してくれたTACのみんなにはとても感謝しています。これからは今までの分までお世話になったすべての方に恩返ししていきたいです！！



在学中  
一発合格

**弓削 陽大 さん**  
関西学院大学  
商学部 2年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

高校時代 1年9ヵ月

1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	昼食
2:00		14:00	移動
3:00	睡眠	15:00	
4:00		16:00	学校
5:00		17:00	
6:00		18:00	
7:00	準備 移動	19:00	自習
8:00		20:00	
9:00		21:00	移動
10:00	自習	22:00	食事
11:00		23:00	睡眠準備
12:00		24:00	睡眠

1日の平均学習時間

入門・基礎期 約5時間 上級期 約9時間

TACのココが良かった！

受講生交流会

大学の先輩などのつながりがある人たちと知り合うことができ、受講生同士で情報を交換できるようになったことが良かったと思います。また、成績などを競い合える仲間とも出会えました。一人知り合いができると、そこから交友関係が広がっていったので、きっかけとして良かったと思います。

成果が出ず、不安や焦りを感じたら、先生やチューターへの相談が精神的にも大きな支えになります

公認会計士を目指したきっかけ



高校にTACの先生が授業をしに来てくださり、自分は授業を受けることはできなかったのですが、授業を受けている友人に話を聞いたことがきっかけでした。高校三年生の部活引退時に、将来について考えたときに、中学の同級生が国公立大学を目指して勉強していることを知り不安を感じ、人生で一度は本気で勉強しようと思ったため会計士を目指そうと思いました。

TACを選んだ理由



私がTACを選んだ最大の理由は、高校時代に会計士の勉強を始めるきっかけとなった授業をしてくださった会計士の先生がTACの教壇に立たれていたからです。TACはいままで数多くの合格者を輩出していることもあり、合格に必要な膨大な量のデータベースを有しているため、受講生のことをとことん考え抜かれて作成されたカリキュラムに必死についていくことを意識することで合格という結果がついてきやすくなったと感じました。

具体的な学習方法



私は、合格に向けて学習を継続し、モチベーションを維持するために、日々の行動や環境づくりを特に意識していました。

第一に、受講生仲間を積極的に作り、互いに競い合える関係を築いていました。周囲に努力している仲間がいることで、「自分も負けていられない」という競争心が生まれます。またランキング表に知り合いの名前が載っているときには負けたくないと努力できるようになり、学習量と質の向上につながりました。

次に、携帯電話の使用を禁止せず、あえて自由に使える状態にしていました。過度な制限は逆効果になると考え、周囲が勉強している中で携帯を触ってしまった際の罪悪感を、自分を律する材料として活用していました。

また、受講生の中での自分の立ち位置を常に把握することを意識して、現状を冷静に見つめ、過信や不安を避け、適切な目標設定が可能になりました。

まず、気分転換の方法として特に効果的だったのが、チューターと話す時間を意識的に設けていたことです。学習の悩みや進捗状況を共有することで頭の整理ができるだけでなく、勉強から一時的に離れても「サボっている」という罪悪感を持たずにリフレッシュすることができました。その結果、良好なメンタルで勉強ができました。勉強時間の確保については、短答式試験前の夏に「1日10時間勉強すること」を一つの目標として設定しました。最初は現実的な時間から始め、少しずつ勉強時間を伸ばして段階的に負荷を高めることで、心身への負担を抑えつつ、長時間学習に耐えられる習慣を身につけることができました。また、答練や模試の日程から逆算して、1週間単位で学習計画を立てていました。日曜日は予定を詰め込まず、平日に消化しきれなかったタスクを終わらせるための調整日として活用していました。余裕を持った計画を立てることで、予定通りに進まなかった場合でも焦らずに対応することができました。

さらに、食事後など眠気が出やすい時間帯には、理論科目ではなく計算問題に取り組むようにしていました。手を動かして考える作業に切り替えることで眠気を抑え、時間帯に応じた効率的な学習が可能になりました。

公認会計士を目指す方へのメッセージ



合格の最大のポイントは「諦めずに最後までやり切る強い意志」と「自分に合った勉強法」を見つけることです。会計士試験は短期間で結果が出るものではなく、長い時間をかけて向き合う試験です。そのため、たくさんの人の勉強法を試してみて、自分に合った学習スタイルを探ることが重要だと思います。

また、途中で思うように成果が出ず、不安や焦りを感じる時期も必ずあります。そうした場面では、先生やチューターを早めに、そして積極的に活用してほしいです。アドバイスをもらうことで、自分の立ち位置が把握でき、精神的にも大きな支えになります。周囲の力も借りて前進し続けられれば、合格は必ず現実的な目標になります。自分を信じて挑戦し続けてください。

# SUCCESS VOICE



在学中合格

**酒井 俊輔** さん  
慶應義塾大学  
経済学部 2年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

高校 1年

2年4ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00	睡眠	13:00	食事
2:00		14:00	大学
3:00		15:00	
4:00		16:00	
5:00	移動	17:00	
6:00		18:00	自習
7:00	部活	19:00	
8:00		20:00	
9:00		21:00	移動
10:00	自習	22:00	食事
11:00		23:00	睡眠
12:00		24:00	

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約4時間 上級期 約6時間

## TACのココが良かった！

### 質問メール

質問メールでは、自宅などの校舎以外の場所で勉強している際に生じた疑問を手軽に解消する事が出来た。また、講師やチューターの方に質問する事よりも、ハードルが低いため、受験生時代は多数使用した。基本的に24時間以内で返信が返ってくる点も良かった。

隙間時間を活用し勉強習慣を身につけ、地道に勉強を継続して、体育会部活動と両立し合格！

## 公認会計士を目指したきっかけ



会計士を目指したきっかけは、自分が高校一年生の時に友人が会計士の勉強を始めたことで、自分は高校二年生の際に勉強を始めました。

当時の自分は、会計士という職業を認知していませんでしたが、監査業務を通じて市場の透明性を確保するという独占業務に憧れを持ち、会計士を目指しました。

## TACを選んだ理由



TACを選んだ一番の理由は、他の予備校と比べて、サポート制度が充実していることです。

会計士試験は範囲が膨大で、日常生活の多くを勉強に割く必要がある為、間違った勉強法を実践してしまうと合格することが困難であるため、講師の方に対面で一番質問しやすく、多くのチューターが在籍するTACで勉強を始めようと決意しました。

## 具体的な学習方法



公認会計士試験に合格する為には、最短でも約3000時間ほどかかり、短答及び論文直前期などは、毎日10時間以上勉強する人がほとんどです。しかし、入門期から長時間勉強することは困難であり、仮に出来たとしても、いつか燃え尽きる人が大半だと思います。

私は、入門期は、学習習慣をつけるために、毎日勉強する事が多かったですが、学校をさぼったことはほとんどなく、週5日ほどは、毎朝、部活動にも参加していました。会計士勉強以外のことも行うことが、モチベーション維持になると思います。

直前期は、ほぼ毎日10時間勉強していましたが、モチベーションを維持し、リフレッシュする為に、家で勉強するのではなく、必ず校舎に行くようにし、受験生仲間と話すことを心がけていました。長期間、勉強する必要がある試験だからこそ、メンタルを安定させる為にも、定期的に息抜きすることが大切だと改めて感じました。

計算科目を勉強する際は、トレーニングを何回も繰り返し、問題を解いてくうちに理解していくことを心がけていました。

また、理論科目を勉強する際には、講義受講後すぐに内容を復習し、問題集を解いていましたが、最終的にテキストの目次を見るだけで、内容が思い出せるように暗記及び理解する事を意識していました。

また、全ての科目を勉強する際に意識していた事は、定義を正確に理解すること及び暗記から逃げない事です。本当は、全ての内容を理解する事が望ましいですが、会計試験は範囲が膨大であり、又難解な論点も含まれている為、全てを理解する事は現実的ではないです。そして、初めて理解出来なかった論点でも、繰り返し暗記していく事で、腑に落ちる事も多くあります。

また、私は気分変換する為に、可能である限り、勉強した後にジムに行って、運動するようにしていました。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



公認会計士試験は、範囲が膨大であり、暗記すべき事項も非常に多く、近年では受験者数が増加していることもあり、合格に辿り着く為には、日常生活の多くを勉強に割く必要がありますが、大学生の方は、サークルや体育会、アルバイト、大学の授業などすべき事ややりたい事が多く、会計士の勉強と上手く両立出来るか不安に思っている人も多いかと思います。

しかし、自分のしたい事などを完全にあきらめる必要はなく、隙間時間を見つければ、勉強する習慣を身につけ、地道に勉強を継続していけば、必ず合格することが出来ると、自身の受験生活を振り返って感じました。

大変な事も多いと思いますが、頑張りましょう。



在学中  
一発合格

**貝崎 礼奈** さん  
慶應義塾大学  
商学部 3年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間  
高校2年生 2年4ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00	12:00	TAC 自習
1:00	13:00	食事
2:00	14:00	TAC 自習
3:00	15:00	大学
4:00	16:00	大学
5:00	17:00	TAC 自習
6:00	18:00	移動
7:00	19:00	食事 自由
8:00	20:00	睡眠
9:00	21:00	
10:00	22:00	
11:00	23:00	
12:00	24:00	

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約6時間 上級期 約7時間

## TACのココが良かった！

### 合格者チューター

良かった理由は3つあります。まず、1つ目は年齢が近く相談しやすいことです。また、チューターの方の紹介で同じように会計士の勉強をしている方を紹介していただき、勉強仲間もできました。3つ目としては、これは特に論文期の話になりますが、いろんな方の勉強法をすることができ、私自身参考にさせて頂いたことが理由です。

## TACの学習スケジュールに遅れないことを意識、モチベーションの維持には対面授業がおすすめ！

### 公認会計士を目指したきっかけ

実家が会社を営んでおり、小さい頃から多忙な父を支えたいと考えていました。高校2年生のとき、将来について改めて考えていた際、税務やコンサルなど様々な分野で活躍する公認会計士を見つけ、会計の専門家として実家の力になりたいという思いから公認会計士を目指すに至りました。

### TACを選んだ理由

大学のサークル新歓で会計士サークルのブースにお邪魔した際、お話ししてくださった先輩の紹介でTACを紹介していただきました。私自身、大学からの上京であったこともあり不安なことも多かったですが、受付の方や講師の方もしゃべりやすく、また一緒に簿記の授業を受けた方たちとも仲良くなり、TACの雰囲気の魅力を感じ入会を決めました。

### 具体的な学習方法

学習を継続するうえで私が最も意識していたのは、TACが組んでくれている学習スケジュールに遅れないことです。入門期・上級期の講義、アクセス、答練については、対面で実施されているものは必ず対面で受講し、動画で受講するものについても、TACの設定した日程を意識して計画的に進めるよう心がけていました。私が所属していたコースでは、財務計算と管理会計は対面授業、財務理論・監査論・企業法はWeb講義で進める形式でした。動画講義は自分の都合に合わせて視聴できるというメリットがありますが、対面授業に参加することで受験仲間ができ、モチベーションの維持につながる点は大きな利点だと感じています。

その意味でも、可能であれば対面授業をおすすめしたいです。一度スケジュールに遅れ始めると、徐々に学習自体が負担に感じられてしまうと考えていたため、多少大変でもとにかく日程に遅れないことを最優先に、与えられた内容に取り組み続けていました。

私は科目や時期ごとに勉強方法を整理し、効率よく学習を進めることを意識していました。財務計算・管理会計については、授業を受けた翌日に必ずテキストを読み直し、そのうえでトレーニング問題を解くことで理解の定着を図っていました。財務理論・監査論・企業法については、授業内容を思い出しながらテキストを読み、知識の整理を行っていました。

直前期には、短答・論文それぞれについて回す教材をあらかじめ決め、こなすペースを設定したうえで、計画通り淡々と進めていました。財務計算・管理会計は、短答・論文ともにアクセスを中心に回しつつ、並行してテキストも確認していました。理論科目については、科目特性に応じて勉強方法を使い分けていました。企業法は分量が多く実務や日常生活とも距離があるため、短答期は問題集をベースに必要に応じてテキストを確認し、論文期は短答で身につけた知識を前提にテキスト中心で学習しました。監査論は短答期はテキストと問題集を併用し、論文期は問題集ベース、財務理論は短答期はテキスト、論文期は問題集を中心に勉強していました。

また、受験生時代は「勉強することを習慣にする」ことを大切に、集中力が切れたときは外に出て散歩をするなど、適度にリフレッシュしながら学習を続けていました。

### 公認会計士を目指す方へのメッセージ

会計士試験は範囲が広く、長期戦になるため、不安や焦りを感じる場面も多いと思います。しかし、この試験は才能よりも積み重ねが結果に直結する試験です。会計士試験合格のためには継続力が大事であり、きちんと勉強を続けなければ必ず合格に近づく試験です。その道は決して簡単ではありませんが、乗り越えた先には大きな成長と達成感が待っています。

日々の努力は必ず自分の力になります。ぜひTACで会計士試験合格を目指しましょう！自分を信じ、一歩ずつ前進してください。

# SUCCESS VOICE

在学中合格



在学中  
一発合格

**櫻井 暖也** さん  
慶応義塾大学  
商学部 3年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学1年生 2年4ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00	自由時間	12:00	食事
1:00		13:00	
2:00		14:00	
3:00		15:00	大学
4:00	睡眠	16:00	
5:00		17:00	
6:00		18:00	移動
7:00		19:00	
8:00	起床 移動	20:00	TAC 自習
9:00		21:00	
10:00	TAC 自習	22:00	移動 食事
11:00		23:00	
12:00	通学	24:00	自由時間

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約2時間 上級期 約5時間

## TACのココが良かった！

### 受講生交流会

私は、基本的に日常の勉強は1人で行うタイプの受講生だったため、他の受講生の学習進捗状況を聞いたり、勉強に関する耳寄りな情報などを入手することができる受講生交流イベントはとても有意義で、かつ楽しかったからです。

答練や模試の結果から何を学び、次はどう活かすかが大切。ミスを減らせば合格に近づく！

## 公認会計士を目指したきっかけ



私は浪人の末に大学受験で第一志望校に進学できず、勉強に対する不完全燃焼感と悔しさを抱えたまま大学生生活を始めました。同時に、大学では将来につながる専門性を身につけたいと考えていました。そのような中、入学直後に偶然知って参加したTACの簿記3級体験講座を通じて会計の面白さに触れ、次第に会計士という職業に強い関心を持つようになり、目指すことを決意しました。

## TACを選んだ理由



TACを選んだ最大の決め手は、講師・受講生・チューター・事務の方々を含めた学習環境の温かさから生まれる居心地の良さです。実際に体験講座に参加する中で、質問しやすく前向きに学習が続けられる環境だと感じました。

また、私は映像講義よりもライブ講義の方が理解が深まるタイプであるため、対面のライブ講義に力を入れている点も、自分の学習スタイルに合致していると考え、TACを選びました。

## 具体的な学習方法



受験生活を通じて私が最も意識していたのは、「常に自分の立ち位置を客観的に把握し続けること」です。アクセス答練や全国模試の結果を用いて、目標とする合格ラインの受験生と比較し、自分に何が足りていないのかを毎回分析するようにしていました。一方で、自分が楽観的で計画性に欠ける、いわゆるうさぎタイプの性格であることも自覚していたため、無理に完璧な学習計画を立てることはせず、意識的に学習から離れる時間を設けるなど、精神面のコンディション管理を重視していました。大学のゼミ活動に励んだり、友達とご飯に行ったり、勉強する時間と日常生活とのバランスを保つことで、気持ちを切らさず学習を継続できたと感じています。

私の勉強方法の軸は非常にシンプルで、頻出論点の精度を徹底的に高めることと、ミスに正面から向き合うことです。会計士試験は範囲が広いいため、不安からマニアックな論点に手を出したくなることもありましたが、合否を分けるのは基礎的・頻出論点での失点をどれだけ防げるかだと考え、答練や全国模試で発生したミスの分析と再発防止に重点を置いていました。特に計算科目では、ミスの原因と正しい処理方法をスマートフォンのメモにまとめ、答練前に必ず見返すことで、同じミスを繰り返さない仕組みを作っていました。

また、学習を進める上では、本試験で最大限の力を発揮するための「ピーク合わせ」も意識していました。直前期に焦らずマニアックな論点にも触手を伸ばせるよう、早い段階で頻出論点の精度を高めておくことで、直前期には限られた時間をより効果的に使える状態を目指していました。

一方で、ルーティンワークのように毎日同じようなサイクルで学習を進めていくことが得意ではなかったため、体調や集中力の状態に応じて、時には少し休憩時間を長めにとったり、いつもより早めに勉強を切り上げて家に帰ったり、まるまる1日休んでみたりしていました。無理に自分を追い込まず、集中できる状態を維持することが、結果的に学習効率を高めてくれたと思います。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



会計士試験は、努力の量や質だけでなく、「自分をどれだけ理解できているか」が合否に大きく影響する試験だと受験を通じて実感しました。得意科目・苦手科目、性格、学習環境は人それぞれ異なります。ぜひ周囲と同じやり方に固執せず、自分の学力を最大化するための自分に合った最善の受験戦略を考えしてみてください。答練や全国模試の結果に一喜一憂することもありますが、大切なのはその結果から何を学び、次はどう活かすかです。一度経験したミスを着実に減らしていけば、合格は確実に近づくと思います。皆さんが自分なりの形で力を出し切れることを、心から願っております。



在学中  
一発合格

小泉 涼華 さん

慶應義塾大学  
経済学部 3年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

高校生の時 2年8ヵ月

1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	大学
2:00		14:00	
3:00	睡眠	15:00	
4:00		16:00	下校
5:00		17:00	食事
6:00		18:00	入浴
7:00	食事	19:00	
8:00	支度	20:00	
9:00		21:00	勉強
10:00	登校	22:00	
11:00	大学	23:00	
12:00		24:00	睡眠

1日の平均学習時間

入門・基礎期 約3時間 上級期 約4時間

TACのココが良かった！

Webフォロー

校舎での授業を受けず、Web中心で講義を受けていましたが、オンラインでも授業がわかりやすかったです。また、自分のペースで好きな時間に講義を受けられるので、無理のない計画で進めることができたので良かったです。

大学の授業に出席、週1,2回のアルバイトも…  
夜の自宅受講で明確に分けて両立を目指す！

公認会計士を目指したきっかけ



もともと何か専門的な職に就きたいと思っていたところ、高校生の時に予備校のチラシを見て、公認会計士という職業を知りました。

様々な企業の経済活動を適正に判断する社会的な使命や、資格の保有が将来のキャリアの選択肢を大きく広げることに魅力を感じ、会計士を目指そうと思いました。

TACを選んだ理由



友人がTACに所属していたため、最初に興味を持ちました。資料請求をしたところ、講義やサポートの仕組みが充実していて魅力を感じました。特に、Webでも校舎でも講義を受けられる点はいいなと思いました。

また、受講する前に校舎に伺った際に雰囲気も良さそうで安心して学習できるような環境が整っていると感じ、TACで学習したいと思いました。

具体的な学習方法



私は大学生生活と受験勉強の両立を目指していました。TACの講義は夜自宅で視聴することが多く、大学や余暇の時間と、受験勉強の時間を明確に分けていました。大学の授業は出席し、アルバイトも週1,2くらいでは行っていました。受験勉強だけに全力を注いだ時間が短く、その点遠回りしてしまったように感じますが、視野が狭くなりすぎず受験勉強漬けによるストレスはあまりありませんでした。

ただ、受験勉強とそれ以外の生活のどちらも中途半端になってしまう自分が嫌になってしまうこともあったので、「自分は自分だから周りを気にしない」ということは常に意識していました。受験勉強生活は短いものではないので、ストレスを解消するような時間をつくることも大切だと思います。

計算科目は間隔を空けずに触れることが重要だと思いました。手を動かして問題を解く習慣をつけ、特に計算ミス誘発しやすい論点や苦手な分野は集中的に反復演習しました。解答時間が厳守できるよう、時間を意識して取り組みました。短答・論文ともにアクセス教材はよく使用しました。

理論科目は計算科目の合間に組み込むことが多かったです。テキストの重要部分を繰り返し読んだり、それに関連する知識も網羅的に学習しました。短答では問題集を解いてからテキストに戻って確認することを意識しました。論文では、重要度がA,Bの論証はほとんど8割くらいの精度で書けるようにしました。

学習においては無理をせず継続することが大切だと思うので、集中力が切れそうな時は粘らず休憩をとっていました。また、10分程度の仮眠でも頭がすっきりするので眠い時はよく仮眠をとっていました。

公認会計士を目指す方へのメッセージ



会計士試験は難しく、勉強時間もそれなりにかかりますが、学習の継続や試験の合格には自分を信じる力が大切だと実感しています。私は学習が思うように進まず、悩むことも多くありましたが、諦めずにできることを少しずつ重ねることが結果につながりました。

これまで支えてくれた家族や友人への感謝を忘れずに、今後は社会に貢献できる存在を目指し、日々精進してまいります。

皆様の努力が実を結び、素晴らしい結果となることを願っています。

# SUCCESS VOICE

在学中合格



在学中  
一発合格

**北野 紘平** さん  
早稲田大学  
政治経済学部 3年

会計士を目指そうと思った時期 **合格までの期間**  
高校2年生 **4年3ヵ月**

## 1日のスケジュール

0:00	自由	12:00	
1:00		13:00	昼休憩
2:00		14:00	
3:00	睡眠	15:00	
4:00		16:00	
5:00		17:00	TAC 自習
6:00		18:00	
7:00	起床 準備	19:00	
8:00	通学	20:00	
9:00		21:00	移動
10:00		22:00	
11:00	大学	23:00	入浴 食事 自由
12:00		24:00	

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 **約3時間** 上級期 **約5時間**

## TACのココが良かった！ 質問・相談コーナー(校舎)

講師やチューターの方が高頻度で在校してくださっていると非常に良かったです。今日明日で質問したいという時に、ほとんどの場合講師かチューターの方にお会いできるという環境で、疑問点の質問はもちろん学習法の相談もしやすかったです。

## 先生と直接相談しやすくサポート環境がしっかりしたTACで高校生からスタートして合格！

## 公認会計士を目指したきっかけ

公認会計士を目指そうと思ったのは、高校2年生の時です。私の高校時代は、ちょうど新型コロナウイルスが蔓延した時期でした。附属校ということもあり時間を持って余す一方で、将来に対する漠然とした不安も感じていました。その点、企業にとってなくてはならない会計を専門とする会計士を目指すことは、自らの未来を広げる選択であると思い、会計士を目指しました。

## TACを選んだ理由

TACは多くの校舎で対面での講義を開講しており、リアルタイムでの講義を受講できるという点に魅力を感じました。学習の初期に、対面形式の講義によって学習習慣を養えたことは、論文合格までの下地になったと感じています。また、高校生からのスタートということで、サポート環境がしっかりした予備校を選びたいと考えていましたが、先生と直接相談しやすいという点も魅力であったと感じています。

## 具体的な学習方法

私は会計士の勉強する上で、大学の授業(ゼミ)とサークルとの両立を心がけました。いずれもメリハリを持って、長期的なスケジュールを組み立てることにより、両立が可能になったと考えています。大学の授業については、2年生以降で履修の自由が効くようになってからは、授業の日を決め、その2日で大学が完結するように詰め込むようにしました。サークルについては、試験直前の期間は一切参加しない一方で、それ以外の期間には参加するなど濃淡をつけた参加を心がけました。2年後期からは、ゼミにも所属しましたが、課題などを大学の日に処理するようにし、勉強にコミットできる日にまで侵食しないように気をつけました。会計士勉強の日とそれ以外の日を明確に分けることによって、いろいろなものを両立しながらの学習継続が可能となりました。

入門・基礎期では、まず計算を固めることを意識して学習を進めました。理論科目は授業を受けてテキストを作り込むにとどめ、計算に関してはテキストの例題とトレーニングをやり込みました。ここで計算の基礎をしっかりと作り上げていたため、短答・論文の直前期に計算へ充てる時間を減らすことができ、合格に近づいたと感じています。短答直前期では、計算は力を維持する程度とし、理論科目に注力しました。具体的には、計算として毎朝アクセス演練の周回を行い、残りの時間は全て理論のテキストの読み込みに充てました。テキストを読む際には、単に文面をなぞるのではなく、自分の中で一段階噛み砕いて理解するように努めました。最終的には、10日程度で一周できるスピードを意識しました。アウトプットとしては、移動時間にその日読んだ範囲の問題をWEBトレーニングで解くようにしました。12月短答に合格した後の論文期では、租税経営の講義を受講するとともに、基礎答練を対面で受験しました。自分は租税経営の講義を残しがちだったのですが、後半苦勞することになったので早めに消化することをお勧めします。そして論文直前期では、理論問題集の暗記に大部分の時間を充てました。教科書の精読が推奨されることが多いですが、自分にはあまり合わないと感じたため、理論問題集を精度高く吐き出せるように勉強を行いました。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ

会計士試験はやらなくてはいけないことではないですし、受験みたいによらないと差をつけられるといった性質のものではないです。しかも、教材は驚くほど多いし、内容も簡単なわけではない。他方で、会計士はそれでもやる価値のある資格だと思います。合格して就活を終えただけの私でもそう思うのですから、おそらく事実です。心折れずに努力を続ければ結果は現れます。そして、その努力を支えてくれる環境がTACにはあると確信しています。ここまでお読みくださった方と、お互い会計士としてお会いすることができる日を楽しみにしております。



在学中  
一発合格

井内 啓太 さん

法政大学  
経営学部 3年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学 2年生 1年5ヵ月

1日のスケジュール

0:00		12:00	食事
1:00		13:00	
2:00	睡眠	14:00	
3:00		15:00	
4:00		16:00	
5:00		17:00	自習
6:00	食事	18:00	
7:00	移動	19:00	
8:00		20:00	
9:00	自習	21:00	
10:00		22:00	移動
11:00		23:00	食事
12:00		24:00	睡眠

1日の平均学習時間

入門・基礎期 約6時間 上級期 約9時間

TACのココが良かった！

自習室

自習室があったおかげで勉強時間を延ばすことができたため、最低限の学習環境を確保できたという点で自習室が一番役に立ったと感じた。また同じ校舎でも自習室が多く設けられており、好きなように移動できる点もよかった。

学習時間記録アプリで勉強時間を管理し、常に学習時間を確保できるように心がけました

公認会計士を目指したきっかけ



大学に入学してから簿記の学習をはじめ、会計という分野に興味を持ち始めた。その後大学2年生の11月ごろに簿記二級を取得し、本格的に資格取得のステップアップを考えはじめ、安定したキャリアと多様なキャリアプランを両立した会計士を目指そうと感じた。

TACを選んだ理由



所属大学である法政大学とTACが提携しており、大学での説明等を聞き、大学における学習環境の良さやこれまでの実績が高いこと、他の予備校を含め大きな企業であることなどを総合的に考慮し、大学と提携した学習コースであるHAPP受講を決意した。その後はHAPPでの学習に不満なところがなく、そのままTACにおいて学習を続けた。

具体的な学習方法



まず合格学習継続のため、学習時間記録アプリによって自分の勉強時間を管理するようにしていた。これにより日々の学習状況を管理し、常に一定の学習時間を確保できるように心がけた。また自分にとってアルバイトは息抜きとなるいい機会であったため、週に一度のアルバイトを息抜きとし、勉強のみに前のめりにならないように心がけた。また友人との交友についてもすべてを断るのではなく、自分のメンタル状況と相談し、夜のみどこかに出かけて交流をすることでうまく息抜きをすることができていたと感じる。また常にTACの自習室は決まった時間に来るようにし、日々の生活リズムを崩さないようにルーティン化することでモチベーションの波に左右されすぎないようにすることを心掛けていた。

入門・基礎期はとにかく計算を繰り返すことにより問題の解き方や構造を頭にしみこませることを心がけた。上級期には理論科目の理解について優先的に取り組み、計算科目については応用問題に積極的に取り組むようにしていた。直前期は答練と復習の繰り返し、過去問への挑戦によるテストへの慣れを意識した。また短答直前には一問一答のような問題の繰り返し、論文直前には理論の徹底的な暗記を行うことで直接的に点数につながるような学習を行うことを心掛けた。休みは基本夜のみなどとし、丸一日勉強をしない日は極力作らないように心がけていた。それによって知識を定着させることができると感じていた。短答が終わってからは少しだけ休み、これまでの自分をほめてあげるようにやりたいことをするようにした。

公認会計士を目指す方へのメッセージ



公認会計士試験は膨大な範囲について学ばなければいけないため、受験生としてその範囲を完璧に網羅することは不可能だと感じます。そのため、日々のモチベーションに左右されず、やるべきことを整理し、少しでも得点を増やすことができるように学習を進めることが必要です。テスト自体は、堅実に学習を進めてきた方であれば合格できるように作成されています。大変だとは思いますが、日々の学習を大切にすることで合格を目指すことができると思います。頑張ってください。

# SUCCESS VOICE

在学中合格



在学中  
一発合格

**藤田 哲矢** さん  
法政大学  
経営学部 3年

会計士を目指そうと思った時期 **合格までの期間**  
大学1年生 **1年8ヵ月**

## 1日のスケジュール

0:00	自由	12:00	大学
1:00		13:00	昼食
2:00		14:00	大学
3:00		15:00	大学
4:00	睡眠	16:00	移動
5:00		17:00	自習
6:00		18:00	
7:00		19:00	
8:00	起床	20:00	TAC 講義
9:00	通学	21:00	
10:00		22:00	移動
11:00	大学	23:00	夕食
12:00		24:00	自由

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 **約5時間** 上級期 **約7時間**

## TACのココが良かった！

### 自習室

関東圏は主要駅周辺に校舎がたくさんあったため、通学するのに利用しやすかった。私は北関東出身であるため、特に大宮に校舎があることが一番良かった。周りの勉強している人も、とても集中していて、自分にとってすごく励みになった。

睡眠時間を削るのではなく、隙間時間を活用するなど、努力の方向性を間違えないことが大事

## 公認会計士を目指したきっかけ



私の両親が税務署職員であったため、私は高校を卒業した後、1か月間ほど税務署で非常勤をしていました。そこで初めて税理士作成の書類を見て、土業に漠然とした憧れを抱きました。

そのため、大学に入ってから、まず簿記の勉強をし、その勉強過程で公認会計士の存在を知りました。大学生からでも専門性を磨いて、監査と会計のプロフェッショナルになれる公認会計士を目指そうと思いました。

## TACを選んだ理由



自分の大学では、日商簿記から公認会計士の勉強へと続くプログラムがあったため、そのままTACを選びました。この制度のおかげで、日商簿記の時から一緒に勉強してきた同じ大学の仲間と切磋琢磨することで、自然と勉強にも熱が入りました。自分にとっては、勉強仲間がいることが一番の心の救いだったと感じています。

## 具体的な学習方法



私が勉強する上で必ずしていたことは、対面で授業を受けて、答練を日程通りに受けることです。そのおかげで、実際にいる周りの人を自分の中でライバル視して、勉強することができました。オンラインで授業を受けるメリットもあると思いますが、私の場合、倍速再生をすることで、理解しないまま授業が進んでいってしまったり、先生に質問せずに独りで勉強することになってしまっていました。

また、答練を現地で受けないと答えを見たくなくなってしまったり、解答時間をオーバーしてしまうと思うからです。実際、自分でトレーニングを解くとき、分からないと答えを見たくなくなってしまいう時がありました。そのため、他の誰かの視線があるという事が私にとってとても重要だったと考えています。

私は通学時間が長いので、入門・基礎期は、通学中に理論科目のテキストを読み、机に向かって勉強するときは計算科目に重点を置いて勉強していました。そのため、早い段階で計算科目を得意にすることができ、短答式試験直前期は理論科目に集中することができました。

また、TACは答練が豊富にあり、それらを回転教材として復習することで知識の定着に努めました。おかげで、短答期は良い判定をもって試験に臨むことができました。他方、私自身が5月短答合格者であったため、論文期は答練で良い判定を取ることができませんでした。論文式試験前最後の答練である第2回公開模試で偏差値42を取ってしまいました。そこから論文式試験までの1か月間、自分ができる最大限の勉強をすることで、合格することができました。

勉強を始めてから合格するまでの1年半、私はお昼の休憩を14時にしていました。お昼の時間を遅くすることで、人が少ない時に休憩室を使うことができ、余計な話をせず、勉強時間を確保することができました。また、毎日19時に30分ほど休憩を入れるようにしていました。その時間は、スイーツなどを食べることで気分転換をしていました。このような気分転換を作ることで、継続的に勉強することができたと考えています。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



大学生だけでなく、社会人、アルバイトやサークルをやりながら勉強する人など、多くの人が時間の制約がある中で勉強していると思います。

そこで、受験生に送りたい言葉があります。それは、「努力の方向性を間違えるな」です。働く時間などのどうしても変更できない「定数部分」を動かそうと努力するのではなく、隙間時間などの「変数部分」を見出して、その時間に勉強することが大切です。私には通学時間が長いという時間的制約があり、生活リズムも遅寝遅起きでした。早朝から勉強しろとよく言われますが、朝が遅い自分でも合格することができました。時間の制約がある受験生の皆さんも睡眠時間を削るのではなく、隙間時間を有効活用して勉強を頑張ってください。



在学中  
一発合格

小林 美和 さん

法政大学  
経営学部 3年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学 1年生 1年8ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	
2:00		14:00	
3:00	睡眠	15:00	自習
4:00		16:00	
5:00		17:00	
6:00		18:00	食事
7:00	食事移動	19:00	
8:00		20:00	自習
9:00	自習	21:00	
10:00	食事	22:00	移動
11:00	自習	23:00	自由時間
12:00		24:00	睡眠

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約9時間 上級期 約10時間

## TACのココが良かった！

### 自習室

家では勉強をするための集中力が続かないため、短答期は大学の論文期はTACの自習室に通っていました。TACの自習室は家からとても近いところにあり、気楽に自習室に向かうことができ、とてもよかったです。

## チューターや非常勤など大学4年の理想の生活を想像し、モチベーションを維持し3年生で合格

### 公認会計士を目指したきっかけ



大学1年生の夏ごろに、友人が公認会計士講座を受講すると聞いたため、自分もやってみようと思い、会計士を目指し始めました。また、当時簿記2級の勉強が少し楽しいと感じており、会計士の勉強に興味があったため、目指そうと思いました。

### TACを選んだ理由



大学に、TACと提携した公認会計士試験対策の学内講座があり、大学内で財務会計や管理会計の授業を受けることができたり、大学に公認会計士受験生の専用の自習室があったため、TACで勉強することを決めました。また、TACで在学中合格をした先輩がたくさんいたため、自分も在学中合格を達成するために、先輩たちと同じようにTACに入ろうと思いました。

### 具体的な学習方法



自分にとってこの勉強をするにあたっての最優先事項は、大学3年生で受かることでした。そのため、大学の授業は受験勉強に支障が出ないような取り方をしたり、サークルに入らないようにしたり、アルバイトも入らないようにしました。

会計士の勉強漬けの中で、モチベーションを維持するために、私は自分が大学4年になった時の理想の生活を想像していました。具体的には、学生チューターや学生非常勤をしながら自分の時間やお金を好きなように使うことができる生活をしたいと考えていました。

そのために今自分がしなければいけないことは、今日やらなければいけない勉強を進めることだなどと思うことで、モチベーションを維持することができました。

勉強方法は、実際に受かった先輩が受験期にやっていた方法を真似することを心がけていました。そのうえで、自分に合った勉強方法に微調整できる部分は変えて行くようにしました。

私は、今日やるべきことを一つ一つ終わらせていきたいと考えていたので、一つの科目を2時間-3時間ぐらいぶっ続けでやる方法が自分に合っていたので、その勉強方法で直前期は勉強していました。

また、お昼ご飯や夜ご飯の時間は長くなりすぎないように、友達と一緒に食べるのではなく、一人で食べていたり、SNSは見ないようにアプリは消したりしていました。あまり勉強をしている間は疲れを感じなかったし、なるべく勉強時間を確保したかったので、ご飯の時間以外に休憩時間をとるようなことはしなかったです。

### 公認会計士を目指す方へのメッセージ



毎日コツコツ勉強をすることが何より大事だと思います。会計士試験は範囲が広く、長期戦のため、結果がなかなかでなかったり、昨日できたことが今日できなくなっていて、すごく不安になることがたくさんあると思います。けれど、自分も含めてそのような思いをしながらこの試験を乗り越えた方々がたくさんいるので、焦らず安心して毎日頑張ってください。

体調を崩したら、無理をしないで、すぐにゆっくり休んでください。応援しています。

# SUCCESS VOICE



在学中  
一発合格

**北村 悠人** さん  
法政大学  
経営学部 3年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

高校卒業時 1年11ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	食事
2:00		14:00	
3:00	睡眠	15:00	
4:00		16:00	
5:00		17:00	自習
6:00		18:00	
7:00	起床・食事	19:00	
8:00	通学	20:00	
9:00		21:00	
10:00	自習	22:00	
11:00		23:00	下校
12:00		24:00	食事 睡眠

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約8時間 上級期 約11時間

## TACのココが良かった！

### 講師W配信

個人的にはW配信がよかったです。というのも理論科目は講師ごとにどこまで細かく授業で触れているかなどが異なるためです。すなわち初学の場合は比較的ざっくりと教えてもらえる講師の授業を受講し、答練の前などより細かい所の解説が欲しい場合はテキストほぼ全部触れる講師の授業を見直すなどしてました。

誰よりも早く学校に行き誰よりも遅くまで学校で勉強することで自己肯定感を高めました

## 公認会計士を目指したきっかけ



会計士を目指そうと思ったのは高校卒業のタイミングです。自分は中学から付属校で進学してきたため、将来に対して不安を感じていました。そんな時に高校のOBの方々が公認会計士になって成功されているという話を聞きました。高3のタイミングで簿記を学習していたこともあり、より専門的に学び自分もOBたちになりたいと思い、公認会計士になることを決意しました。

## TACを選んだ理由



自分が通っていた大学で公認会計士の学内講義があり、それがTACさんでした。また高校のOBの方もTACで学習して公認会計士になっていたの、特に深く考えることもなくそのままTACに入校しました。なお、TACは自分の家の近くである池袋や新宿、水道橋にも校舎があり、大学が休校の期間などはそこで学習していました。

## 具体的な学習方法



入門期などは新たな勉強だったこともあり新鮮味があつたからか特に苦痛に感じたことは無かったです。ただ入門期は自分がまだ大学1年だったこともあり、大学の授業との両立は困難だったなど感じています。言語など出席が欠かせない授業以外は、会計士試験の学習を優先させ、その分、大学の試験前には徹夜をして必死に勉強するなど、単位を落とさないよう精一杯取り組んだ記憶があります。基礎期も後半になってくると勉強も忙しくなってだんだん学習時間も増えていきました。そのころから同じ大学の自習室のメンバーよりも多くやってやろうと意気込み、誰よりも早く学校に行き誰よりも遅くまで学校で勉強することで自己肯定感を高めていました。

息抜きとして、大学が早く閉まる日曜日は閉館に合わせて勉強を辞め、家でゴロゴロしたり好きなサウナに行き整ったり、友達と飲みにいってました。ただ、論文の時はそんな余裕もなかったの、友人との交流も一時控え、体力の限界まで勉強していました。本当に行き詰まった時には、リフレッシュとしてお酒を嗜んだりサウナに行ったりすることで、心身のバランスを保っていました。

入門・基礎期は質より量と考えてとにかく多くやることを意識してました。これは最初の方は効率的な学習方法がわからなかったの、変に意識してやらないよりやってくれる方が却って効率的だと考えたからです。そして計算ばかりをしていました。一日の8割ぐらいはずっと計算をして、飽きてきたら気休めとして理論科目の勉強をしていました。

上級期ごろには計算はある程度の完成度まで持って行ってたので理論の理解を深めることに時間を少しづつ割けるようになりました。入門・基礎期に計算を鬼のようにやっていた成果だと思います。

直前期は全科目、得意不得意関係なくバランスよくやることを意識していました。なので量ではなく時間で科目を分けて学習してました。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



よく試験直前になるとこぞって「最後は気持ち」と応援してくれる方がいますが、個人的には「最初から最後までずっと気持ち」だと思います。公認会計士試験に受かるには短くても3,500時間、大抵の方が4,500時間前後、多い人だと6,000とか7,000時間というとても長い時間を要します。1日24時間の中で会計士の勉強以外にもやることのある中でこの時間を確保するにはいろんなところで我慢したり苦しい思いをしなければなりません。そんな困難を乗り越えるには「自分は会計士になるんだ！」という強い気持ちが必要不可欠です。

また長い戦いですから、答練などがダメで少し身が入らない時期などがあっても全体で見れば大したことはないです。諦めずに前進してる限りはゴールに近づいてるわけですから、弱音を吐きながらでも最後まで走り切ってください。応援しています。



在学中  
一発合格

**宇都宮 叶太 さん**  
法政大学  
法学部 3年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学 1年生 2年5ヵ月

1日のスケジュール

0:00		12:00	勉強
1:00		13:00	
2:00		14:00	大学
3:00	睡眠	15:00	
4:00		16:00	
5:00		17:00	
6:00		18:00	勉強
7:00	起床 食事	19:00	
8:00		20:00	
9:00		21:00	
10:00	勉強	22:00	食事
11:00		23:00	自由時間
12:00		24:00	睡眠

1日の平均学習時間

入門・基礎期 約8時間 上級期 約10時間

TACのココが良かった！

学習法セミナー

学習法セミナーの良かった点は、特に論文期の具体的な学習方法を知ることができた点です。何を優先して取り組めばよいのかわからない状態でしたが、学習の進め方が明確になりました。また、5月短答、8月論文向けの大まかなスケジュール感を把握できたことも、計画を立てる上で非常に役立ちました。

将来の公認会計士として働いている姿を思い描き、前向きな気持ちを取り戻していました

公認会計士を目指したきっかけ



大学入学後、将来を考える中で、明確な専門性を持った職業に就きたいと考えようになりました。もともと数字を扱うことが好きで、論理的に考えることにやりがいを感じていたため、会計分野に興味を持ちました。中でも、公認会計士は独占業務である監査を通して企業の内部に深くかかわれる点に魅力を感じ、自身の強みを活かせると考え、目指すようになりました。

TACを選んだ理由



大学のパンフレットを通じて公認会計士という資格を知り、調べていく中で、大学とTACが提携しており、学内で講義を受けられることや、在学中から受験を見据えた学習を進められる点を知りました。大学の授業と両立しやすい時間割や、長年の合格実績に基づく指導体制が整っていることに安心感を持ち、TACを選びました。

具体的な学習方法



長期間にわたる学習を継続するためには、学習面だけでなく精神面や生活面の管理が重要であったと感じています。特に意識していたのは、将来の自分を具体的に想像することです。学習が思うように進まず不安を感じた際には、公認会計士として働いている自分の姿を思い描き、なぜこの試験に挑戦しているのかを改めて確認することで、前向きな気持ちを取り戻していました。

また、体調管理は学習効率を左右する最も基本的な要素だと考え、日々徹底していました。睡眠不足は集中力の低下につながるため、どれだけ忙しい日でも7時間は必ず睡眠時間を確保するよう心がけていました。生活リズムを崩さずに過ごすことで、安心した状態で学習を継続することができたと思います。さらに、精神的な負担をため込まないために、友人と話す時間も大切にしていました。同じ受験生と悩みを共有したり、何気ない会話を交わしたりすることで気持ちがリフレッシュされ、孤独感を感じることなく受験生活を乗り切ることができました。これらの工夫が、学習を継続できた大きな要因だと感じています。

勉強方法として、長期に渡る試験であることを常に意識し、無理なく学習を継続できる工夫をしていました。まず、大きな目標だけを掲げるのではなく、「授業中に寝ない」「答練で良い点数を取る」といった小さな目標を設定し、日々の達成感を積み重ねることを大切にしました。小さな成功体験を重ねることで、学習への抵抗感を減らし、自然と机に向かえるようになったと感じています。

また、無理な計画は継続の妨げになると考え、大学の授業や体調を考慮した現実的な学習計画を立てました。計画通りに進まない日があっても、翌日以降で調整するなど柔軟に対応することを意識しました。

気分転換の方法として、友人と話す時間を大切にし、受験生と悩みや不安を共有することで、自分だけが苦しいわけではないと感じることができ、気持ちが軽くなりました。さらに、学習の区切りには自分へのご褒美として、美味しいものを食べるようにしていました。適度に気分転換を取り入れることで精神的な負担をため込まず、前向きな気持ちで学習を続けることができたと思います。これらの工夫が、長期間の受験生活を最後まで乗り切る支えになりました。

公認会計士を目指す方へのメッセージ



これから公認会計士を目指す方や、現在学習中の方にお伝えしたいのは、焦らず自分のペースで学習を続けてほしいということです。試験範囲が広く、思うように成果が出ない時期もあると思いますが、日々の積み重ねは必ず力になります。理解できた論点や解けるようになった問題など、小さな前進を大切にしながら学習を継続することが重要です。

また、長期間の学習では体調管理や気分転換も欠かせません。無理をせず、学習と休息のバランスを保つことで、安心して取り組むことができます。そして、合格すれば、これまでとは異なる将来の選択肢や可能性が広がります。その姿を思い描きながら、最後まであきらめずに頑張ってください。

# SUCCESS VOICE

在学中合格



在学中  
一発合格

**染谷 太翔** さん  
青山学院大学  
経営学部 3年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

高校3年生 2年4ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	勉強
2:00		14:00	食事
3:00	睡眠	15:00	
4:00		16:00	
5:00		17:00	
6:00	移動	18:00	勉強
7:00		19:00	
8:00	勉強	20:00	
9:00		21:00	移動
10:00	大学	22:00	食事
11:00	移動	23:00	自由時間
12:00		24:00	睡眠

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約3時間 上級期 約10時間

## TACのココが良かった！

### 質問・相談コーナー(校舎)

論点に関する質問をしに行くわけではなく、雑談をしによく利用していました。講師の方の受験生時代の勉強方法や勉強時間などの話を伺い、勉強をするモチベーションになっていました。また、成績を見せたりすることで自分の現状を把握することができました。

少しでも不安な気持ちになったときは、講師やチューターに相談することが大事です

## 公認会計士を目指したきっかけ



私が会計士を目指したのは高校3年生です。父が税理士であり、兄が大学で司法試験の勉強をしていたため、私も何かしらの資格に挑戦したいと考えました。そのなかで会計士は、監査だけでなくアドバイザーや税務など幅広い分野で活躍することができると感じたため、会計士を目指しました。

## TACを選んだ理由



私は、オンライン講義ではなかなか勉強することができないと感じていたため、大学の近くに授業をやっている校舎があるTACを選びました。TACは全国に校舎がたくさんあり、授業をほかの校舎で受けることができるのがとても魅力的であると感じました。

また、TACは伝統があり信頼感がとてもあったためTACに行けば間違いないと感じたためTACにしました。

## 具体的な学習方法



私は、大学1年生のころから学習を始めたため、入門期であった一年生のうちにてできるだけ多くの単位を取得できるようにしました。出席の有無にかかわらず単位を取得できる授業を、中心に履修していました。短答や論文の直前期には大学を行かなくても済むように履修登録をしていました。また、積極的に友人に勉強をしていることを伝えて合格しなければいけない環境を作りました。勉強をしていることを友人に伝えることで遊びに誘われる機会が少なくなり、勉強を応援してくれる友人が増えました。受験勉強をしているときはアルバイトなどをせずに勉強に集中できるように家族から資金的な援助を受けていました。様々な方に支えられていることを自覚し、感謝の気持ちを忘れずにいることがモチベーションの維持にもつながったと思っています。

計算科目はテキストの例題やトレーニング、アクセスなどを回転させることを意識しました。計算はテキストを見ているではなかなか本試験や答練で解けるようにはならないため、手を動かして計算することを意識していました。

また、理論科目が始まる前に計算科目を完璧にすることを意識して勉強していました。理論科目は、答練で出てきたところをテキストに反映させ、重要性が可視化できるようにしていました。テキストに一元化することにより、直前期にはテキストをみただけで答練や問題集の内容までカバーできるように加工していました。また、テキストをただ眺めるだけではなくアウトプットすることを意識していました。本文を隠して、見出しだけを見て本文の内容を思い出すことができるかなどをチェックしていました。気分転換の方法として、私は短答期は答練の次の日は必ず1日休むようにしていました。

また、私はTACから自宅まで1時間ほど電車の時間があったのですが、帰りの電車や家に帰ってからは勉強をしないと決めていました。そうすることにより、TACにいる時間にてできるだけ集中するようになりメリハリをつけて勉強することができました。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



私はこの会計士試験をしていく中で多くの辞めていく友人をみてきました。みなさんのなかにも辞めたいと感じている人がいるかもしれません。しかし、この試験は正しい方向に適切な量の努力をすることで必ず合格することができる試験であると思います。もちろん1日10時間勉強するというのは普通じゃないことかもしれませんが、本当に合格できるのだろうかとか不安な気持ちになることを多々と思います。

すこしでも不安な気持ちになったときは一人でため込まず、講師やチューターに相談することが大事だと思います。私自身も、いろんな方々に支えられて合格することができました。会計士試験は長く険しい道だと思いますが、勉強を辞めることなく頑張ってください！



在学中  
一発合格

**服部 響太郎 さん**  
名古屋大学  
経済学部 3年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

高校生のとき 2年0ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	昼食
1:00		13:00	
2:00		14:00	
3:00		15:00	
4:00	睡眠	16:00	自習
5:00		17:00	
6:00		18:00	
7:00		19:00	移動
8:00	起床 移動	20:00	夕食 入浴
9:00		21:00	
10:00		22:00	自習
11:00	自習	23:00	自由
12:00		24:00	睡眠

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約4時間 上級期 約8時間

## TACのココが良かった！

### オンライン質問・相談コーナー

私は相談できるような相手が決して多いではなかったので、平林先生に定期的に相談に乗ってもらえたことは受験生時代の精神衛生を健康に保つ上でかなり助かったと思っています。そのためオンライン質問コーナー・相談コーナーが一番よかったと考えます。

## 大事なのは勉強時間ではなく、TACのテキストや演習・答練の内容を身につけること

### 公認会計士を目指したきっかけ

私は父が会社を営んでおり、その関係で公認会計士の方と関わる機会が何度ありました。

その中で公認会計士がどのような資格であり、どのようなメリットがあるのかなどを教えてもらう中で高校生の頃に将来は公認会計士になりたいと思うようになりました。

### TACを選んだ理由

私がTACを選んだ理由はまず、名古屋に校舎があった点です。当時は他に名古屋に校舎や自習室があるスクールがなかったため、校舎があるところを選ぼうと思いました。

また、他校と比べてときにTACの方が講座の開講時期が早かったため、始めるならばできるだけ早い方がいいだろうと考え、開講が早いTACを選びました。

### 具体的な学習方法

私は学習を継続するために毎週日曜日は休むようにしていました。一時期1週間の中で休みを取らずに勉強していた時期もありましたが、休みを設けた方が勉強のメリハリがつくようになったと実感しているのも途中から休みを入れるようにしてよかったなと思います。

また、あまりに疲れた日や答練の結果が自分の思うようにいかず落ち込んでいる時はTAC名古屋校の近くの台湾まぜそば屋さんの”はなび”や油そば屋さんの”歌志軒”などに行って気分転換をしていました。

そして、私は自習室のような周りがみんな勉強をしているという空間が苦手だったのでよくスターバックスやタリーズなどのカフェを勉強のために利用していました。カフェ勉強の方が個人的には気分が鬱屈としないため勉強の継続には適していると思います。

勉強方法についてはあまり自分なりの特別な勉強方法は大きくありませんが、短答期において財務会計論の勉強をする際に早めに過去問題集に触れたことで、より早く自分の理解不足や本試験のひっかけ方法について深く学ぶことができた点は大きかったと思います。

また、早めに計算科目を完成させることができたため、9月ごろから本格的に企業法や監査論の暗記科目に着手できたことで答練や本試験において理論科目は常に高得点を取ることができたことが常に答練や本試験で安定して高得点を取ることができた大きな要因であったと思います。

また、論文期においてはひとまず財務会計論の理論問題集や企業法の論証例、監査論の問題集などをできる限り早く覚えるようにした点も答練で高い点数を取ることができた要因かと思っています。

### 公認会計士を目指す方へのメッセージ

一般に合格には一日10時間以上勉強をするべき！のようなことを言う方が多くいるかと思いますが、実際そのようなたくさん勉強をして合格された方が多くいらっしゃると思うのですが、大事なのは10時間以上勉強することではなく、テキストやトレーニング、アクセスや答練の内容を身につけることであると思います。

そのため、1日の勉強時間が他の受験生より少ないから受からないのではないかなどはあまり心配しなくて良く、前述の内容を身につければそれで良いと思った方が良いでしょう。

# SUCCESS VOICE

在学中合格



在学中  
一発合格

**前田 陽斗** さん  
名古屋大学  
経済学部 3年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学1年生の春 2年0ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	食事
1:00	自由時間	13:00	
2:00		14:00	学校の講義
3:00		15:00	
4:00	就寝	16:00	移動
5:00		17:00	
6:00		18:00	
7:00	食事	19:00	TACの講義
8:00		20:00	
9:00		21:00	帰宅
10:00	学校の講義	22:00	食事
11:00		23:00	自由時間
12:00		24:00	

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約3時間 上級期 約5時間

## TACのココが良かった！

### 質問・相談コーナー(校舎)

わからないところがあつたらすぐに講師の方に聞いて即時解決することで、苦手論点をあまり作ることなく論文を迎えることができた。また勉強方法、メンタル面での相談も受けてくださり、効率的に勉強に励むことができた。

講師からアドバイスをもらったりネットで調べて、勉強の質を追求することが短期合格の鍵

## 公認会計士を目指したきっかけ



高校2年時に公認会計士という職業をドラマで知り、実際目指そうと考えたのは大学1年生の春です。高校生の時から将来に対する不安を漠然と考えていたので、国家資格を保有することで、不安を和らげたい思いもありました。

また、半沢直樹というドラマを観て、経済系の仕事に漠然と興味が湧いたのも理由の一つです。

## TACを選んだ理由



TACが対面式の授業形態をとっていたことや立地が優れていたことです。具体的には、自分が自主的に授業を受けようとする性格ではなかったため、オンラインより強制力のある対面式の授業形態がよかったことや、TAC名古屋校が比較的駅近で、周りに飲食店等も多く、立地面で不便さをあまり感じなかったことです。

また、体験授業を受けて他校の先生より分かり易かった点も魅力でした。

## 具体的な学習方法



自分は大学に通いながら部活に入っていたり、アルバイトもしていたこともあって当初は勉強時間の捻出に苦戦しました。しかしメリハリをつけ、勉強の質を上げるよう努力するうちに、勉強とその他の活動の両立を苦にすることはあまりなくなりました。具体的には、部活やバイトをしている時間には会計士勉強のことは考えず、目の前の活動に集中して取り組むことで、会計士勉強にもメリハリをつけ集中して取り組むことができるようになり、時間対効果が上がったと感じました。

また、大学の勉強と会計士の勉強を両立させるため、試験が忙しくない1年生時にできるだけ多く単位をとることを目指しました。結果的に論文前にはあまり学校の授業に時間を割くことなく会計士の勉強に打ち込むことができました。

計算科目では論点を繰り返し解くことを意識しました。具体的にはトレーニングの問題は3回転以上、短答アクセス答練は4回以上解いていました。また、感覚で解くのではなく計算処理を言語化して解くことを意識しました。具体的には短答特有のひっかけポイントを論点を見た瞬間に列挙したり、資料に書いてあることを引っ張るより、頭の中で計算処理を理解して次に行う過程を言語化して解くようにしていました。言語化を意識することで論点の処理スピードが向上しました。

理論科目ではインプットとアウトプットのどちらかに偏らないよう意識しました。例えば企業法では問題集の量が多くアウトプット重視になりがちですが、論点を網羅的に抑え、流れを理解するにはテキスト通読が欠かせないので、どちらかに偏らないよう1日の勉強時間を調節していました。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



自分が合格を成しえたのは、最後まで諦めなかったことと勉強の質を追求し続けたことだと思います。まず諦めないことは重要で、特に初学生は試験日まで成績が伸び続けるので、模試の成績が悪かったから諦めてしまうのは勿体ないです。自分はアクセス答練や模試の成績で上位に食い込むことがあまりなく、校舎の成績優秀者の欄に名前が載ることもほとんどありませんでした。しかし短答、論文共に試験当日に成績のピークをもっていくことで、無事合格することができました。

2つめに、短期合格を果たす上では勉強の質を追求することが重要だと感じました。勉強の効率の良いやり方を、講師の方からアドバイスをもらったり、ネットで調べる過程を踏むことも短期合格するうえで必要だと思います。計算では感覚でなく言語化して解く意識を持ち、理論では知識を強固にするため、忘却曲線に沿った復習スケジュール管理が重要だと感じました。

最後に、12月短答に落ちて5月短答を目指すのは確かに大変ですが、諦めず勉強し続ければ大きな達成感と自信が手に入ります。頑張ってください。



在学中  
一発合格

**栗山 莉々香 さん**  
同志社大学  
商学部 3年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学 1年生 2年0ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	移動
1:00		13:00	昼食
2:00		14:00	
3:00	睡眠	15:00	
4:00		16:00	自習
5:00		17:00	
6:00		18:00	
7:00	起床・食事	19:00	
8:00	自習	20:00	
9:00	移動	21:00	移動
10:00	自習	22:00	食事
11:00	移動	23:00	自由
12:00	大学	24:00	睡眠

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約6時間 上級期 約11時間

## TACのココが良かった！

### 質問・相談コーナー(校舎)

講師の方の丁寧な質問対応が非常に良かったからです。先生方には質問だけでなく成績相談などもしていただき本当に親身になってくださいました。TAC講師は落ち込んだら励ましてくれ上手いけば一緒に喜んでくれるような先生ばかりです。講師と受講生がタッグを組んで頑張れる環境はTACが1番であると確信しています。

**講師と受講生がタッグを組んで頑張れる環境はTACが1番であると確信しています！**

## 公認会計士を目指したきっかけ



大学入学後、今まで打ち込んできたクラシックバレエも一段落して将来の就職先を思索していた際に、公認会計士の存在を知りました。公認会計士は安定した収入を得ることができる点や、女性としてのキャリアを考えたときに人生設計が立てやすい点が魅力的であると感じています。最終的に、金融機関に勤めている父からの薦めもあり、公認会計士を目指し始めました。

## TACを選んだ理由



私は通学希望で、TACの校舎は好立地であるため、通うには最適だと感じます。また、校舎に説明を聞きに行ったときに、公認会計士である講師の方が指導して下さる等のTACの強みを丁寧に教えていただき、予備校としての質の高さと親切な対応に惹かれTACに即決しました。実際に入った後も、入る前の印象の良さと乖離はなく、TACを選んで本当に良かったです。

## 具体的な学習方法



私は合格のために主に2つの点を意識していました。  
1つ目は、成績にある程度こだわることです。短答論文ともに、答練や模試でA判定を取り、ランキング表に載ることを目標にしました。好成績を取っていただくと本番でミスや失敗が重なったとしても合格できると思ったため、何があっても確実に受かるような成績を取るよう意識していました。より高い位置を目指して頑張ることが、結果的に実力の向上につながったと感じます。  
2つ目は、スケジュールリングをすることです。限られた時間の中で膨大な知識を習得するには、やるべきことを整理して学習する必要があると考え、1週間ごとに計画立てていました。特に、攻めと守りの科目を意識して勉強時間の配分を行って、攻め科目は多めに勉強時間を割いて偏差値を大きく上げ、守り科目で偏差値が凹まないようにし、成績安定につながったと感じます。

短答対策として、私は計算力の強化と理解を重視することを意識していました。計算力は入門基礎期から上級期が1番伸ばせると感じます。入門基礎期ではミニテストで毎回満点取ることを目標にしてテキスト例題やトレーニングを何度も解くことで、計算の基礎が固まり講義の復習も効果的に行えました。上級期では答練の復習に時間をかけ、理解不足がないように必ずテキストに戻るようにしていました。間違ったところはミスノートにまとめることで、再発を防止できたと思います。また、計算と理論ともに、書いてあることを丸暗記するのではなく、なぜこうなっているのか？という理屈を理解することを意識していました。考えて勉強する癖をつけることで計算のうっかりミスが減り、理論も知識の定着が良かったです。

論文対策としては、新たに加わる科目(租税と経営)を早期に仕上げることを意識していました。これらは短答にない科目であるため、他の科目とレベルを合わせるまでに時間がかかります。なので、論文生になってしばらくは、理論はテキストや問題集で論証暗記を行い、計算はテキストの確認くらいにして時間を調節し、残った時間を租税と経営に費やしていました。結果的に、初期段階で租税と経営に力を注いだことで安定した成績が取れるようになったので、この戦略は良かったと思います。いずれにせよ、短答論文ともに、計算力の高さと基礎の理解の有無が合否を分けると実感しました。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



私は合格祝賀会に憧れを持ち、あの場に立てることをずっと夢見て勉強に励んできました。私はあの日を決して忘れることはありません。祝賀会で見た幸せな景色、仲間と共に合格を喜び合えた大切な時間...今までの努力が全て報われた瞬間でした。そして今、監査法人に入りワクワクした気持ちで日々過ごしています。会計士試験を受かると世界が変わる、とよく言われますが本当にそのとおりであると体感しています。これを読んでくださっているみなさまの合格をお祈りしています。頑張ってください！

# SUCCESS VOICE



在学中  
一発合格

**長谷 一輝** さん  
同志社大学  
商学部 3年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

高校生の時 2年5ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	自習
2:00		14:00	昼食
3:00		15:00	
4:00	睡眠	16:00	
5:00		17:00	
6:00		18:00	自習
7:00		19:00	
8:00	起床・通学	20:00	
9:00		21:00	
10:00	大学	22:00	移動
11:00	移動	23:00	食事 入浴
12:00	自習	24:00	睡眠

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約5時間 上級期 約8時間

## TACのココが良かった！

### 受講生交流会

受講生交流会は受験仲間を作る機会として最高でした。長い受験勉強を乗り越えていく中で、互いに切磋琢磨しあう仲間や、廊下で他愛もない話をする仲間は非常に重要で、自身のモチベーションを支えてくれたのは間違えなくTACで出会えた受験仲間でした。

一人だと誤った方向に行ってしまうがちなので、  
チューターや講師の方に頼りまくってください

## 公認会計士を目指したきっかけ



私がそもそも簿記に出会ったのは高校生の時で、帰国子女が生徒の3分の2を占める環境の中で、この人たちには英語で勝てないと思い、自身の武器を身につけるために始めたのが簿記でした。

そこから、さらに高みを目指してみたいと思って公認会計士を目指そうと決心しました。

## TACを選んだ理由



私がTACを選んだ一番大きな要因は、通学で学習したかったからです。授業を受けるにしても自習するにしても、私は一人でコツコツとできるタイプではなく、周りの視線やライバルがいてこそ火がつくタイプだったので、今になって良い決断だったと思います。

また、質問も気軽にしやすく、講師との距離も近いことがかなり魅力的でした。

## 具体的な学習方法



私が2年間という長い受験勉強を乗り越えることができたのは切磋琢磨できる環境にあったと思います。日頃から答練の点数を受験仲間と競い合ったり、校舎に張り出されているランキング表などを見て、負けず嫌いな自身を奮い立たせていました。

また、会計士の勉強はきちんと正しい方向で努力を継続すれば、自ずと結果はついてくるので、良い順位を取れたりすると次も頑張ろうというモチベーションにつながっていました。

また、私はメリハリのある学習を意識しており、TACの自習室以外は勉強から離れるというキツバリとした判断をすることで、娯楽に時間や自分の時間も大切にしながら勉強することで長い受験勉強の中モチベーションを維持することができたと思います。

私はいずれの科目を勉強する上でも、日頃から想起学習を意識していました。例えば、理論科目のテキストの精読をする際には、精読の前に見開きのページを頭の中で説明することを意識していました。ここで思い出せなかったという悔しさをバネに、知識の定着をしていました。

また、計算科目でも同様に、この論点から生じる費用を頭の中で列挙したり、わざわざ問題を解かず計算プロセスのみを想起したりするなどといった学習をしていました。そうすることで、集計漏れが少なくなったり、自身で資料を探していく力が身につく為、合理的な計算プロセスでもんだいを解けるようになると思います。

また、気分転換に関しては、私は全国模試の後に友人と飲みに行ったり、20:00まで勉強してそこからレイトショーを見に行ったりと勉強から離れる時間を設けることで息抜きをしていました。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



公認会計士試験勉強中の皆様へ。この試験勉強は本当に長く辛いですが、正しい方向で努力を継続することができれば必ず合格できると思います。

自分一人で学習すると、誤った方向に行ってしまうがちなので、チューターや講師の方を頼りまくって自分の学習方法を確認してもらおうといいと思います。

変に手を広げすぎず、TACの教材、学習方針など全てを信じて自信を持って勉強することがとっても重要です。皆さんの合格を心より願っています。



**在学中合格**

**藤田 将大** さん  
慶應義塾大学  
商学部 3年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学 1年 2年0ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00	12:00
1:00	13:00 食事
2:00	14:00 TAC 自習
3:00 睡眠	15:00
4:00	16:00
5:00	17:00 大学
6:00	18:00
7:00	19:00 TAC 自習
8:00 移動	20:00
9:00	21:00
10:00	22:00 移動 食事 自由
11:00 TAC 自習	23:00
12:00	24:00 睡眠

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約8時間 上級期 約8時間

## TACのココが良かった！

### 自習室

自習室がとても快適で、集中して学習に取り組みました。特に、座席に仕切りがあったり、音読できるスペースがあったりして周囲を気にせず長時間集中力を持続できたのが良かったです。また、教室が開いている時間が長く、自分の生活リズムに合わせて利用できたため、効率的に総学習時間を確保でき、合格につながりました。

## 集中力維持のため、大学と受験勉強の切り替え時には場所変更で気持ちをリセット

### 公認会計士を目指したきっかけ



公認会計士を目指したのは、会計という専門性を武器に、経済社会の健全な発展に貢献したいと考えたからです。特に、企業の透明性を守る監査という独占業務に、大きな社会的意義を感じました。

また、この資格があれば、キャリアパスが多岐にわたり、若いうちからプロフェッショナルとして活躍できる点にも強く惹かれました。

### TACを選んだ理由



私がTACを選んだ最大の理由は、長年の合格実績と信頼性の高さです。特に、教材の質の高さと、インプット・アウトプットが連動した体系的なカリキュラムが魅力でした。

また、校舎の利便性や、自習環境の充実(快適な自習室)も決め手となりました。特に日吉校は素晴らしい環境だったと思います。これにより、学習に集中できる環境が整い、効率的に合格を目指せると確信したからです。

### 具体的な学習方法



受験勉強と大学の学業の両立において、最も重要視し日々気をつけていたのは、「徹底した時間の管理と計画と実行」、そして「集中力維持のためのメリハリ」でした。まず、大学の講義、課題、受験の答練日程を年間から日単位まで全て見える化し、柔軟に計画を修正することを常に意識しました。大学のテスト期間など負荷が高い時期には受験勉強のペースを意図的に調整し、どちらも疎かにしないバランスを追求しました。具体的には、大学の移動時間や空き時間を暗記科目に充てる「スキマ時間の活用」を徹底し、机に向かう時間は主要な計算科目に集中できるように工夫しました。

次に、集中力を維持するため、「メリハリ」を大切にしました。大学と受験勉強の切り替え時には、場所を変え、気持ちをリセットし、設定した短期目標(例:「この1時間は財務会計に集中」)を達成するまで集中を途切れさせないように努めました。

受験と大学の学業を両立させるために、私は「インプットの効率化とアウトプットの徹底」を軸とする効率的な勉強方法と、「質の高いリフレッシュ」による徹底した気分転換の方法を実践しました。勉強面では、まず、予備校の基本テキストや講義資料はマーカーの色を統一して復習時に視覚的に情報を取り込めるよう工夫し、理解が難しい箇所は立ち止まらずに付箋を貼って後回しにし、倍速音声の聞き流しをスキマ時間に行うことでインプットの効率化を図り、アウトプットとして、答練や問題集を最大限に活用し、正解・不正解に関わらず解答プロセスを深く掘り下げて理解するとともに、間違えた問題や偶然正解した問題をまとめた間違いノートを作成し、直前期に弱点をピンポイントで潰すためのツールとしました。

気分転換については、どんなに忙しくても最低6時間は確保し質の高い睡眠を最優先として、さらに勉強に飽きたら散歩に行くなど気分を変えていました。週末には友人との交流や趣味に充てることで脳疲労を解消し、翌週のモチベーションを回復させ、高い集中力を維持して両立を成功させました。

### 公認会計士を目指す方へのメッセージ



この難関試験を突破できたのは、どんな時も理解し温かく見守ってくれた家族、的確な指導と熱意で導いてくださった予備校の講師の方々、そして苦しい時を励まし合い共に切磋琢磨した友人という、皆様の揺るぎない支えがあったからこそであり、心から感謝申し上げます。これから公認会計士を目指す皆さんへ、この道のりは長く険しいですが、「正しい努力は必ず報われる」と信じて、明確な学習計画を立て、それをやり抜く粘り強さと万全な体調管理を忘れずに取り組んでください。辛い時は一人で抱え込まず、仲間や講師を頼り、自分を信じて最後まで諦めずに努力を続ければ、必ず合格という栄冠を手にできますので、心から応援しています。

# SUCCESS VOICE



在学中合格

**岩原 浩誠** さん  
早稲田大学  
商学部 3年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学1年の5月 2年3ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	大学
2:00		14:00	
3:00	睡眠	15:00	
4:00		16:00	自習
5:00		17:00	休憩
6:00		18:00	
7:00		19:00	自習
8:00	準備	20:00	移動
9:00		21:00	
10:00	移動	22:00	自由時間
11:00		23:00	
12:00	大学	24:00	睡眠

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約7時間 上級期 約8時間

## TACのココが良かった！

### 質問・相談コーナー(校舎)

自分の状況と時期に合わせた学習計画を立ててくれるのがとても助かっていました。また、そこで雑談をすることが自分の中で息抜きになっていました。この長い試験勉強を何とか乗り切れたのは、質問コーナーで講師等と一緒に立てた勉強計画と雑談によるリフレッシュのおかげであると考えています。

合格の鍵は、講師等と一緒に立てた勉強計画と雑談によるリフレッシュのおかげで！

## 公認会計士を目指したきっかけ



入学当初は新歓イベントに明け暮れる毎日でしたが、次第に遊び中心の生活に物足りなさを感じるようになりました。そんな中、友人の一人が会計士試験の学習を始めたことで、この資格を詳しく知るきっかけを得ました。

もともと勉強をすることに抵抗がなかったということもあり、自分もこの道で専門性を極めたいと思い、大学一年生の5月末頃に挑戦を決めました。

## TACを選んだ理由



一つ目は、公認会計士を目指すきっかけを与えてくれた友人の影響です。友人が既にTACに通っており、その学習環境や教材の質の高さについて聞いていました。

二つ目は、大学の新歓で出会った元TACの先輩からの勧めです。その方は、TACのフォロー制度は充実していて、それが自身の合格に不可欠だったと熱く語ってくださり、信頼できると感じたためTACに決めました。

## 具体的な学習方法



モチベーションの維持に最も寄与したことは、自分自身で勉強計画を立てることです。これは必ずしも自分のみで計画を立てるという意味ではなく、講師やチューターと相談しながら一緒に勉強計画を立てるということも含みます。これは天邪鬼な自分だけかもしれませんが、人に決められた勉強計画や、普通とされているカリキュラム通りにやろうとするとモチベーションがなくなってしまうんですね(笑)。またこのやり方は、勉強計画を主体的に考えることで、その勉強をなぜやるのかが明確になり、学習効率の向上にも繋がりました。受講生の頃から職業的懐疑心を持ってください。

もう一つ重要だったことは人と関わることです。孤独との戦いになりがちな受験生活で勉強仲間と互いの悩みを共有したり、あえて専門外の他愛もない話をする時間は、最高のリフレッシュになりました。ただし、やるべきことはやった上で息抜きをすることをお勧めします。

勉強方法として一番意識していたことは、上記と似たような話になってしましますが学習計画を自分で細かく立てることです。これは単に時間を管理するためだけでなく、学習の質を高める上で極めて重要でした。なぜなら、その日に「何を、なぜやるのか」が自分の中で明確になるからです。この論点が試験でどう問われるか、自分の弱点をどう補強するかという目的意識を持って取り組めるため、学習に対する主体性が圧倒的に向上しました。

また、気分転換の方法は無限にありました。音楽を聴く、友人と話す、散歩をする、筋トレをする、トランプをする、パドミントンをする...等です。毎日机に向かうだけだとメンタルを崩しやすいので、気分転換は重要です。

あと、何より心がけていたことは家で勉強しないことです。家で勉強すると、サボってしまう上に基本的に集中できません。今日はいけるんじゃないかと思いき失敗したことが、数えきれないほどあります。自制心が極めて強い方を除いて、家以外の場所で勉強するようにしましょう。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



合格の鍵は、「主体的な学習計画」にあります。講師やチューターのアドバイスを仰ぎつつ、最後は自分自身で納得感のある計画を立て、進捗をコントロールすることが折れない心を作りました。

試験勉強は孤独で苦しく感じる時期もあると思います。しかし、今振り返ると、他の受講生と協力しながら公認会計士試験合格に向けて勉強していた日々は、青春だったと感じています。支えてくれた家族や仲間が存在があったからこそ、私は最後まで走り抜くことができました。

## 受験仲間や先生・チューターの支えを力に、周囲のサポートを活用して学習を継続できました

在学中合格



在学中合格

藤原 さくら さん

法政大学  
経営学部 3年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

高校3年生 2年4ヵ月

### 1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	食事
2:00		14:00	
3:00	睡眠	15:00	
4:00		16:00	
5:00		17:00	勉強
6:00		18:00	
7:00	食事	19:00	
8:00	通学	20:00	
9:00		21:00	
10:00		22:00	移動
11:00	勉強	23:00	食事自由
12:00		24:00	睡眠

### 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約6時間 上級期 約10時間

### TACのココが良かった！

#### 質問・相談コーナー(校舎)

常に校舎に講師の方がいて、勉強中にわからないことがあったらすぐに質問できる環境があるということが良かった理由です。また、答練や模試のフィードバックを受けることができたり、講師の方と話すことで他の課題が見つかったり新たな発見にもつながることもあるということも良かったと思います。

### 公認会計士を目指したきっかけ



目指そうと思ったのは、高校3年生のときです。選択授業で簿記やアカウントニングの授業があり、そこで会計士という仕事を知りました。そして、会計士は専門的な知識を身につけられることに加え、将来的にも安泰な無敵な資格だと聞き、興味が湧いたのがきっかけです。また、大学は4年間もあり、自由な時間がある大学生活を無駄にしたいと考え、目指そうと思いました。

### TACを選んだ理由



TACを選んだ理由は、会計士を目指すきっかけとなった高校のアカウントニングの授業を担当していた先生がTACの講師の方だったこと、法政大学の会計士講座がTACと提携していたということが大きいと思います。大学の先輩や同級生とも関係をつくりやすく、大学生活との両立もしやすかったため、TACが一番サポートを受けやすいと感じて選びました。

### 具体的な学習方法



私の大学では会計士試験受験生のための専用自習室があり、そこで一緒に勉強していた友達や先輩の存在が、勉強を継続するうえで一番大きかったと思います。そこで大学の授業のテストや課題の情報を教えあうことで、学生生活と受験勉強の両立にもつながりました。

私はひとりの環境だとだらけてしまうタイプでしたが、大学やTACに通うことで、勉強したくないと思った時も、周りが頑張っているから私も頑張ろうという気持ちになり、勉強を続けることができました。模試の成績が伸びず、勉強を辞めたいと思ったこともありましたが、講師の方が面談で声をかけてくださり、一か月ごとに勉強の目標を設定していただいたおかげで、合格するという目標を見失わずに走りきることができました。

受験生活を振り返ると、学習継続のために、ひとりで勉強せず、周りに人がいる環境で勉強することを意識していたと思います。

私は、大学2年生での5月短答・8月論文合格を目標に、大学1年生の5月頃から勉強を開始しました。簿記2級を経ずに会計士の勉強を始めましたが、最短で合格するには基礎的な問題を落とさないことが重要だと考え、常に基礎をおろそかにしないことを心掛けていました。

入門・基礎期ではトレーニングや例題を回転し、理論も問題集の問題は本番で解けるよう勉強しました。直前期でもアクセスを中心に基本問題を多めに解くようにしていました。その結果、短答ではA問題を落とさず合格できたのだと思います。その後論文の勉強を始めましたが、租税や経営、論文形式の問題に慣れず合格できませんでした。反省点は、租税と経営の復習時間が不足していたことと、得点すべき箇所が分かっていたにもかかわらず、復習が足りなかったことです。

2年目は得点すべきところを意識し、本試験を常にイメージして勉強した結果、本番でも取捨選択を行い、時間を有効活用して合格できました。このように基礎を固め、本番を想定した学習が合格につながったと感じています。

また、長期間の勉強を継続するため、定期的に休みを取り、メリハリをつけて勉強することも心掛けていました。

### 公認会計士を目指す方へのメッセージ



私はこの2年間、一度も答練で総合A判定を取ったことがなく、ほとんどがB判定でした。1回目の論文では総合偏差値が40を切る結果でもありました。過年度生になってからも、思うように勉強が進まない時期や、本試験直前にコロナに感染するという予期せぬトラブルがありました。それでも「本番で結果を出せばいい」と目標を明確にし、諦めずに勉強を継続したことが合格につながったのだと思います。

モチベーションを保てたのは、同じ目標を持つ受験仲間や、親身に相談に乗ってくださった先生・チューターの方々の支えがあったからです。皆さんも周囲のサポートを最大限活用し、最後まで諦めずに合格を勝ち取ってください。

# SUCCESS VOICE

在学中合格



在学中合格

**児山 優登史 さん**  
法政大学  
経営学部 3年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学進学時 2年5ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	食事
1:00		13:00	
2:00	睡眠	14:00	
3:00		15:00	
4:00		16:00	
5:00		17:00	自習
6:00	食事移動	18:00	
7:00		19:00	
8:00		20:00	
9:00	自習	21:00	
10:00		22:00	移動
11:00		23:00	食事
12:00		24:00	自由
			睡眠

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約3時間 上級期 約8時間

## TACのココが良かった！

### 質問・相談コーナー(校舎)

校舎で勉強することも多くあり、そこでわからないことをすぐに相談することができよかった。また、対面の授業の後に質問コーナーに行きその日にやったことでわからないことなど授業では聞けないことを聞くことができた。

長期試験を最後までやり切ったと言える状態まで取り組み継続学習を徹底しました

## 公認会計士を目指したきっかけ



私が公認会計士を目指そうとした理由は、商業高校の出身で簿記を学んでいたことに加え、卒業生に試験合格者がいるなど身近な存在だったからです。そして、大学に進学する際にいままで学んできた知識を活かして資格を取得したいと考えました。

## TACを選んだ理由



TACを選んだ理由は大学と提携しており安価で入学前受講が可能だったからです。在学中合格を目指していたためなるべく試験を多く受けるチャンスがあるといいなと考えていました。その点TACでは、高校卒業前から学習を開始でき2年合格のカリキュラムが用意されており、サポート体制も万全で早期に合格するための環境があると考えました。

## 具体的な学習方法



合格学習継続のために気を付けたことは勉強を継続的に言い試験がきたときに後悔しないと思えるように勉強したことです。試験の勉強ははやく長期に渡るのでそこであきらめて後悔しないようにしたいと考え、やり切ったと言える状態にできるように取り組みました。また、大学のサークル友達や勉強仲間がいたからこそ継続できたと思います。大学入学当初にサークルに入りそこで出会った人たちに頑張れと応援してもらえることが多々ありました。また、勉強仲間に関しては、自分が少しやる気がない時でも周りのみんなが勉強をしているから自分も頑張ろうと考えたり、模試で友達に負けないように頑張ろうと思えました。そのため、周りの人との関係が勉強を継続していくうえでとても大事になると思います。

入門期は計算科目に一日の時間の大半を使っていました。特に財務会計の計算は量も多く重要性も高いため重点的に勉強するようにしました。学習が始まったタイミングに理論科目の授業もスタートしていたため理論科目は授業を見るだけというのが多かったです。短答の5ヵ月前になったら少しずつ理論を始めて、まずは量が多い企業法から始めました。理論の勉強は基礎答練の範囲に合わせて行い問題集をベースに行いました。

そして、直前答練になるころには全範囲をテキストを熟読する形で行いました。論文では、5月から租税と経営を始めましたが、これらの科目と財務理論以外は直前期まではあまりできませんでした。そして過年度になり試験が終わった月から租税に取り組み圧縮講義で扱っていない部分などを学びトレーニングと答練を行いました。

そして、基礎答練が始まる時期に理論科目も範囲に沿って勉強をはじめいき、まずは問題集を覚えるようにしました。論文直前期には毎日全科目は触れるようにしバランスよく勉強しました。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



会計士試験合格に必要なことは継続して取り組むことだと思います。私自身も1発合格できず少し時間がかかりましたが継続して勉強を続けた結果合格することができました。自分がしんどいと思った際には適度に息抜きは必要ですが、やればやるだけ結果が変わる試験だと思うので途中で諦めずに最後まで頑張ってください。

これから会計士を目指す方については、会計士は収入も高く、キャリア選択の幅も多様に存在するので取得して損がない資格なのでぜひ目指してみてください。



在学中合格

松本 大聖 さん

明治大学  
商学部 3年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

中学生の頃 2年4ヵ月

1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	
2:00		14:00	
3:00	睡眠	15:00	
4:00		16:00	自習
5:00		17:00	
6:00		18:00	
7:00	移動	19:00	
8:00	自習	20:00	
9:00		21:00	
10:00	大学	22:00	移動
11:00	自習	23:00	
12:00		24:00	睡眠

1日の平均学習時間

入門・基礎期 約8時間 上級期 約10時間

TACのココが良かった！

テキストチェックゼミ

苦手科目である監査論のテキストチェックゼミを利用したが、どういった知識が本試験では求められるのかわかり、今までのテキストの読み方が間違っていたことがわかった。また、テキストの読み方を変えるだけで監査論の成績が上がり、最終的には得点源にすることができた。

テキストチェックゼミで今までのテキストの読み方が間違っていたことがわかり成績が上がった

公認会計士を目指したきっかけ



会計士を目指そうと思ったのは、幼少期からそろばんを習っており、数字に強いという自負があったからです。  
具体的に、中学生のころ商業高校への進路を考えたときに、その延長として公認会計士になれたらいいなと考えるようになりました。

TACを選んだ理由



TACを選んだ理由は、大学にある公認会計士を目指すコースの中でカリキュラムが一番早かったためです。また、簿記の学習に使っていたテキストがTACのものだったということもありました。  
学校選びにおいて、他校との比較を事前にはしませんでした。結果としてテキストの量や講師との距離の近さ、講義の動画配信サービスなどTACで提供されるすべてのサービスが他校で学ぶ友人と比べ、充実していると感じました。

具体的な学習方法



私が学習継続で特に気を付けていたのは、TACに行って勉強するということに習慣化させたことです。なぜなら、「勉強をする」という意識があるとうちも机に向かいにくくなりますし、周りの誘惑に乗りかねないと思ったからです。  
また、勉強することが習慣化されていないと風邪や帰省で勉強を離れる期間が生まれるとそれ以降勉強に戻れなくなるというリスクもあります。実際、受験友達でそうなってしまった人がいましたし、周りでもそういった話はよく聞きます。  
さらに、勉強を習慣化させると勉強時間を増やしてもそれが生活の一部になっているため、勉強のストレスを感じにくくなっていると実感しました。そのため、受験生活の中で、勉強という行為をいかにして習慣化させるかを気を付けてほしいと思います。

論文試験まで突破して、学習方法でよかったと思うことは早い段階で財務会計を自分の武器にできたことです。よくいう話ですが、公認会計士試験は短答、論文いずれも財務を制したものが合格します。逆に言えば、財務会計を得点源にできないと合格する難易度が跳ね上がります。

私のコースは5月短答8月論文合格を目指すものだったため、勉強期間の大半を財務会計に費やし、その結果、本試験で9割以上を取ることができました。財務会計でここまで取れていると他科目で多少失敗しても合格ラインはゆうに超えることができます。

また、これは論文でも同様で、会計学は偏差値全体の40%ほどを占めるため、ここが安定すると合格が見えてきます。そのため、とにかく早い段階から財務会計を極め、得意科目にするようにしてほしいです。

公認会計士を目指す方へのメッセージ



公認会計士試験の勉強期間は複数年にわたるため、精神的にも肉体的にもつらい時期が長く続きます。受験生活を振り返って今言えることは心の健康に気を遣ってほしいということです。肉体的疲労は短期的な休養期間を設けることですぐ勉強に戻ることができますが、心の健康は必ずしもすぐ治るものではありません。また、心の健康を取り戻してから勉強に戻るとも難しくなります。そのため、風邪をひかないよう気を付けるなどはもちろんですが、それ以上にメンタル面に注意を払ってほしいです。

# SUCCESS VOICE

在学中合格



在学中合格

**長谷 勇輝 さん**  
立教大学  
経済学部 3年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

高校2年生 2年9ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00	自習 又は 休息	13:00	昼食 移動
2:00		14:00	
3:00		15:00	
4:00		16:00	TAC 自習
5:00		17:00	
6:00	睡眠	18:00	
7:00		19:00	
8:00		20:00	答練
9:00		21:00	
10:00	朝食 移動	22:00	帰宅
11:00	大学講義	23:00	食事 入浴
12:00		24:00	

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約7時間 上級期 約10時間

## TACのココが良かった！

### オンライン質問・相談コーナー

受験期間を通じて企業法が苦手  
で、論文の企業法がとくに苦手  
であったが基礎答練からほぼすべ  
の答練を、解くたびに槇先生にオ  
ンラインで見せて添削、フィード  
バックをしてもらい、わからないこ  
とは質問するなどした結果、科目  
合格レベルになった。

## TACのカリキュラムにしたがってサポート体制 をフル活用すれば短期合格は十分に可能です

### 公認会計士を目指したきっかけ



高校二年次に行った職業適性検査において最も適性がある職業として公認会計士と診断されたこと、母が会計事務所でも働いており、会計の仕事が身近にあったことです。

高校三年の秋に学習を始め、初めはなんとなく勉強を始めましたが、学びを進める中で監査は会計の専門家として知識や経験を活かして財務諸表の信頼性に保証を与える という重要な仕事であることを知りました。日本経済を支える責任の大きい仕事であり、自らの専門性を通じて社会に貢献できる点に魅力を感じたため会計士を目指しました。

### TACを選んだ理由



他校と迷うことは迷いましたが、SNSでの講師の発言から少しビジネス色が強いと感じる部分があったため、なんとなく信用できず、TACを選びました。また、大学が池袋にあるため、池袋に校舎のあるTACを選んだ。さらに、TACは講師陣の数が多く、質問対応など時間を問わず行ってくれるため、サポート体制が整っていると感じたためTACを選んだ。

### 具体的な学習方法



一番気を付けていたのは下を向いて歩かないことで、目線が下を向いてきたら運動して気分転換をすることを意識していた。また、大学には週に2回ほど行けばよいように時間割を組み、会計士の勉強の妨げにならないようにしていた。大学の単位は会計系の授業を取るようし、簿記、監査、原価計算、ファイナンスなどで埋めていく形をとっていた。

友人との交遊はほとんど行わず、短答式試験後や長期休みに1、2日遊びに行く程度にとどめていた。サークルは会計士の勉強をするものだけに所属し、他の活動は行わなかった。アルバイトは学習開始から合格まで一切やらなかった。短答合格までは校舎で勉強し、論文期には答練を受けに校舎に通っていた。質問コーナーは論文期に積極的に活用していた。

短答期には週に1回は軽めの勉強日にし、通常10時間程度のところを3時間程度にしていた。財務計算は入門期は講義受講→トレーニング→必要に応じてテキスト、短答期はアクセス→テキストで2時間、論文期はアクセス→必要に応じてテキスト。財務理論は講義受講後、短答期はテキスト精読と問題集、論文期は論文対策講義視聴(配信時期は池上先生、一回目標試前に吉橋先生)→各種答練。管理会計論は入門期トレーニング→テキスト、短答期はアクセス→テキスト+原価計算基準+問題集、論文期はアクセス→テキスト+論文理問題集。監査論は講義受講(論文対策講義は岡田先生)後、テキスト精読→各種問題集・答練。企業法は講義受講後、短答期は問題集+テキスト精読、論文期は各種答練+毎回オンラインで槇先生に見せて添削・フィードバック。租税法は講義視聴(三田先生)、論文対策講義(東海林先生)、トレーニングまたはアクセス→テキスト、各種答練→テキスト。理論はテキスト→基準集で条文確認+要約条文にマーク。経営学は講義視聴(ファイナンスは藤沢先生、理論は桑原先生)、計算は章末問題・問題集・各種答練→テキスト、理論はテキストと桑原先生のレジュメ、直前講義テキストをできる限りやっていた。

### 公認会計士を目指す方へのメッセージ



公認会計士試験に合格するために最も重要な要素は継続です。学習期間は平均3~4年になると思いますが、TACのカリキュラムにしたがってサポート体制をフル活用すれば短期合格は十分に可能です。

3年間の受験生活を支えてくれた家族、講師の方々への感謝の気持ちでいっぱいです。これからも一人前の会計士になれるように邁進してまいります。

学習期間が長くなり、精神面、体力面でとても負荷のかかる試験と思いますがTACを信じて続ければ絶対に合格することができます。頑張ってください。

## 合格者占有率ではなく、「合格率」が大事！ TACを信じるのが合格の最短ルート



在学中  
合格

川口 隼人 さん

龍谷大学  
経営学部 3年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

高校1年生の時 2年10ヵ月

### 1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	
2:00		14:00	
3:00	睡眠	15:00	勉強
4:00		16:00	
5:00		17:00	休憩
6:00	起床	18:00	
7:00	移動	19:00	勉強
8:00		20:00	移動
9:00	勉強	21:00	
10:00	散歩	22:00	自由時間
11:00		23:00	
12:00	食事	24:00	睡眠

### 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約8時間 上級期 約10時間

## TACのココが良かった！

### 自習室

TACといったら長机で勉強をすることであり、空いている自習室で広々と自習することができてよかった。また、その教室にいる全員が資格に合格することを目的としており、そういう雰囲気の中で勉強することができるため、やる気が出ると共に、勉強に集中することができた。

### 公認会計士を目指したきっかけ



高校1年生の時に、部活の顧問と面談をしたときに「この大学に行きたいのなら相当勉強をしなければならない」ということを言われました。私はそのときにその目標を達成したいと思い、数学を扱う仕事を調べた際に公認会計士という資格を知って、後に説明会に参加したときに、その講師に憧れを持ち、目指したいと思いました。

### TACを選んだ理由



合格者占有率等が優れていたため、元々は某予備校に行こうと思っていました。しかし、TACの公認会計士セミナーに参加したときに、そのときに話をしてくださった中根先生の話が面白く、この講師のもとで学びたいと思い、TACを選びました。

### 具体的な学習方法



スマホをよく触ってしまうので、スクリーンタイムをかけるなどして制限をかけていました。しかし、制限ばかりで勉強漬けの生活はモチベーションを維持することが困難です。そこで私はモチベーションを維持するためによく人と話していました。この試験は自分との戦いでもあり、本当にしんどい試験です。そのため、TACやゼミ、友人と話したり、ときには一緒にご飯を食べてモチベーションを維持していました。その時間はすごく楽しく、勉強のことを忘れることができるため、大切な時間だと思いました。また、家族には本当に迷惑ばかりかけました。ほぼ毎日送迎してもらったり、温かいご飯を作ってくれていたため、感謝の気持ちだけは忘れないようにしています。この合格は僕1人の頑張りではなく、家族や友人、講師など色々な人のサポートによって合格できたと思います。

私は家で集中することができないタイプであるため、毎日TACに行くことを心掛けていました。勉強する場所をTAC、休む場所を家とすることによりメリハリがついて良かったと思います。また、疲れている日や集中できない日はいつもよりも早く帰ったり、実力テストの翌日や全国模試の次の日は休みを設けたりしていました。休みの日は友達と遊んだり、映画やYouTubeを見るなどをしてゴロゴロしていました。日曜日の18時以降はTACが空いていないため、受験仲間と食べに行ったり楽しんだりもしていました。勉強に集中できないときは場所を移動したり、散歩に行くなどをして気分転換をしてました。場所を変えたり、散歩をするだけで再び勉強に集中することができるようおすすめです！

### 公認会計士を目指す方へのメッセージ



私が合格できたのは私1人の力ではなく、家族、友人、TAC、受験仲間など様々な人の支えによって合格することができました。この合格を勝ち取るまで色々サポートしていただき、本当にありがとうございました。合格者占有率がトップという広告を出している予備校がありますが、合格者占有率が重要なのではなく、「合格率」が大事ということもこの勉強をして知りました。TACは某予備校と違い、ムダな教材がなく、公認会計士による質問相談をすることができるため、最高の教材と環境を提供してくれます。TACを信じるのが合格するための最短ルートだと思っています。

# SUCCESS VOICE

在学中合格



在学中  
一発合格

**高田 祥平** さん  
東北大学  
経済学部 4年

## 対面での講師からの深い分析によるアドバイスは、学習のモチベーションになっていました

### 公認会計士を目指したきっかけ



大学では何か大きなことを成し遂げたいと考えていました。そこで資格を取ろうと考えたとき、定評のあった会計士についてTACのセミナーに参加したところ、その強い専門性と数字を使って仕事を出来る点、将来性の高さについて強く惹かれ、大学二年の初めから目指しました。

### TACを選んだ理由



TACの会計士講座は非常に評判が高く、会計士の勉強を始めるならここしかないと考えました。実際、TACに入ってから勉強に有意義なサービスをたくさん受けることが出来ました。

また、自分が住んでいた地域に校舎を構えていたこともあり、TACを選びました。勉強場所が欲しかった自分にとってこれは譲れないポイントでした。

### 具体的な学習方法



学習時間を捻出するために、大学では授業の取り方を工夫しました。具体的には出席が不要な授業や勉強がそこまで必要ない授業、会計士の勉強と範囲がかわる授業を優先的に履修しました。そのため同じ単位数を履修している友達と比べ非常に長い空き時間を確保でき、会計士試験の勉強時間を十分に取れました。逆にモチベーションの観点からサークルやバイトは最低限残し、勉強から離れる時間も確保していました。勉強で行き詰った時にはこれらの存在が大きな救いでした。

また、自習室等で勉強しているときには、2時間に一度くらいのペースで雑談して、肩の力を抜いていました。勉強の力の抜きどころをしっかりと用意していたからこそ、長い受験期間に耐えることが出来たのかなと考えています。

やはり名実ともに重要な財務会計論を得意にすることが合格への近道だと考えたので、当初から財務会計論を中心に学習計画を立てていました。特に短答アクセス答練は非常に良い教材で、論文に至るまでの財務の計算力を身に着けました。上級期になると企業法や監査論などの理論科目が重要になってくるので、その比重を増やしていきました。

ただ、直前期には理論科目を詰めるという一般論があると思いますが、計算科目は必ず電卓をたいて確認することを意識していたので、計算と理論の比率が極端に偏ることは短答・論文ともありませんでした。この方針は本番で会計処理を忘れてしまうというケースを激減させてくれて良かったです。

また、心がけていたのは前向きな状態で勉強に向き合うことです。自分は決して成績が良いほうではなく、なかなか答練では合格圏内に入れませんでした。特に直前期は本当に落ち込むこともありましたが、そのような場合でも、「本番までには追いついて見せる」「周りが出来すぎていただけだ」と前向きに捉えて気持ちを保ちました。

また、どうしても前向きになれない時には音楽を聴いたり、外に出て体を動かすなど、形から入ることも大事にしていました。不安な気持ちを勉強の原動力に変えられれば最高ですが、いち早く取り除くことが必要な場面もきっとあるので、困ったときには実践してみるのもいいと思います。

### 公認会計士を目指す方へのメッセージ



公認会計士試験は苦しい試験です。私自身膨大な範囲、レベルの高いライバル、低い合格率と、本当に厳しかったです。現在試験の勉強をされている方の中には、合格への兆しが見えず、苦しい思いをされている方もいると思います。そして試験に合格した人もその過程ではきつこうした壁にぶつかっています。私も何度もこの壁を経験しました。大事なことは絶対にあきらめないこと、そして困ったら周りを頼るということです。正しい努力を継続すればきっと光が見えると信じていますので、困難の中でも、自分を信じて、そして周りを頼って、継続してみてください。心から応援しています、頑張ってください！

会計士を目指すと思った時期 合格までの期間

大学二年の初め 2年4ヵ月

### 1日のスケジュール

0:00	自由	12:00	昼食
1:00		13:00	
2:00		14:00	
3:00		15:00	
4:00		16:00	自習
5:00	睡眠	17:00	
6:00		18:00	
7:00		19:00	
8:00		20:00	移動
9:00	起床準備	21:00	食事
10:00		22:00	移動
11:00	大学	23:00	自習
12:00		24:00	入浴等準備

### 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約3時間 上級期 約8時間

### TACのココが良かった！

#### 質問・相談コーナー(校舎)

学習について講師の方からの確かなアドバイスを頂いていました。講師の方もこちらのことを気にかけてくださっていたので、自分よりも深い分析をしていただけたことも多かったです。また、対面ということもあり雑談がしやすく、学習のモチベーションにもなっていました。

大学と会計士の勉強を1週間のうちのどの曜日に  
どれぐらいやるかを決めてメリハリをつけて勉強

在学中合格



在学中  
一発合格

佐藤 里奈 さん  
慶應義塾大学  
理工学部 4年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学1年生 2年6ヵ月

1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00	勉強	13:00	
2:00		14:00	
3:00		15:00	勉強
4:00		16:00	
5:00		17:00	
6:00	睡眠	18:00	夕飯
7:00		19:00	お風呂
8:00		20:00	
9:00		21:00	
10:00		22:00	
11:00	起床	23:00	勉強
12:00	昼食	24:00	

1日の平均学習時間

入門・基礎期 約6時間 上級期 約10時間

TACのココが良かった！

合格者チューター

大学の勉強と両立して会計士の勉強を進めることができるような自分に合う学習計画を立ててくださり、同じ大学の合格した先輩に聞くことで無理のない範囲で最適な学習プランを計画することができたのがよかったです。

公認会計士を目指したきっかけ



大学で金融工学を学び始めたのを機に、より実務で使えるような資格を勉強したいと思ったからです。初めは公認会計士以外の証券アナリスト等の資格も検討していましたが、TACの方から様々な資格を紹介していただいた中で、公認会計士が最も魅力的に感じたからです。

TACを選んだ理由



大学の友達や先輩が資格の勉強をしていて、その人たちが通っていたのがTACだったので、自分もTACに通ってみようと思いました。当時は公認会計士の講座以外の講座も検討していたため、他の会計士講座を扱う予備校よりも、TACの方が資格試験の講座の種類が豊富で、自分の需要にあっていると感じました。

具体的な学習方法



大学では毎週実験レポートの提出があり、授業外でもかなり時間が取られてしまいました。そのため、実験レポートは実験の終わった日に必ず書き終わらせ、何日もかけないことを自分の中で決めていました。学校のある日や実験の日はそちらを優先させ、それ以外は会計士の勉強に時間を充てるようにし、メリハリをつけて勉強したことで、会計士試験の勉強時間をある程度まとまることができたので、あらかじめ大学と会計士の勉強を1週間のうちのどの曜日にどれぐらいやるかを決めておくといいと思います。

夏休みや春休みの長期的な休みには旅行に行くこともありましたが、あくまでも気分転換のために、ストレスを一気に解消し、そのあとは試験本番まで勉強に打ち込みました。受験勉強は長期戦なので、ストレスを抱え込みすぎているなど感じたら思い切って何日か休んでみることも大切だと思います。もちろん勉強に支障が出ない範囲で自己管理を徹底する必要があります。

短答の勉強では、計算科目はアクセスを完璧に解けるまで回し、理論科目は答練や問題集の肢を全て覚えめました。特に理論問題は本試験でも見たことのある問題が多く出題されるので、できるだけ多くの問題を覚えることが大切だと感じていました。論文の勉強では、財務、管理の計算は基礎力を落とさないことを意識してアクセスで補強し、租税の計算はアクセスと答練でアウトプットしつつテキストの細かい知識を暗記していました。経営学の計算は他の科目の計算と異なり、回転してアウトプットをするよりも理解重視でアウトプットしたほうが点数が伸びるので、問題集を用いてどうしてこの式を立式するのか、この式を使う意味は何なのかをじっくり考えながら解いていました。

理論については、典型論点は全て問題集を使って覚え、問題集を覚え切ったらテキストを読んで細かい知識を詰めました。論文式試験ではみんなが書けるところをいかに落とさないかがポイントになるため、有名な論点などは時間をかけ、完璧に吐き出すことができるまで繰り返しインプットしていました。短答式試験から論文式試験までは期間が短いので、12-2月ぐらいまでは好きなことをする時間を設けたり比較的のんびりしていましたが、3月以降は遊ばずに勉強に集中していました。

公認会計士を目指す方へのメッセージ



公認会計士の勉強は量も多くほとんどが初学の範囲だったので決して楽な道ではありませんでした。短答式試験では悔しい思いをしたことや撤退したいと考えたこともありましたが、TACの先生やチューターの方が親身に相談にのってくださり、諦めずに勉強を続けた結果として短答式試験と論文式試験に続けて合格することができました。あの時本当に撤退しなくてよかったと今では心の底から思っています。勉強中は辛くても、合格してしまえば、辛かった日々が嘘のように輝いて見えます。今は辛くても、合格まで諦めずに頑張ってください。皆さんの合格を心よりお祈りしています。

# SUCCESS VOICE



在学中  
一発合格

**五月女 和真 さん**  
東京大学  
経済学部 4年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学2年の夏頃 2年2ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	大学 自習
2:00		14:00	食事
3:00		15:00	
4:00		16:00	
5:00	睡眠	17:00	
6:00		18:00	大学 自習
7:00		19:00	
8:00		20:00	
9:00		21:00	
10:00	移動	22:00	
11:00	大学 自習	23:00	移動
12:00		24:00	自由 睡眠

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約3時間 上級期 約6時間

## TACのココが良かった！

### LINEオープンチャット/公式LINE

平林先生が頻繁に重要な情報を共有してくださったため、自発的に情報収集せずとも情報へアクセスできるのが便利でよかった。また試験直前などの発信は有意義なものが多く、受講生でも助けられていた人は多いように思います。

成績が伸び悩んでいる方は、学習相談などで一度勉強法を見直してみることが合格の鍵

## 公認会計士を目指したきっかけ



会計士を目指そうと思ったのは土業であることにより将来のキャリアの選択幅が増え、また監査を通じて広く社会に貢献する点にひかれたからです。予備校のパンフレットをいただいたのがきっかけで目指そうと思ったのは大学2年生の夏頃です。

## TACを選んだ理由



Webサイトを見て会計士の受験業界にはTAC、大原、CPAの三つが大きく台頭していることをリサーチしました。その上で各予備校の合格率を調査したところ大差がないという結論に至り、この中でも特に会計士講座のノウハウを蓄積している年月が長く、また体験の授業に参加した際も簿記についての授業が自分の肌に合っていると感じたためTACに魅力を感じ入塾しました。

## 具体的な学習方法



私は毎日勉強ばかりしているのは苦痛だったためサークルの参加やバイト、友人との交遊は基本的に勉強と並行して行っていました。一方でそれだけだと時間が足りなくなるため大学の授業はテストのみ受け、TACの授業はオンラインで倍速視聴するなど時間を捻出していました。ただ短答や論文の直前3ヶ月は答練が集中することもあり、基本的には一日10時間の勉強をするなどメリハリをつけて学習を行うよう意識していました。また、家にいると集中できずモチベーションを維持できないため基本的には大学の図書館に午前中から行き、遅めの昼食をご褒美がわりにして夜の22時半まで勉強していました。特に学習のモチベーションであり指針でもあったのが答練の成績表で、どのようにすれば全体の総合成績が上がるのか自分で考えながら学習スケジュールを組んで学習に取り組むのはとても楽しかったです。

私が学習で一番心がけていたのはバランスです。まず科目ごとのバランスがあります。短答では約7割、論文では偏差値52が要求されるわけですから基本的には苦手科目を作らず、各科目がバランス良く得点できるように心がけていました。確かに得意科目を伸ばす勉強法もありますが、本番で得意科目の得点点が保証されるわけではないため、穴を潰す方が効果的だと考えていました。またインプットとアウトプットのバランスも心がけていました。人間の忘却曲線や学習の定着のスピードを考えた際に、一気に詰め込んで徐々に吐き出すのは非常に効率が悪いです。そのため定期的にインプットとアウトプットを交差させつつ学習を行っていました。直前期になるとアウトプットの役割を答練が大部分になってくれるため、苦手な基礎的な範囲にインプットの対象を絞ることができ効率的な学習を進めることができました。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



大学受験の勉強とは異なり、基本的な学習を効率よく積み重ねることで合格につながるという努力が報われる試験だと思っています。一方で努力の方向性を誤ると何年も合格できないといった苦勞を産んでしまうため、成績が伸び悩んでいる方は学習相談などで一度勉強法を見直してみようことをお勧めします。そのような素直な姿勢が合格への近道かつ合格の鍵を握っていると個人的には思います。TACの講座を受講されている受験生全員の合格を祈っています。



在学中  
一発合格

**先山 希 さん**  
東洋大学  
経済学部 4年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学 2年生 2年0ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	
2:00		14:00	大学
3:00		15:00	
4:00	睡眠	16:00	
5:00		17:00	
6:00		18:00	
7:00		19:00	自習
8:00	起床	20:00	
	食事	21:00	
	通学	22:00	帰宅
10:00		23:00	食事
	大学	24:00	自由
12:00			睡眠

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約4時間 上級期 約4時間

## TACのココが良かった！

### 質問・相談コーナー(校舎)

1対1で行われるため、経験豊富な講師の方たちが自分に合った学習法やアドバイスをくださり、学習の指針となりました。また、モチベーションが下がってしまったときに励ましてくださり、とても大きな支えになりました。

## 各論点の大枠を理解し知識を整理、暗記と理解を区別して学習したことが合格のポイント

### 公認会計士を目指したきっかけ

大学2年生の時に就職活動や将来の自分のキャリアを考え、何か専門性を身につけなければならないと感じたことがきっかけです。会計士のキャリアは幅広く、収入も担保されているという点が自分にとっては魅力的でした。

### TACを選んだ理由

高校時代の友人がTACで会計士の勉強をしており、勧められたのがきっかけです。正直なところ、予備校間の比較検討はしっかりとできた訳ではありませんが、TACは理解に重きをおいたスタイルで効率よく学習できるため、結果としてはTACを選んでよかったと思っています。

受講生のサポート面も充実しており、学習に集中するための環境が整っていると感じました。

### 具体的な学習方法

私は予備校の友人たちと一緒に勉強することでモチベーションを保っていました。周りの人たちが頑張っていると自分も頑張ろうという気持ちになれますし、辛いときやモチベーションが低下してしまった時には相談に乗ってもらっていました。長期間の受験生活を送るにあたって孤独に黙々と勉強をし続けるのは並大抵の精神力では不可能なので、たまには人と話してリフレッシュすることが大事だと思います。

また、私は最初は大学に通いながら会計士試験の勉強をしていましたが、大学の勉強との両立は難しかったため、論文式試験を受験する際は休学をしました。休学をすると会計士の勉強に専念しやすくなるだけでなく、新卒の資格を保持することができるため、精神的な負担を軽減することができます。大学生の方は検討してみてください。

計算科目についてはやり方を単純暗記するのではなく、どのような理屈で処理が行われているのかを意識して勉強していました。応用的な問題に対応するためにはその論点の基本的な理解や解像度の高さが重要になってくるため、講義で習った段階から分からない部分を作らないようにしていました。それに加えて計算科目は早く正確に解く力が必要になってくるので、演習に時間をかけて回転数を増やすようにしていました。

理論科目についてはまず問題を解いてアウトプットを行い、できなかった部分や曖昧だった論点をテキスト等で確認するという流れで学習していました。記憶は思い出す過程で定着するため、インプット中心よりもアウトプット中心の学習のほうが個人的には良いと思っています。アウトプットの方法としては、誰かに説明するつもりで口に出したり、頭の中で説明の流れを思い浮かべたりすることを意識していました。これらを書き出す作業は時間がかかりすぎるため基本的には行いませんでしたが、論点が複雑な場合には、紙にロジックフローのような形で簡潔に書き出すこともありました。自分が理解できれば十分なので、略語を多用し、できるだけコンパクトに整理することを心がけていました。

### 公認会計士を目指す方へのメッセージ

合格のポイントは、暗記と理解を明確に棲み分けて学習したことです。まず各論点の大枠を理解することで、知識の位置づけが明確になり、暗記の助けにもなりました。その上で、理解が必要な部分からも、暗記が必要な部分からも逃げずに向き合い、メリハリをつけて学習したことが、合格につながったと思います。

これまで講師の方や家族、友人などたくさんの人たちに支えられながら勉強してきたので、これからはその恩返しをしたいと思っています。

# SUCCESS VOICE

在学中合格



在学中  
一発合格

**高須 駿佑** さん  
名古屋大学  
経済学部 4年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学3年の夏 2年0ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	昼休憩
1:00		13:00	
2:00	就寝	14:00	勉強
3:00		15:00	
4:00		16:00	夕方休憩
5:00		17:00	
6:00	朝の支度	18:00	勉強
7:00		19:00	食事・風呂
8:00		20:00	
9:00	勉強	21:00	勉強
10:00		22:00	
11:00		23:00	就寝
12:00		24:00	

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約7時間 上級期 約7時間

## TACのココが良かった！

### デジタル教材(PDF教材)

数あるサポートの中でも、PDF教材が最も役立ちました。特に計算問題の復習では、何度も消して書き込めるため繰り返し演習がしやすく、理解の定着が大きく進みました。このサポートのおかげで学習効率が何倍にも上がりました。

## 時期ごとの学習の重点と、理論と計算において「理解」と「暗記」のバランスを意識しました

### 公認会計士を目指したきっかけ

BtoBの仕事に興味があり、職種を調べていく中で「監査」という経済を下支える重要な役割を知りました。企業の信頼性を支える専門職である点に魅力を感じ、この分野で力を発揮したいと思うようになりました。実際に、会計士を目指すこと決めたのは、就活が始まりだす大学3年生の夏ごろでした。

### TACを選んだ理由

TACを選んだ理由は、名古屋にある予備校の中でも校舎が特に綺麗で、学習環境として非常に魅力的だったからです。自習室や共有スペースの雰囲気も整っており、長時間勉強する上で大きな安心感がありました。また、説明を受けた際の受付の方や先生が丁寧に対応してくださり、受験生に寄り添う姿勢を強く感じたことも決め手となりました。この環境なら最後まで頑張れると確信し、TACを選びました。

### 具体的な学習方法

受験生活を振り返ると、長期間にわたって学習を継続するためには、勉強以外の時間の使い方や気持ちの切り替えが非常に重要だったと感じています。私の場合、カフェでのアルバイトが大きな役割を果たしていました。勉強から一度離れて働く時間は良い息抜きになり、適度に頭をリセットできたことで、再び机に向かった時の集中力が高まりました。それ以外の時間はできる限り学習に当て、日々の積み重ねを大事にしていました。また、答練やアクセスの成績発表はモチベーション維持に特に効果的でした。数字として自分の実力が客観的に示されるため、うまくいった時は自信につながり、思うように行かなかったときは弱点を把握して次に活かすきっかけとなりました。こうした定期的なフィードバックがあったことで、学習の方向性が常に明確になり、前向きに努力を継続できたのだと思います。

私が受験勉強を進める上で特に意識していたことは、時期ごとの学習の重点と、理解と暗記のバランスです。まず、基礎期には計算科目を重点的に取り組みました。計算は一朝一夕では身に付かず、反復によってしか実力を伸ばせない科目です。そのため、基礎期のうちに演習量をしっかり確保し、直前期に入る前には合格に必要な水準まで力をつけておくことができたように感じています。この土台づくりが直前期の大きな安心感と余裕につながり、理論科目に重点を置いた勉強が可能となって、結果として良い結果を残すことができました。

また、理論と計算の両方において「理解」と「暗記」のバランスを常に意識して学習を進めました。計算科目は手を動かす回数を意識して理解した内容を体で暗記することで確実に得点できる力を養いました。理論科目では、最終的には暗記が勝負になるものの、その前提として内容の理解や重要度の見極めが不可欠です。そのため、基礎期上級期での授業で論点の背景や考え方を丁寧に整理し、直前期にはテキストを何度も読み込み暗記に集中しました。「理解→重要度の判断→暗記」の流れを作ることで効率的に定着させることができました。

気分転換について、勉強に行き詰まった時に短い休憩を挟むことを意識していました。コーヒーを飲んだり、階段を上り下りしたりするだけでも気持ちが整い、集中力を保つことができました。

### 公認会計士を目指す方へのメッセージ

公認会計士試験を終えて強く感じたのは、「努力は気持ちいいものだ」ということです。自分で立てた目標に向かって努力し、それを達成できた時の達成感は何にも代え難いものがあります。学習中は不安やしんどさを感じる場面も多いと思いますが、その先に待っているのは合格証書だけではありません。胸を張って誇れる自分が待っています。未来の自分を信じ、一歩ずつ積み重ねていけば必ず道は開けます。

努力の気持ちよさを、ぜひあなた自身で掴んでください。応援しています。



在学中  
一発合格

小森 涼介 さん

立命館大学  
経営学部 4年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学 1年生

3年8ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	移動
2:00	勉強	14:00	答練
3:00		15:00	
4:00		16:00	
5:00		17:00	復習
6:00		18:00	食事
7:00		19:00	
8:00	睡眠	20:00	勉強
9:00		21:00	
10:00		22:00	カフェ勉強
11:00		23:00	移動
12:00	準備	24:00	食事

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約5時間 上級期 約5時間

## TACのココが良かった！

### 質問・相談コーナー(校舎)

TACの一番の魅力は、間違いなく講師の方々と対面で話せる機会が多いことだと思っています。公認会計士として活躍されている講師の方々と話すことで、様々なお話を聞くことができ、モチベーションアップにもつながりました。

## 講師と対面で話せる機会が多いことがTACの一番の魅力！モチベーションアップにつながる

## 公認会計士を目指したきっかけ

大学受験当時、私は芸術学部を目指していましたが失敗し、滑り止めで経営学部に入學しました。入学当初はコロナ禍で、スマホをいじくり倒す毎日が続いていました。そこで、経営学部ということもあり、簿記3級を独学で学習し始めました。YouTubeで授業動画を見ている中で、公認会計士という資格を知り、将来の選択肢の広さに魅力を感じました。

## TACを選んだ理由

独学で学んでいた簿記のテキストがTAC出版だったので、TACを選びました。連結のタイムテーブルなど、予備校によって簿記の下書きが違うという話を耳にしていたので、慣れていない解き方がいいだろうと考え、TACを選びました。また、校舎が多く、受験仲間を作りやすそうだなと感じたことも、理由の一つです。実際にたくさん友人ができました。

## 具体的な学習方法

とにかく勉強しない日を作らないことを意識していました。この試験を突破するのに最も必要な力は、高度な数学力でも、論理的思考力でもありません。ズバリ、根気です。試験はもちろん難しいですが、大学受験の数学や国語の方が問題の難易度としてはよっぽど難しいです。難関ポイントはとにかく膨大な量。ひたすら量に苦しめられた受験生活でした。そのため、とにかく勉強を続けること、一分でも、一問でもいいから問題を解くことを意識していました。ただ、計画的にリフレッシュするのはいいと思います(試験直後の小旅行etc...)

また、受験仲間を作ることも大切です。最初の1~2年は一人で勉強していました。友人と答練後に談笑する他の受講生を横目に、「喋ってる時間があつたら勉強しろよ!」と思いながら孤独に学習していました(結果惨敗)。人それぞれですが、私は友人と勉強した方が継続できるタイプでした。勇気を出して話しかけてからは、受験生活があまり苦ではありませんでした。一日何時間も勉強するわけなので、楽しく続けられる環境を作ることは、重要だと思っています。

ゴッパチ合格したので、12月短答後から論文本番までの学習方法を書きます。私が12月短答に落ちた原因は、答練の理論を一切見直していなかったことでした。計算は合格レベルに達していたので、3月までは基本的に短答合格者と同じスケジュールで進めていました。会計学は応用答練まで、それ以外の科目は基礎答練まで受けました。租税と経営の理論はまったく触っていませんでした。3月頭から少しずつ短答の勉強を始めました。具体的には、webトレーニングを活用して、間違えた問題を洗い出す作業を行っていました。ゴッパチ生は特に時間がないと思うので、移動時間などを活用するといいいと思います。4月からは完全に短答にシフトしテキスト回転に努めました。5月短答合格後は、租税と経営の計算をひたすら演習し、残りの理論講義を進めていました。論文答練は会計学のみ受けて、ほかの科目は読んでいただけでした。なんとか第2回の論文模試では偏差値52をとることができ、本番も54で合格することができました。大まかなスケジュールはこんな感じですが、正直状況は人それぞれ過ぎるので、参考程度にさせていただくと幸いです。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ

受験生活はつらいことの方が多いと思います。しんどい時は遠慮せず、周りの人を頼りましょう。TACの先生はそういった相談も優しく聞いてくださる方ばかりです。たくさん頼って、合格して、恩返しすればいいのです。何度もやめようと思いましたが、本当に続けてよかったと感じています。

少し就活をしただけでも、この資格の強さ、選択肢の広さを実感しています。可能性は無限大です。受験生活で最も励みになった租税法の三田先生の言葉があります。「今つらいですよ?だから価値があるんですよ。」簡単だったら誰でも取りますよね。難しいから、つらいから、この資格には価値があるので。読んでくれた皆さんが合格することを願っております。

# SUCCESS VOICE

在学中合格



**鳥見 太志** さん  
関西学院大学  
商学部 4年

在学中  
一発合格

できない原因を明確にし、改善し答練で課題を洗い出すことを繰り返すことが成績向上の秘訣

## 公認会計士を目指したきっかけ



公認会計士を目指そうと思ったのは、大学1年生の時です。私は高校が商業高校で高校・大学ともに推薦で入学しました。加えて、中学1年生の時からより理解力がなく、自分で考えて行動することができませんでした。

そこで、大学でこれらを克服するために大学の講師の方に相談したところ会計士試験を勧められたため、目指してみようと考えました。

## TACを選んだ理由



会計士を勧めてくださった方が、TACの方であったことに加え、大学の割引を適用することが出来たため、TACを選びました。

また、TACは関西に校舎が多くあり、私が住んでいる家から通うことが出来たことや、他校舎を利用するにあたって追加料金なしで利用でき、コスパよく合格することが出来ると聞いていたことも入校の理由になります。

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学1年生 3年2ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	勉強
2:00		14:00	昼食
3:00	睡眠	15:00	
4:00		16:00	
5:00		17:00	
6:00		18:00	勉強
7:00		19:00	
8:00	準備移動	20:00	
9:00		21:00	
10:00	大学	22:00	帰宅風呂等
11:00		23:00	
12:00		24:00	睡眠

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約6時間 上級期 約10時間

## TACのココが良かった！

### 自習室

自習室で勉強することで他の受験生を意識しながら勉強することが出来るため、集中しながら勉強することが出来たからです。また、疑問点が出た際には、他の受験生に質問して解消する機会があるため良いと感じました。

## 具体的な学習方法



学校生活と大学の両立についてですが、私は両立することは難しいと考えていました。そこで、大学には出席が必要な言語の授業のみ出席し、それ以外は比較的単位の取りやすい授業や会計に関する授業を履修して対応していました。大学の友人との交友はほとんど行わず、1年に一度会うか会わないかという生活を徹底していました。こうすることで勉強時間を確保し、周りとのギャップを感じにくくしていました。

勉強を継続する上で最も重要だと感じたことは、モチベーションに頼らず、ただひたすらに勉強することです。モチベーションは日によって変動するため、それに合わせて私の場合ほとんど勉強できませんでした。そこで、モチベーションを無視し、「朝起きたらTACに行く」という意識で勉強していました。

周りよりも勉強しているのに成績が上がらない方へ向けたものです。私は、財務トレーニングを25周して19回間違え、2023年12月短答式試験では、すべての科目の授業を予定通り受け終えた後、理論科目を一切勉強せず、財務と管理の計算のみを合計1900時間勉強しました。しかし、財務・管理計算ともに4問しか正解できず、全科目総合40%という結果に終わりました。この結果を受け、このまま勉強していても合格できないと考えました。

そこで、ある講師の方に相談したところ「自分に付け加えるべき力は何かを考えて勉強しろ」というアドバイスを頂きました。これを機に自身の勉強を見直すようになりました。そこから、勉強に関する本を7冊購入し、その内容と自分を比較して、何が違うのか、どうすれば改善できるのかを考え続けました。その結果、5月では34%成績を上げましたが不合格となりました。しかし、その後の短答・論文には合格しました。

私が伝えたいことは、まず自分でなぜできないのかを明確にし、改善方法を考えて実践し、答練を受けて課題を見つけることを繰り返すことです。これを徹底することで成績は大きく伸びます。よく聞く話ですが、これが一番大切だと感じました。ぜひ一度実践してみてください。必ず成長を実感できると思います。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



この試験は、今まで真剣に勉強に向き合ってきた人たちが少なくありません。これは私が通っていた校舎で痛感しました。事実、受験仲間は私よりも圧倒的に賢く、答練のたびに周りとの差を感じていました。これは誰もが少なからず体験することだと思います。周りと比較して勉強すると、できない自分が嫌いになる日が来ますし、私もそうでした。ではどうすればいいのか。その答えは1日前の自分と今日の自分、1週間、一か月前の自分と比較して成長しているかどうかを軸に勉強することです。

試験は大変ですが、講義を受け始めた頃と合格後の自分とでは、別人になっているはず。その瞬間まで、走り続けてください。応援しています。

TACのカリキュラムとサポート体制、面倒見の良さを感じ、他校から移籍して在学中合格！

在学中合格



在学中  
一発合格

**都築 美早** さん  
神戸大学  
国際人間科学部 4年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間  
高校生活終盤 2年10ヵ月

1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	昼休憩
2:00	睡眠	14:00	
3:00		15:00	
4:00		16:00	
5:00		17:00	自習
6:00	自習	18:00	
7:00		19:00	
8:00	食事	20:00	
9:00		21:00	移動
10:00	自習	22:00	
11:00		23:00	自由
12:00		24:00	睡眠

1日の平均学習時間

入門・基礎期 約2時間 上級期 約4時間

TACのココが良かった！

質問・相談コーナー(校舎)

TACに移籍して講師による質問・相談コーナーを利用したことで合格まで辿り着くことができたからです。それまでは例題や問題集を解いてただで合格に必要な基礎力を一切身に着きませんでした。しかし、講師からテキストを大切にすることを教わり、定期的に基礎が身についているかをチェックしてもらったことで初見の問題にも対応できるようになりました。

公認会計士を目指したきっかけ



志望大学選びがメインになる高校生活の終盤に、ふと大学卒業後の進路を考えたときになるべく一般的な文系就活をしたくないと思いつき資格を取ろうと思えました。そして、数多くある資格の中で公認会計士を選んだのは、まず試験に合格すれば高い収入や社会的地位が保証され、さらに業務内容の面でも不正を許さず公正な判断が求められる点に魅力を感じたからです。

TACを選んだ理由



私は1年目に別の予備校で勉強し短答に落ちた後にTACに移籍しました。移籍したのは卓越した自己管理能力がなくてもカリキュラムについていけると感じたからです。TACは京都にちゃんとした校舎があるため、全ての答練をリアルタイムで受験する機会があり、日程を引き延ばすことなく受験できました。TACには様々なサポート体制があり、かつそれをフル活用する雰囲気があることからかなり面倒見の良い予備校だと思います。

具体的な学習方法



私は、高校・大学受験、そして2024年度の会計士試験を通して追い込まれないとやらない性格であると自覚していたため、自身を追い込むために家族や予備校の講師に「絶対に合格します。次合格できなければ撤退し一般企業の就活をします」と口にしていました。短答式試験は年に2度あり何度も受験することができるためどうしても1回1回が疎かになるとは思いますが、上記の発言により目標を先延ばしにすることなく否が応でも勉強するようになります。

移籍後は計算科目・理論科目共通して、詰めの甘い勉強をしないことを意識しました。具体的に詰めの甘くない勉強というのはインプットを一通り終えた後、テキストを閉じて内容を想起することです。何も見ずに思い出すことで意外にも分かっていなかった部分が明らかになります。特にテキストの太字部分について、なんとなく分かったりするが正しく言語化できないところは、少しひねられた問題が出たときに対応できなくなるため要注意です。テキスト通りの言葉で内容を思い出せるまで勉強することは、かなり時間を要しますし非常にストレスがたまりませんが、負荷をかけないと必要な知識は絶対に身につかないので、記述式の論文はもちろん選択式の短答であっても、合格したいのであればしんどい勉強から逃げないでください。ただ、公認会計士試験の範囲は膨大で全部覚えることは当然できないため、最初の段階ではどの部分を抑えないといけないのかが分からないと思います。

また基礎力が大事とよく聞くとありますが具体的にどこまでが基礎かは教えてもらえないですし、私も基礎が何かが分からず例題をやることだと勝手に解釈していました。このような不安がある場合には、講師に相談し抑えるべきポイントを間違えていないか、自分が正しい方向で努力できているのかを確認しましょう。相談した結果、もし1人の講師の言うことに納得ができなければ別の講師にも質問するといいいと思います。

公認会計士を目指す方へのメッセージ



頭頭がよくない、家族が就職活動を迫る、周りに受験生がいないなど、管理不能な部分に目を向けて自分自身の不出来について言い訳をしている人は多いと思います。しかし、なぜ自分が受験勉強をできているのかということ、特に学生・専念生は考えてみてください。実際には多くの人に支えられていて、恵まれた環境にいるということに気付くはず。そして一見他の受験生に劣っていると感じるがあっても、工夫できることはないか、またそのせいで本当に合格が困難なのかについても考えてください。不利な条件でも頑張り次第で合格できるはず。あなたを支えてくれる人に感謝し前向きに勉強すれば、必ず成績は伸びるし人間としても大きく成長できると思います。受験勉強は自分の弱さと向き合う必要があり辛いと思いますが応援しています。

# SUCCESS VOICE



在学中合格

**和田 空** さん  
慶應義塾大学  
経済学部 4年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学1年生 3年5ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	食事
1:00		13:00	
2:00		14:00	
3:00	睡眠	15:00	自習
4:00		16:00	
5:00		17:00	
6:00		18:00	食事
7:00	身支度	19:00	
8:00	通学	20:00	自習
9:00		21:00	
10:00	大学	22:00	帰宅 & 寝る準備
11:00		23:00	
12:00		24:00	睡眠

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約6時間 上級期 約6時間

## TACのココが良かった！

### テキストチェックゼミ

テキストチェックゼミの良かった点はテキストの内容を網羅的にかつ短期間で復習できる点である。また見落としがちな重要論点に重点的に触れていた点もよかった。さらに受講生が回答するスタイルは予習の緊張感を高めてくれた。

基礎がしっかりしていれば初見の問題でも根本の考え方に立ち返って正解への道筋が見えます

## 公認会計士を目指したきっかけ



私が会計士を目指したのは専門的な知識を身につけずにとらわれない仕事をしたいと考えてからである。

会計士は監査という独占業務を通じて多くの企業を調査するため企業の組織構造や経営について詳しくなれそうな点に魅力を感じた。

## TACを選んだ理由



私がTACを選んだ理由は会計士受験生同士および受験生と講師の方々の距離が近い環境に魅力を感じたということである。

私は大学受験において1人で勉強していた期間があり、その期間の成績が芳しくなかったという経験から多くの仲間と勉強することが会計士試験合格への一番の近道であると考えていたためTACの環境はとても魅力的であった。

## 具体的な学習方法



学習を継続するために気を付けていたことは朝の集合時間を友達と設定して帰宅するということである。私の性格 午後TACに行くとき全く勉強しなかったため午前中に集合時間を設定することで継続的に学習することができた。

また毎日のタスクを無理なく設定することも意識していた。無理なタスクを設定すると達成が難しく、また達成できなかった時の精神的疲労や無理して達成した時の肉体的疲労は学習を継続するという観点からは合理的ではなかった。

さらに遊びたくなったら気にせず遊ぶということも徹底していた。よく意識高い人が遊んでる暇がないとかなんとか言っていますが、我慢しながら勉強を続けても内容は頭に入らないしストレスが溜まるという負のスパイラルに突入するため遊ぶこともとても重要である。

短答式試験の際、理論は特に理解をすることなくとにかく問題集や答練を暗記した。

計算はトレーニングを20周以上回して計算方法を体に染み込ませてからアクセスなどの答練を回してミスをして暗記した。この際に心がけていたことは1回で覚えることはできないと思うことであった。1回で覚えられないと思うと覚えられていなかった時のストレスがすごく、学習継続を阻害しかねないからである。

論文式試験の際、理論は問題集の解答を全て丸暗記してからテキストに戻って理解に努めた。

気分転換としては、長時間勉強して頭が回らなくなってきた際は5～10分ほどの散歩をして頭をリフレッシュさせていた。やる気が起きない日は思い切って一日中サークルへ行って勉強のことを忘れて遊んでいた。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



これから公認会計士を目指す方へ、合格のポイントは基礎を徹底的に固めることです。基礎がしっかりしていると初見の問題に当たった際に根本の考え方に立ち返ることによって正解への道筋が見えることが多く、また応用的なものを暗記する際の根幹となってくれるからです。

しかし、基礎を繰り返すことは精神的にも辛いことが多いです。そうなった際は応用的な問題でアウトプットを繰り返しましょう。それでも辛い時は思い切って休んで次の日から頑張らしましょう。大事なことは最後までやり抜くことなので他人は他人と割り切って自分のペースで合格を勝ち取ってください。



在学中合格

進士 翔太郎 さん

早稲田大学  
商学部 4年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

高校2年生の冬 3年0ヵ月

1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	
2:00		14:00	大学
3:00		15:00	
4:00	睡眠	16:00	
5:00		17:00	移動
6:00		18:00	
7:00		19:00	TAC
8:00		20:00	
9:00	準備	21:00	ジム
10:00	通学	22:00	帰宅・ご飯
11:00		23:00	自由
12:00		24:00	睡眠

1日の平均学習時間

入門・基礎期 約3時間 上級期 約7時間

TACのココが良かった！

自習室

私はほぼ毎日自習室に通っていたが、同じように友人たちも自習室に来ていたので孤独を感じずに受験勉強をすることが出来た。また、授業で使うレジュメを校舎スタッフの方々がすぐに準備してくださったりと、勉強環境が整っていた。

計算科目は、問題を見て反射的に手が動くくらい多くの問題に触れることが必要です

公認会計士を目指したきっかけ



私は高校2年生の冬に公認会計士を目指そうと思いました。当時私は数学が得意であったが理工系にあまり興味がありませんでした。そのため進路に迷っていましたが、予備校講師が商学部へ行って公認会計士になるという選択肢を教えてくださいました。そこから会計士を調べていくうちに、財務のプロフェッショナルになりたいと思いました。

TACを選んだ理由



私がTACを選んだ理由は、ほかの予備校に比べて、ライブ講義が充実していると思ったからです。私は高校大学受験を通じて、一人で学習するよりも仲間と勉強したほうがより効率が上がると感じていました。そのため、ライブ講義が多く行われているTACならば仲間と勉強できると思い選びました。また、私よりも早くからTACで勉強していた友人がいたのも選んだ要因です。

具体的な学習方法



私は大学一年生から会計士の勉強を始めたため、大学の勉強と両立しなければいけませんでした。しかし、会計士試験の勉強以外はあまり学びたくありませんでした。そのため、大学ではできるだけ会計士試験に関連する講義を受けることで、TACで学んだ内容の復習のつもりで大学の講義を受けていました。また、私はアルバイトを週に3・4回入りながら勉強をしていたため、学習時間がうまく取れないこともありました。そのため、電車での通学時間は理論のテキストで精読をするといった、机以外でもできる勉強をあらゆるすき間時間を活用しながら勉強時間を確保していました。長期的な旅行については、講義のスケジュールや試験の日程を加味してタイミングを見計らって行くようにしていました。

私は一日の学習予定を立てる際は、まず今日一番力を入れたい科目を午前中の3時間に組み込みました。私は午前中が一番集中することができたので、重要な学習をできる限り午前中に終わらせていました。お昼休憩後はまず自身の得意科目を学習することで、眠い中でも比較的集中力を維持することができました。そして、夕方ごろに一度気分転換に20分ほど散歩をしたり、仮眠を取っていました。

最後に夜は比較的暗記物を学習していました。計算科目の学習方法は、とにかく問題を解くことだと思います。計算科目の本試験では時間が少ない中で答えを出さなくてはいけないため、問題を見て反射的に手が動くようにすることが大切だと思います。そのためには多くの問題に触れることが必要です。

公認会計士を目指す方へのメッセージ



私は去年の論文式試験で0.4点足らず、足切りを経験しました。当時はとても悔しい思いをし、8月に向けてリスタートするのがとても辛く、会計士を目指したことを後悔していました。しかし、座右の銘である「選択した道が正しいかどうかは、今後の自分の行動次第」という言葉を思い出しリスタートをした結果、今は会計士を目指して良かったと思っています。今では足切りしたこともネタにできるので、最後までやり切れば、落ちたことも良かったと思えるときが来ると思います。自分の行動次第です。応援しています！

# SUCCESS VOICE



在学中合格

**水野 圭太** さん  
法政大学  
法学部 4年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学受験の頃 2年6ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	自習
1:00		13:00	食事
2:00		14:00	
3:00	睡眠	15:00	
4:00		16:00	自習
5:00		17:00	
6:00		18:00	
7:00	食事 移動	19:00	講義
8:00		20:00	
9:00		21:00	移動
10:00	自習	22:00	食事
11:00		23:00	自習
12:00		24:00	睡眠

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約4時間 上級期 約10時間

## TACのココが良かった！

### オンライン質問・相談コーナー

オンライン質問相談コーナーは、場所を気にせず気軽に質問できた点が特に良かったです。回答も丁寧で分かりやすく、自分では気づけなかった視点を得られました。安心して相談できる雰囲気があり、疑問をすぐに解消できたため、とても良いサポートでした。

合格後に携わりたい仕事や将来像を具体的に思い描くことで、モチベーションを維持しました

## 公認会計士を目指したきっかけ



高校で進路を考える中で、企業活動を支える会計の重要性を知り、その専門性に強く惹かれました。数字を通じて企業の実態を読み解き、社会の信頼を支える公認会計士の役割に魅力を感じ、大学受験の頃から会計士を志すようになりました。

## TACを選んだ理由



公認会計士試験に向けて、最短距離で合格できる環境を求めています。TACは長年の合格実績に基づく体系的なカリキュラムと、疑問点をすぐに解消できる講師陣の手厚いサポートが整っており、自分の学習スタイルに最も合うと感じました。

また、教材や答練の質が高く、学習ペースを維持しやすい点も魅力で、TACを選びました。

## 具体的な学習方法



受験生活を通じて最も意識していたのは、「無理なく続けられる仕組み」を自分で整えることでした。公認会計士試験は長期戦であり、短期間の追い込みよりも、毎日少しずつでも机に向かう習慣を維持することが合格に直結すると考えていました。そのため、学習計画は細かく作り込みすぎず、達成可能な範囲に留めることで、予定が崩れて落ち込むことを防ぎました。

また、理解が進んでいない論点は早めに講義や教材に立ち返り、疑問を溜め込まないように心掛けました。さらに、週に一度は学習の進捗を振り返り、できたことに目を向けて自信を保つようにしていました。

精神面では、合格後に携わりたい仕事や将来像を具体的に思い描くことで、日々の勉強に意味づけを行い、モチベーションを維持していました。

こうした小さな積み重ねが、長期間の学習を継続する大きな支えになったと感じています。

公認会計士試験の学習では、科目の特性と時期に応じて学習方法を工夫していました。計算科目は「手を動かす量」を重視し、講義後すぐに基本問題を解き、理解が曖昧な箇所は翌日に必ず解き直すことで定着を図りました。

一方、理論科目は「頻出論点の優先順位付け」を意識し、まずは講義レジュメを軸に全体像を掴んだうえで、答練や過去問を通じて論点のつながりを整理していきました。

時期別では、入門・基礎期は「講義の理解を最優先」にし、無理に演習量を増やさず、知識の土台作り集中しました。

上級期は答練を中心にアウトプット比率を高め、間違えた問題を論点ごとに分類して弱点を可視化しました。

また、長期戦を乗り切るために、休みの取り方にも気を配りました。完全に勉強から離れる日を週に一度つくり、散歩や運動などで頭をリセットすることで、翌日以降の集中力を維持できました。常に「完璧を求めすぎない」「続けられるペースを守る」ことを意識したことが、学習継続と合格につながったと感じています。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



公認会計士試験の合格を目指して学習に取り組んでいらっしゃる皆さまに、心より応援の気持ちをお伝えいたします。

試験までの道のりは長く、思うように進まない時期もあるかと存じますが、日々の学習の積み重ねが必ず力となります。焦らず、一つひとつ理解を深めながら継続していくことが大切だと考えております。短い時間でも学習を続けることで、着実に前進していってほしいです。皆さまの努力が実を結ぶことを心より願っております。



在学中合格

川崎 颯太 さん

法政大学  
キャリアデザイン学部 4年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学 1年生 2年6ヵ月

1日のスケジュール

0:00	自由時間	12:00	
1:00		13:00	自習
2:00		14:00	食事
3:00		15:00	
4:00	睡眠	16:00	
5:00		17:00	
6:00		18:00	自習
7:00		19:00	
8:00	準備	20:00	
9:00	移動	21:00	
10:00		22:00	移動
11:00	自習	23:00	食事
12:00		24:00	自由時間

1日の平均学習時間

入門・基礎期 約5時間 上級期 約10時間

TACのココが良かった！

学習法セミナー

一番良かったのは学習法セミナーです。自分に合った効率的な学習方法や計画の立て方を具体的に示してもらえたことで、学習の方向性が明確になり、迷わず取り組めるようになりました。日々の学習にすぐ活かせる内容で、学習の質とモチベーションの向上に大いに役立ちました。

『学習法セミナー』は、学習の質とモチベーションの向上に大いに役立ちました

公認会計士を目指したきっかけ



私が公認会計士を目指す理由は、一つの大きな目標に向かって努力し、成果をあげたいと考えたからです。高校時代陸上部に所属していた私は、厳しい練習に打ち込んだものの、思うような成績を残すことができず、歯がゆい思いをしました。そうした状況の中、大学の簿記講座で公認会計士という職業の魅力と難しさを知り、本気で挑戦する価値のある道であると感じたとともに、難関資格に全力で取り組み、成果をあげたいと考えました。

TACを選んだ理由



TACを選んだ理由は、基礎から応用まで体系的に学べる充実したカリキュラムと、問題演習・答案練習の量や質が十分に整っていた点です。さらに、講師による丁寧で分かりやすい解説や、質問・相談サポートが充実しているため、疑問点をその場で解消しながら効率的に学習できます。加えて、デジタル教材や進捗管理ツールも活用でき、隙間時間も含めた学習計画を立てやすく、合格に向けた安心感と学習効率の両方が得られる環境だと感じたためです。

具体的な学習方法



受験生活を振り返ると、合格に向けて学習を継続し、モチベーションを維持するためには、自分を取り巻く環境をうまく活用することが重要でした。私は自習室で仲間と共に学習することで、自然と学習習慣を作ることができました。周りの人が毎日自習室に赴き、集中して勉強している姿を見ると、「自分もやろう」という気持ちになり、だらけずに学習を続けられました。

また、勉強仲間と進捗や課題を共有し、互いに刺激し合うことで、モチベーションを高めることもできました。さらに、チューターや講師に疑問点や学習方法について相談する機会を積極的に活用しました。効率的な学習法や解き方のアドバイスをもらうことで、自分の学習の方向性が明確になり、自信を持って取り組むことができました。自習室の環境、仲間の存在、講師やチューターのサポートを組み合わせることで、長期間にわたる受験生活でも集中力を保ち、効率的に学習を継続できたと感じています。

私の受験生活では、効率的な勉強方法と適度な気分転換の両立が、学習の継続とモチベーション維持に不可欠でした。勉強方法としては、まず自習室や勉強仲間の存在を活用しました。周囲の人が集中して学習している環境に置くことで、自分も自然と集中力を高められ、学習習慣を維持しやすくなりました。

さらに、チューターや講師への相談も積極的に行い、疑問点や解き方、効率的な学習計画についてアドバイスをもらうことで、自分の学習方向性が明確になり、迷わずに取り組むことができました。効率よく学ぶために、問題演習では「どの順番で解くか」「ミスを防ぐための手順」を意識し、ただ解答するだけでなく考え方を身につけるようにしました。

一方で、長時間の学習では集中力が途切れやすいため、適度な気分転換も欠かせませんでした。私は勉強仲間と話したり、昼ご飯と一緒に食べに行くことで気分をリフレッシュしていました。雑談や食事を楽しむ時間を持つことで、頭を切り替えられ、疲労やストレスを溜めずに、次の学習に向かう集中力を保つことができました。

公認会計士を目指す方へのメッセージ



公認会計士試験は長丁場で、範囲が膨大であるため、試験を受けるまでに大半の人が途中で辞めてしまうと言われています。だからこそ、途中で心が折れそうになっても、心折れずに学習を続けることが何より重要です。自習室や勉強仲間の存在を活用し、周囲の刺激を受けながら学習を進めたり、講師やチューターに疑問点や学習法を相談することで、迷わず効率的に学習できます。少しずつでも前進することが合格への近道です。焦らず、計画的に、自分のペースで続けることを大切にしてください。

# SUCCESS VOICE

在学中合格



在学中合格

**後藤 剛己** さん  
法政大学  
経営学部 4年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学1年の12月 3年8ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00	睡眠	13:00	自習
2:00		14:00	
3:00		15:00	
4:00		16:00	
5:00	朝食準備	17:00	移動
6:00		18:00	
7:00	通学	19:00	夕食
8:00		20:00	ジム
9:00	自習	21:00	入浴
10:00		22:00	
11:00	昼食	23:00	睡眠
12:00		24:00	

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約6時間 上級期 約10時間

## TACのココが良かった！

### テキストチェックゼミ

管理のテキストチェックゼミにパネリストとして参加したが、管理の勉強はテキストチェックゼミの時間だけで完結し効果的・効率的に学習を進めることが出来た。また、模試の上位に常にランクインするようなレベルの高い受験生が多く占めており意識の高い受験生と繋がったり情報を得たりすることができた点も良かった。

意識の高い受験生と仲良くし、誰よりも合格したいと願う気持ちの強さが合格のポイント！

## 公認会計士を目指したきっかけ



大学入学当初、コロナで授業やサークルが活発に活動していなかったため大学生生活を充実させることが出来ないという思いや将来への漠然とした不安があった中、簿記会計に出会い、そこで公認会計士という資格を知り幅広い業務を行うことが出来る点に魅力を感じ公認会計士を目指そうと思いました。

公認会計士講座に申し込んだのは大学1年(2021年)の12月頃でしたが、本格的に講義を受け始めたのは2022年の2月頃でした。

## TACを選んだ理由



大学にTACと提携している公認会計士講座のカリキュラムがあり、そのカリキュラムで簿記3級を学び始めた頃からずっとTACの講師が担当しておりその講師の授業がとても良かったためTACを選びました。

また、大学のカリキュラムで申し込むと、大学内で公認会計士受験生専用の固定席やロッカーが与えられたり、合格すること合格祝いなどを受け取れたりすることができたためTACを選びました。

## 具体的な学習方法



私は、勉強をしなければいけない状況で友達と遊んでも罪悪感があり心から楽しめない性格で、毎日勉強する方が向いていると思ったため、勉強をしない日は設けず毎日勉強し、勉強以外でメンタルを左右する要因が減り、勉強に没頭する時間が増え良いサイクルを生み出せました。

また、毎日勉強する体力や気力をつける為、勉強後に週4,5日1回1~1.5時間ほどジムで筋トレをしました。運動を習慣づけることで、本試験を乗り切る体力がついたり、脳だけでなく身体的にも疲れる為寝つきが良くなったりし、日々の勉強の質向上にも繋がりました。受験生同士の交流では「友達」ではなく「仲間」を意識し、問題を出し合ったり情報共有したりするような意識の高い受験生と仲良くしました。そのような仲間がいたおかげで、一緒に試験に受かった時は自分が喜ぶだけでなく仲間の合格も祝えてとても良かったです。

直前期を除き、頭がスッキリしている午前中は計算科目、午後は理論科目をやることを意識していました。短答期は試験1か月前~10日前まで答練や過去問などでアウトプットの時間を多くし、間違えた箇所をテキストに反映し直前にもう一度解きなおしたい問題をピックアップして準備しました。短答本試験直前はテキスト中心に勉強し、じっくり読む時期とスピード重視で確認する時期を作り、知識の抜け漏れや曖昧な記憶を無くすことを意識しました。論文期は得意科目を伸ばすより苦手科目を克服することを意識し、苦手科目でも合格に必要な素点や求められる解答のクオリティを分析し、最低限必要なラインは割らないよう勉強しました。

また、週1日の休みをとると再び走り出すのに大きなエネルギーが必要だと感じ、常に勉強し続けている方が楽だったため休みは特にとりませんでしたが、勉強終わりの筋トレが気分転換になっていました。

心がけていたのは、1日12時間勉強しても点数が上がらない勉強では、1日中寝たり遊んだりしている人と同じ評価となり、勉強していないのと同じになるため、自分の勉強が点数向上に繋がるか常に自問自答していました。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



合格のポイントは気持ちの強さです。この試験に参入する人は受験経験豊富な人や勉強が得意な人が多く、頭の良さの差はあるかもしれませんが、会計士になりたいという強い気持ちがあればその差を埋め、追いつくどころか追い越すことも可能です。この試験に唯一絶対の正しい勉強法はなく、過去の合格者も様々な方法で受かってきたと思いますが、合格したいという強い気持ちは全員が持っていたと思います。最強の勉強法を知っていても、受かりたい気持ちがなければ効果は半減します。一方で、絶対に受かりたいという強い気持ちがあれば、少し遠回りな勉強でも結果は必ずついてきます。応援しています。

# SUCCESS VOICE



在学中合格

醍醐 蓮 さん

法政大学  
経営学部 4年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学1年生 3年10ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	昼休憩 散歩
1:00		13:00	
2:00		14:00	
3:00	睡眠	15:00	TAC 自習
4:00		16:00	
5:00		17:00	
6:00		18:00	
7:00		19:00	食事
8:00	起床 移動	20:00	TAC 自習
9:00		21:00	
10:00	TAC 自習	22:00	寝る準備
11:00		23:00	自由時間
12:00		24:00	就寝

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約4時間 上級期 約8時間

## TACのココが良かった！

### テキストチェックゼミ

主にテキストの内容を網羅的に覚えているかの確認として、時にテキストの内容を言語化できるか、また、応用できるかを確かめるために用いていました。また、本番さながらの緊張感を味わえる点もよかったです。パネリストは参加者の前で発表することになるため、失敗できないというプレッシャーを強く受けることとなります。

## 初見の問題への対応法は、テキスト内容を自分の言葉で説明できるような勉強を心掛けること

## 公認会計士を目指したきっかけ



私が会計士を目指そうとしたのは、大学1年生の頃です。私の大学では、公認会計士に力を入れていて頻繁にセミナーが行われていました。

そのセミナーでは、TACの講師の方が公認会計士の将来性について熱く語っておられました。当時、将来のやりたいことが明確でない私にとって非常に魅力的でした。

## TACを選んだ理由



私の大学よりTACに入ると、公認会計士講座を安く受けられ、尚且つOBの講師の方より手厚いフォローを受けられるからです。

私の大学では前述したように、公認会計士に力を入れており、TACとも提携している関係で特別な講座が設けられています。通常よりも安く受けられるだけでなく、講師との距離もかなり近いことから、疑問点があればいつでも相談に乗っていただける環境にあったことが魅力的でした。

## 具体的な学習方法



私が合格学習継続のために気を付けていたことは、不合格となる要因を自分の周りから排除し、試験に合格しなければ何も残らないことを自覚したうえで徹底的に自分を追い込むことです。脳筋的な考え方はありますが、非常に有効な方法だと思っています。

この試験において一番の鬼門になることは、ミニテストや答練で思うように点数が取れず、心が折れてしまうことです。この試験は範囲が膨大なことから、メンタルがやられて勉強が停滞してしまうと、どんどん学習した内容を忘れてしまいます。ですので、自分から勉強をしなければいけない、逃げられない環境をつくることで、嫌でも学習を継続してこなすようになり、かつ、効率よく勉強できると思っています。

勉強方法については、長い受験生活の中で、計算科目も理論科目も、テキストの内容を自分の言葉で説明できるように勉強することを心掛けました。

当然ながら、本試験ではTACが出している問題とは異なる問題が出題されることがほとんどです。初見の問題に対応するためには、計算科目であれば、機械的に仕訳や下書きを書くのではなく、文章で実行すべきことを理解して仕訳に落とし込む、という感覚を身に付けることが重要です。

また、理論科目についても、テキストの内容がそのまま訊かれることは少なく、応用できる能力を身に付けることが重要であるため、テキストを俯瞰して理解することが重要になると思います。

気分転換の方法は、散歩や軽いランニングをすることです。座ってじっとして勉強するため、体を動かすのは気持ちがいいものです。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



頭の良さや要領の良さ、人によってこれらの能力は大きく異なると思います。私自身、頭も要領も全くだめではないため、受験している最中に本当に悩まされましたし、私と同じように悩まれている方は少なからずいると思います。

しかしながらこの試験においては1つ言えることがあって、それは、勉強をやり続ければ誰しもが必ず合格できるということです。

受験生の皆様、今までも、そしてこれからも受験勉強をしていくと壁にぶつかったり、辛い思いをすることが多々あると思います。その逆境を跳ねのけて、受験生全員が合格を手にして下さい！応援しています！

在学中合格

# SUCCESS VOICE



在学中合格

**村瀬 莉子** さん  
名古屋大学  
経済学部 4年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学1年生 2年8ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	仮眠
1:00		13:00	
2:00		14:00	TAC 自習
3:00	睡眠	15:00	
4:00		16:00	
5:00		17:00	
6:00		18:00	食事
7:00	起床 食事 通学	19:00	TAC 自習
8:00		20:00	
9:00		21:00	帰宅
10:00	TAC 自習	22:00	自由
11:00		23:00	
12:00	食事	24:00	睡眠

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約3時間 上級期 約5時間

## TACのココが良かった！

### 質問・相談コーナー（校舎）

学習内容に精通した講師の方が、質問に真摯に答えて疑問点を解消してくれます。疑問をすぐに解決できるので、一人で考え込んで時間を浪費することなく効率的に勉強を進めることができましたと思います。また、学習内容の質問だけではなく、成績のフィードバックや学習の進め方についてもアドバイスをいただくことができる点がとても良かったです。

日々の勉強での成長を実感しながら、モチベーションを保ち、自分らしく学習を続けてください

## 公認会計士を目指したきっかけ



私は、小中学時代に海外に在住していた頃、グローバルに活躍されている監査法人の方と出会ったことをきっかけに、会計士という職業に興味を持ちました。本格的に資格の取得をめざすことをきめたのは大学1年次で、自分の専門性を通じて人とかわかり、社会に貢献していくことができること、また女性としてのライフプランについて幅広い選択肢を持てるのが魅力的だと感じました。

## TACを選んだ理由



TAC名古屋校は立地がよく校舎はとてもきれいで、勉強に集中できる心地よい環境が整っています。様々な資格を目指す人が集まっているので、自習時間にもモチベーション高く取り組むことができます。

また、入校を検討していた際には講師の方が将来のキャリアプランについて親身に相談に乗ってくれ、このような手厚いサポートのある環境であれば勉強生活を乗り越えていけるのではないかと感じたため、入校を決めました。

## 具体的な学習方法



私は、日々の生活の平準化を常に心がけていました。TACの講師の方が、仮に設けた時間のすべてを勉強に使うことができないとしても、勉強以外の予定はなるべくセーブして日々の平準化を図ることで、勉強の質が上がるとおっしゃっていたためです。そのため、勉強が本格化してからはサークルとアルバイト活動はやめ、対面出席必須の大学の授業がある日以外はTACで勉強をするようにしていました。

3年次は大学の授業や試験との両立に苦戦しましたが、電車移動などのスキマ時間を有効活用し、できるだけ机に向かう時間はTACの勉強にさけるようにしていました。集中力が途切れた日には、家族を誘って温泉に行くなどの時間を設けてリフレッシュしていました。

計算科目は、反復と必ず電卓をたたくことを心がけていました。私は計算科目が苦手なため、一度理解しても後日解いたときに解法を覚えていなかったり、電卓の手がスムーズに動かさず時間がかかってしまうことが多かったため、計算科目にかける時間は惜むことなく取り組んでいました。問題を読んだ時点で、使うべき数字と解法の流れがすぐに思い浮かぶレベルになることを目安に、各分野を反復していました。

理論科目については、インプットとアウトプットをバランスよく行うことを意識していました。インプットでは隅々まで丁寧に、理解できているか確認しながら読み進めること、またアウトプットでは問題演習はもちろん、友達や講師の先生と話ししてみるなどして理解不足を洗い出す作業もしていました。

休養については、なるべく事前に休養日とその内容を決めておくことを意識していました。おばあちゃんと温泉に行ったりリフレッシュすることが多かったのですが、思いつきや気分の休憩ではなく、事前に決めておくことでモチベーションにもつながるので、勉強効率が上がったと感じています。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



会計士を目指すことは、とても大きくキラキラした目標である反面、実際の勉強生活は勉強と自分にひたすら向き合う過酷な日々だと思います。しかし、今日の自分、明日の自分の勉強の積み重ねが合格につながっていくんだということを信じて、合格までの過程も楽しみながら、最後まで頑張ってほしいと思います。

毎日同じような勉強と向き合っていると、昨日できなかったものが今日ではできるといように自分の成長を実感できる瞬間が何度もあると思います。そういった日々のちょっとしたうれしいことや楽しいことをモチベーションにつなげて、勉強に飲み込まれることなく自分らしい勉強生活を送ってほしいです！



在学中合格

南海 健人 さん

名古屋大学  
経済学部 4年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学受験後 3年5ヵ月

1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	
2:00		14:00	自習 答練 講義
3:00		15:00	
4:00	睡眠	16:00	
5:00		17:00	移動
6:00		18:00	食事 風呂
7:00		19:00	
8:00	起床・食事	20:00	
9:00	移動	21:00	自習
10:00	自習	22:00	
11:00	食事	23:00	自由時間
12:00		24:00	睡眠

1日の平均学習時間

入門・基礎期 約4時間 上級期 約6時間

TACのココが良かった！

自習室

名古屋校は新しい建物のため自習室は清潔感があり、複数の空き教室から気分に合わせて学習場所を選べる点が良かったです。また、同じ志を持つ仲間と同じ空間で勉強することで刺激を受け、自然と集中力も高まり学習習慣を維持しやすかったです。

確認テストや答練の順位に名前を載せることを一つの目標として心がけていました

公認会計士を目指したきっかけ



私が公認会計士を目指した理由は、自分の知識を強みにして生きる力を身につけたいと考えたからです。

大学受験後に資格試験について調べる中で、公認会計士はその専門性を活かしてさまざまな業界や職種で活躍できることを知り、とても魅力的に感じました。大学生のうちに公認会計士の資格取得を通じて成長し、将来は幅広いキャリアを描ける環境に身を置きたいという思いから、公認会計士を志しました。

TACを選んだ理由



私がTACを選んだ理由は、公認会計士講座の説明を聞きに行った際に担当してくださった名古屋校の乙部講師がとても親身に相談に乗ってください、この先生のいる環境で学習を始めたいと強く感じたからです。

また、校舎全体の雰囲気明るく受付スタッフの方の対応も丁寧で、ここなら安心して学習に集中できると確信した点もTACを選んだ理由です。

具体的な学習方法



私は毎日の学習に小さな目標を設定し、それを達成することでモチベーションを保つようにしていました。特に、確認テストや答練の順位が校舎に掲示されるため、名前を載せることを一つの目標として毎回の答練にしっかり準備して臨むよう心がけていました。

また、直前期であっても一日中ずっと勉強することが必ずしも効率的ではないと感じていたため、あえて自由時間を作るようにしていました。たとえば、毎日の勉強時間にノルマを設定しそれを達成できたら寝る前にスマホを自由に触れるというルールを決め、その時間を楽しみに日中の学習へ集中するというメリハリをつけていました。

さらに、精神的なリフレッシュのために、バイトをしたり大学サークルの友人と定期的に食事や遊んだりすることで気分転換をするようにしていました。

最重要科目である会計学は、とにかく苦手論点を残さないことを徹底しました。計算についてはトレーニングや答練を繰り返し解き、理解が不十分な箇所は必ずテキストに戻って確認することで基礎を固めました。理論は計算との関連を意識しながら学習することで、丸暗記に頼らず理解を伴った記憶ができるように工夫していました。企業法は、問題集だけに頼った結果本試験で点数が伸びなかった反省から、常にテキストベースで条文・趣旨・論点の理解を深めることを重視しました。監査論は、重要なキーワードや論証の暗記に加えて監基報を適切に検索する力や、問題文から問われている論点を洗い出す力など、答案作成に必要なさまざまなスキルを満遍なく身につけるよう意識しました。租税法は、まず計算をひたすら固めることを優先しました。計算の理解が深まると自然と理論でも条文が引けるようになり、答案構成をスムーズにすることができました。そのためにも答練を何度も繰り返し解き、反復することで得意科目にしていきました。経営学は最近の出題傾向を踏まえ、単に計算ができるようになるだけではなく、なぜその計算を行うのかという背景の理解を意識して取り組みました。理解を伴った学習に比重を置くことで、近年増加している正誤判定問題にも対応できるようになりました。

公認会計士を目指す方へのメッセージ



公認会計士試験は学習範囲が非常に広いので、学習を始めると毎日授業や答練に追われて不安や焦りを感じる時期が必ず来ると思います。ですが、TACのカリキュラムと講師陣を信じて学習を積み重ねれば、着実に合格へ近づくことができます。特に学生の方にとっては、周囲が遊んでいる中でも学習を継続する強い意志が求められると思います。だからこそ、辛いときに支え合える仲間をTACで見つけ、講師や学習サポートも積極的に利用することで、長期間の学習を継続することが可能になるはずです。公認会計士になると決めたのであれば、その意志を強く持って最後まで諦めずに頑張ってください！

# SUCCESS VOICE



在学中合格

**荒川 陽紀** さん  
 南山大学  
 経営学部 4年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学1年生 2年10ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00	自由	12:00	
1:00		13:00	講義
2:00		14:00	
3:00		15:00	移動
4:00	睡眠	16:00	
5:00		17:00	
6:00		18:00	TAC 自習
7:00		19:00	
8:00	準備	20:00	
9:00	通学	21:00	
10:00		22:00	移動
11:00	講義	23:00	夜ご飯等
12:00		24:00	自由

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約6時間 上級期 約8時間

## TACのココが良かった！

### 自習室

私は自宅で長時間勉強することができなかったので、朝起きたらTACに行くというリズムを作れたことが合格するにあたって大きかったと思います。名古屋校は教室がたくさんあり、その日の気分によって教室を変えることができたので、飽きずに毎日通うことができました。

計算科目を早期に完成させることが、会計士試験対策において重要であると考えます

## 公認会計士を目指したきっかけ



私が会計士を目指そうと思ったのは、大学1年生のときに大学で開催された会計士による職業説明会に参加したことがきっかけです。

そこで、会計士は監査を通じて多くの企業や組織と関わり、さまざまな業界で経験を積むことができる職業であるを知り、そのような経験のできる会計士になってみたいと思うようになりました。

## TACを選んだ理由



私がTACを選んだ理由は、立地の良さと自習室の充実度です。TACは大学の帰りに立ち寄れる場所にあり、毎日無理なく通うことができました。

また、自習室の種類が多く、その日の気分や学習内容に応じて部屋を選べる点も魅力でした。特に、理論科目を学習する際には理論専用教室を利用することで、集中力を高めることができました。

さらに、講師やチューターの方に気軽に受講相談できる環境が整っている点も、TACを選んだ大きな理由です。

## 具体的な学習方法



私が受験生活においてモチベーションを維持するために日々意識していたことは、どのような状況でも毎日欠かさずTACに通うことです。TACに行くことで、日々同じ目標に向かって努力する仲間の姿や学習の進捗を間近で感じることができ、自分も負けていられないという前向きな刺激を受けていました。この環境に身を置くことが、勉強を継続する大きな原動力となっていました。

また、毎日通うことを習慣化することで、TACに行くこと自体が生活の一部となり、学習リズムを崩すことなく勉強を続けることができました。

学生生活と受験勉強の両立は決して容易ではありませんでしたが、大学の友人からの励ましや家族の温かいサポートに支えられたからこそ、最後までやり抜き、合格を勝ち取ることができたと感じています。

計算科目については、入門期・基礎期における計算量が非常に重要だと考えています。なぜなら、この時期の計算量によって、直前期に行われる答練での解答スピードや正答率に大きな差が生じるからです。直前期においても計算科目の学習は継続しますが、その時期には理論科目の対策にも多くの時間を割く必要があります。そのため、直前期までに計算科目が十分に仕上がっていないと、計算科目・理論科目のいずれも中途半端な状態で本番を迎えてしまう可能性があります。以上の理由から、計算科目を早期に完成させることが、会計士試験対策において重要であると考えています。

一方、理論科目については、暗記に偏るのではなく、理解を重視した学習を行っていました。理解を伴って学習することで、初見の問題に対しても既存の知識を応用し、柔軟に対応できると考えたためです。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



これから会計士を目指す方、また現在学習中の方にお伝えしたいのは、何よりもモチベーションを維持し続けることの大切さです。

会計士試験は長期戦であり、思うように結果が出ず、不安や焦りを感じる時期も必ずあります。そのようなときこそ、講師の方々の言葉や、日々一緒に勉強している仲間の存在が大きな支えになります。

自分一人で抱え込まず、周囲の力を素直に借りることが、学習を継続する上で非常に重要だと感じました。私自身も、講師の的確な指導や仲間の努力する姿に何度も励まされ、最後まで走り切ることができました。

ぜひ人とのつながりを大切にしながら、目標に向かって挑戦し続けてください。



在学中合格

立花 貴大 さん

同志社大学  
商学部 4年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学1年生

3年0ヵ月

1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	食事
2:00		14:00	
3:00		15:00	
4:00	睡眠	16:00	
5:00		17:00	TAC
6:00		18:00	
7:00		19:00	
8:00	準備移動	20:00	
9:00		21:00	
10:00	TAC	22:00	移動
11:00		23:00	食事
12:00		24:00	睡眠

1日の平均学習時間

入門・基礎期 約6時間 上級期 約9時間

TACのココが良かった！

受講生交流会

受講生交流会で友人ができ、学習の悩みや進捗を共有できたことで不安が解消されました。勉強法や答練の復習方法を相談でき、迷ったときも軌道修正しやすかったです。周囲の頑張りが刺激になり、モチベーションを維持して最後まで継続できました。

受講生交流会で友人ができ、学習の悩みや進捗を共有できたことで不安が解消されました

公認会計士を目指したきっかけ



大学1年で簿記を学び、取引が仕訳で財務諸表につながる仕組みに面白さを感じました。同時に、会計は企業の判断や社会の信頼を支える基盤だと実感しました。

そこで、数字の信頼性を守り、企業の意味決定を支えられる公認会計士になりたいと思い、大学1年から目指しました。

TACを選んだ理由



TACを選んだ理由は、対面授業の方が理解が深まると考えたためです。講師の説明をその場で聞き、板書や進め方を含めて理解できる点に魅力を感じました。疑問が出たときもすぐ質問して解消でき、学習の迷いを減らせたと思います。

また、同じ目標を持つ受講生の雰囲気刺激になり、継続しやすい環境だと感じたことも決め手です。

具体的な学習方法



答練後は必ず友人と集まり、答案を見せ合いながら設問の読み違い、計算の置き方、理論の構成など失点の原因を一つずつ確認しました。採点結果と模範解答を比べ、どの論点で点を落としたのかを「知識不足」「理解不足」「時間不足」「ケアレス」に分類して共有し、次回までの改善点をチェックリスト化しました。

自分だけだと復習範囲が広がって迷いがちでしたが、友人から『ここは頻出だから優先』『ここは捨てても影響が小さい』と優先順位を示してもらえることで、限られた時間を効率よく使えました。

さらに、解法の型や書き方のテンプレを教え合い、同じミスを繰り返さないように解き直しも一緒に行いました。

直前期は不安も大きくなりましたが、悩みを話して共感してもらえるだけで気持ちも軽くなり、次の答練に向けて学習計画を立て直せました。周囲の頑張りが刺激になり、「次はここを改善する」と前向きに切り替えられたことが、最後まで継続できた一番の支えです。また、週末に短時間でも進捗を報告し合い、サポートに優しい環境を作れた点も大きかったです。

学習方法は、時期ごとに目的を分けて取り組みました。入門期は基礎を最優先し、テキストの例題や基本問題を確実に解けるように、解法手順を固定して理解を深めました。曖昧なまま先に進まず、間違えた論点は講義ノートと問題集で原因を確認し、同じ形式を繰り返して定着させました。

上級期以降は、本試験で時間内に解き切ることを意識し、スピードと再現性を重視しました。答練の復習では「どこで時間を使ったか」を振り返り、計算手順の省略や見直しポイントを決めて改善しました。

学習の時間帯も固定し、午前中は集中力が高いので計算科目(財務・管理)を中心に演習量を確保し、午後は理論科目(監査・企業法等)に切り替えて暗記だけでなく答案の書き方まで練習しました。

疲れや眠気が出たときは無理に続けず、15分だけ仮眠を取って集中力を回復させ、メリハリをつけて継続できる状態を保ちました。

公認会計士を目指す方へのメッセージ



範囲が広いので、うまくいかない時期は誰でも来ます。そんなときは「自分だけ…」と思わず、いったん答練や問題集に戻って、できなかった所を一つずつ潰すのが一番効きます。間違いは伸びしろなので、原因を「知識不足・理解不足・ケアレス」に分けて直すだけでも点数は安定します。

計画は大きく立てつつ、毎日は小さな目標(○問解く、復習1周など)でいいと思います。疲れたら短く休んで、また戻れば大丈夫です。周りとは比べすぎず、昨日の自分より少し前に進むことを意識して、最後まで一緒に走り切りましょう。

# SUCCESS VOICE



在学中合格

**柴北 凌輔 さん**  
 関西学院大学  
 人間福祉学部 4年

会計士を目指そうと思った時期 **合格までの期間**  
**大学2年生** **2年8ヵ月**

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	自習
1:00		13:00	食事
2:00	睡眠	14:00	
3:00		15:00	
4:00		16:00	自習
5:00		17:00	
6:00	食事移動	18:00	談話
7:00		19:00	
8:00	自習	20:00	自習
9:00	移動	21:00	
10:00		22:00	移動
11:00	自習	23:00	食事
12:00		24:00	睡眠

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 **約10時間** 上級期 **約10時間**

## TACのココが良かった！

### 質問・相談コーナー(校舎)

講師の方と距離が近く、講義の内容に加えて学習の進め方や、周辺論点などまで丁寧に教えていただけるため、日々湧き出るわからない論点を全て潰すだけでなく、論点の正確な理解につながりやすかったです。質問コーナーで先生と話すたびに確実に賢くなったと思います。

**講師へ質問する姿勢と、暗記に偏らず、理解を重視することが最終的にミスを減らす近道**

## 公認会計士を目指したきっかけ

大学2年生の時に、大学の友達に「日商簿記を一緒にとらへん？」と誘われ、そこで簿記のおもしろさを知りました。簿記取得後、将来は会計の知識を活かした専門的な人材になりたいと考えていたところ、公認会計士は監査だけでなく、アドバイザー業務など将来のキャリア選択の幅が広く、そして会計関連の最高峰であると知り、公認会計士を目指そうと決意しました。

## TACを選んだ理由

私が在学している関西学院大学がTACと提携していることも一つの選んだ理由ではありますが、TACを選んだ大きな理由は、対面講義や答練を通じてTACは勉強仲間がでやすく、モチベーション高く切磋琢磨しあえる環境だと感じたからです。

また校舎にいる先生にわからないところを質問できるなどのサポート体制が充実していると聞いて、学習に最適な環境がそろっていると思い、TACに決めました。

## 具体的な学習方法

学習継続のため、「受験仲間の存在」と「習慣」を大切にしていたと感じています。受験生活は長く苦しいものです。だからこそ学習に対して高いモチベーションを維持するためには、お互いに励ましあう受験仲間の存在は大きかったと思います。例えば毎日受験仲間と顔を合わせ、勉強を含む様々な話をする中で、「みんないるTACに朝から行こう！」「あいつに負けたくないためにもっとやろぞ！」とモチベーションを維持して、学習を継続していたと思います。

そしてその学習が継続すれば「習慣」となります。どれほど眠たい朝でも同じ時間に起床して同じ時間に勉強を開始するなど、その勉強の習慣を崩さず淡々と取り組むことで、できるかぎり勉強が苦しいものだと思わないようにして、習慣化された学習を継続していたと思います。

昔の友達と遊びたいなと思ってもやはり習慣の勉強を崩すわけにはいかず、試験に受かったら遊ぶと決め、学習第一に受験仲間と取り組んでいました。

学習全体を通して心がけていたのは、問題を解いた後にテキストで理解を確認し、各論点や計算過程を説明できる状態にすることです。私が失敗したのは計算科目で、トレーニングやアクセスを何十周も繰り返した結果、見たことある問題は機械的に解けても、初見や応用問題には対応できず、点数が伸び悩みました。解き方を覚えるだけでなく、なぜそのように解くのか、どんな周辺論点に関係するのかを理解することが重要です。例えば財務会計論の連結計算では、単に「この数字を足す」と覚えるのではなく、「なぜ足すのか」を考えることで応用力がつけます。間違えたときも単なる凡ミスではなく、理解不足に気づけるようになります。

また、「なぜこの処理をするのか」「どんな考え方でこのルールがあるのか」を自分で考え、講師に質問する姿勢が大切です。計算も理論も、想像以上に奥が深い論点ばかりです。暗記に偏らず、理解を重視することが最終的にミスを減らす近道だと思います。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ

公認会計士試験は「天才しか受からないのでは？」と思ったり、自分には向いていないと不安に感じる方も多くかもしれません。

しかしこの試験は、天才に勝たなくても正しい勉強を正しい量こなせば合格できると思います。合格体験記にあるように、諦めず努力を続けることこそ合格への道です。多くの合格者は天才ではなく努力で勝ち取った人だと思っています。生存バイアスだと感じるかもしれませんが、それでも正しく学び続ければ必ず結果は出ます。

受験生活は辛いと思いますが、自分を信じて最後まで頑張ってください。今挑戦している皆さんの合格を心から願っています。



**在学中合格**

**沖本 昂士 さん**  
神戸大学  
経営学部 4年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学 1年生 2年8ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	勉強
2:00		14:00	移動
3:00	睡眠	15:00	大学
4:00		16:00	移動
5:00		17:00	勉強
6:00		18:00	
7:00		19:00	勉強
8:00	起床 食事 移動	20:00	
9:00		21:00	移動 食事 風呂
10:00	勉強	22:00	自由
11:00		23:00	睡眠
12:00		24:00	

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約2時間 上級期 約4時間

## TACのココが良かった！

### 受講生交流会

私は論文式試験を二回受けているのですが、一回目の時はどの受講生とも話したことがなく、他の受講生の勉強方法や成績を全く知りませんでした。二回目の試験に向けて勉強を始めた時に受講生交流会に参加して、話せる受講生が増え、成績を競い合える仲間ができたことで、勉強を頑張れたと思います。

**勉強の不安は勉強でしか解消されません。理解重視の学習と合格したい気持ちで頑張り！**

## 公認会計士を目指したきっかけ



大学一年生の時に簿記の授業を履修しており、その授業の中で会計士試験に合格して働いている先輩のお話を聞く機会がありました。そのお話の中で、会計士の収入面や幅広い業務内容を聞き、将来の選択肢が広がる点に魅力を感じて、会計士を目指しました。

## TACを選んだ理由



家族がTACで勉強した経験があり、TACの学習環境やサポート体制についていい話を聞くことが多く、TACに対して良い印象を持っていたことがTACを選んだ理由です。

また、私は自宅や大学で勉強が捗らないタイプであり、校舎への通いやすさを予備校選びの際の軸にしていたのですが、TACの校舎が自宅と大学から通いやすい立地だった点もTACを選んだ理由です。

## 具体的な学習方法



勉強習慣を維持するため、TACの自習室に朝から通うようにしていました。自分の気分に左右されず、特定の場所に行くことで勉強開始のスイッチを入れることを意識していたため、気乗りしない日でも机に向かうことができました。朝から自習室に行くことは、慣れてしまえばそれほど苦ではありませんが、習慣化するまでは気合いを入れて朝の準備をしていたと思います。

また、勉強のモチベーションを維持するため、答練や模試で上位の成績を取ることを目標にして勉強していました。友人と成績を共有し、上位の成績を取めている友人には積極的に勉強方法を聞くこともしていました。受験生仲間が存在があったことで、「自分がさぼっている間にも、あの人は勉強しているはずだ」という意識が生まれ、高いモチベーションで勉強に取り組むことができました。

どの科目においても、テキストを中心に学習することを意識していました。特に計算科目では問題演習に意識が向きがちですが、テキストに立ち返る時間を十分に確保しないと、初見の問題に直面した際に、どこから手を付ければよいのか分からなくなることがありました。そのため、計算科目こそ問題を解いた後に、解法の背景や考え方を確認するため、テキストを丁寧に読み込む時間を取るようにしていました。

また、理論科目の学習では、テキストを漫然と眺めるだけにならないよう、他の章とのつながりや計算科目との関連性、他科目との共通点や相違点を意識して学習していました。理論科目には、理解が不可欠な部分と暗記が中心となる部分があるため、理解が必要な箇所については内容を何度も咀嚼し、自分の言葉で説明できるレベルまで深めることを重視した一方で、暗記が求められる部分については割り切って愚直に暗記するなど、学習内容の性質を意識しながら取り組んでいました。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



会計士試験に合格するポイントは、理解重視の学習と合格したいという気持ちを持つことだと思います。

会計士試験では学習する内容が膨大であり、それらを全て暗記することは不可能に近いです。しかし、内容を理解することにより無駄な暗記を減らすことができ、その分を他の暗記すべきところに使えらと思います。できるだけ暗記を減らして理解を増やすことで、思考力や応用力が付き、初見の問題にも食らいつけるようになると思います。

また、会計士試験を勉強している人は誰もが、自身の成績や試験の難易度に不安を覚えることがあるかと思いますが、しかし勉強の不安は勉強でしか解消されません。不安になっても絶対に合格するという強い意志も持って、勉強してほしいと思います。合格に向けて頑張ってください！

# SUCCESS VOICE



大学院  
在学中  
一発合格

**山本 朱璃** さん  
北海道大学大学院  
経済学院 1年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学2年生 3年5ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00	自由	12:00	昼食
1:00		13:00	
2:00		14:00	
3:00		15:00	TAC
4:00	睡眠	16:00	
5:00		17:00	
6:00		18:00	夕食
7:00		19:00	
8:00	起床 朝食	20:00	TAC
9:00		21:00	
10:00	TAC	22:00	移動
11:00		23:00	入浴
12:00	昼食	24:00	自由

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約5時間 上級期 約10時間

## TACのココが良かった！

### オンライン質問・相談コーナー

札幌校なので、わからない質問があったときには利用していた。一つの教科あたり1~3日以内に質問できてすいているのが良かった。

## 論文対策は、散歩や通学中に覚えているか アウトプットする方法がためになりました

### 公認会計士を目指したきっかけ



大学1年から、視野に入ってから大学2年の時に目指しました。自分の将来に不安に思い、稼がたかったので年収の良さそうな会計士を目指しました。もともと、大学入るまでは職業自体知らなくて、同志社大学の生協とTACが組んで大きく宣伝をしていたので目についてきたのが契機だと思います

### TACを選んだ理由



同志社大学の生協のプランで公認会計士の紹介のような講座があります。そこを執り行ったのがTACでした。そこから多くの人がTACに入ったし、先生がTACだったので流れてTACに入りました。当時はすでに他校の方が主流でしたが、通学しなかったからです。

### 具体的な学習方法



TACでは、毎日TACの営業時間分滞在して勉強することを心がけていました。そうすることで、営業時間が12時間半あるので一日9時間や10時間は勉強できます。(朝起きるのがすごく苦手だったので9時にこれたことよりもこれなかったことの方が多気もしますが)

友達と朝定時に来れなかったらライングループに成績表をさらすというゲームをし始めたらず過ぎて来れました。おすすめです。友達選びは無意識に行ったと思います。会計士受験生ではない友達は多くが切れてしまいました。勉強するためには遊ばないことが大切なので、同じように毎日勉強している中で同じような生活を送っている友達を作ることが肝要だと思います。

家族には、電話を定期的にすることが重要だと思っていました。家族は、私の出身が田舎のこともあり周りに会計士や会計士受験生がおらず私の状況を理解してもらえません。「就活しないの？」などと言われましたが、現実には就活をしている会計士受験生が少ない、といった乖離がありました。だから、定期的に自分の状況を報連相することがサポートにつながると行って行っていました。

勉強時間は、1時間勉強したら10分休憩という感じで10分休憩でコンビニか休憩室に行っていました。人としゃべるのが一番フレッシュできる気がします。短答の勉強法は、私自身2回落ちたので自分の自信がないので割愛します。論文の勉強法はアウトプットを意識していました。平林先生のセミナーで言われていた、散歩や通学中に覚えているかアウトプットする方法がためになりました。主にざいりの重要定義一覧、監査の重要定義(自分でまとめた)、管理の論証を回していました。自転車で走りながらブツブツつぶやいて信号が止まったときに合っているか確認していたので周りから見れば不審者だったと思いますが、通報されなかったので大丈夫です。

### 公認会計士を目指す方へのメッセージ



今、勉強中の方は毎日しんどい思いを抱えていたり一辺倒な日々には飽き飽きしながら過ごしていると思います。私も短答に落ちて人生で最大級の並みに苦しみましたし、今でもあんな苦しみを味わうくらいなら会計士を目指さない方が良かったという思いがあります。

ただ、合格祝賀会はすごく楽しいです。人生でトップクラスに楽しく開放感に満ちあふれています。先生たちも今までの態度と全然違う感じになっており面白いです。合格祝賀会のビンゴの景品が先生のアクスタだったのが一番ツボでした。その楽しさを味わうために勉強を続けてもいいと思います。

教材が適量で全国各地の校舎で対面授業を受けられるTACを選択して間違いなかった



大学院  
在学中  
一発合格

牧 晃大 さん  
早稲田大学大学院  
会計研究科 2年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学 3年生 3年2ヵ月

1日のスケジュール

0:00		12:00	ご飯 昼寝
1:00		13:00	
2:00		14:00	勉強
3:00	睡眠	15:00	
4:00		16:00	授業
5:00		17:00	
6:00		18:00	
7:00	準備	19:00	勉強
8:00	移動時間	20:00	
9:00	勉強(計算)	21:00	
10:00		22:00	
11:00	授業	23:00	移動時間
12:00		24:00	ご飯・お風呂 就寝

1日の平均学習時間

入門・基礎期 約6時間 上級期 約7時間

TACのココが良かった！

質問・相談コーナー(校舎)

校舎での質問コーナーをよく利用していました。分からない箇所を質問するだけでなく、進捗状況を報告したり、雑談を交えたりすることで、大きなゴールに向かって小さな目標を一步步進んでいる実感を得ることができました。

公認会計士を目指したきっかけ



専門性を身につけたいと考えたことが一番の理由です。また、大学受験で全力を出し切れなかったという後悔もあり、今度こそ何かに本気で挑戦したいと思っていました。ただ、会計士を志したのは大学三年生と周囲より遅く、残された時間は多くありませんでした。だからこそ、合格だけにフォーカスできる環境を求め、TACを選び、その選択は間違っていないと心から思っています。

TACを選んだ理由



理由は二つあります。まず、近年は他予備校の合格者数や占有率も上昇していますが、私は過剰なインプット量に押しつぶされ、途中で資格取得を諦めてしまうことを最も恐れていました。そのため、テキストや問題集が適量であることを重視しました。もう一つは、全国各地の校舎で対面授業を受けられる点です。同じ目標を持つ仲間と同じ空間で学び、直接講師と向き合い、学習のリズムを作れる環境が最後まで自分を支えてくれました。

具体的な学習方法



公認会計士試験は、学習内容以上に長期間モチベーションを維持できるかが合否を分ける試験だと感じています。勉強量は膨大で、何度も挫けそうになりました。だからこそ、自分をどうコントロールするかを意識していました。

まず徹底したのは、勉強する場所と時間を固定することです。気分によって左右されやすい性格なので、決まった時間に同じ場所へ向かうことを習慣化しました。そこに行けば自然と勉強モードに入り、少しずつ前進している実感を得られました。

次に大切にしたのは、量よりも「考える勉強」です。常に自分の位置と課題を確認し、近い目標を設定しました。例えば「一週間毎朝計算問題に取り組む」から始め、「ミニテスト満点」「実力テスト上位」「答練でB判定以上」と段階的に目標を上げていきました。

また、伸び悩み時期には講師に相談し、自分の弱点を言語化して課題を整理しました。次にやるべきことが明確になることで前進を実感し、気持ちを切りさず学習を続けることができました。

私は必ず昼寝を取り入れていました。どれだけ気合を入れても集中力には限界があります。昼食後に眠くなるのは自然なことと割り切り、休むことで学習の質を保っていました。

勉強では計算を最重視しました。インプット期は毎日4時間以上、アウトプット期には朝一番に財務計算1時間、管理会計45分を実施。短答直前期も友人とデイズニーに行く日さえ、朝だけは必ず計算に取り組みました。特に管理会計は、理解よりも反射的に解ける状態を作ることが重要だと感じます。理論に時間を割きたくなる時期こそ、少しでも毎日触れ続けることが大切です。

また、長時間勉強を継続するため、起床から就寝までの計画をノートに書き、実際の勉強時間も記録しました。予実の差を分析し、翌日の課題を整理することで、自分の勉強を客観的に見つめ、継続できる仕組みを作っていました。

公認会計士を目指す方へのメッセージ



辛くなった時にこそ思い出してほしい言葉があります。『取るのが大変な資格だからこそ、取ったときに価値がある。だから頑張れ！』この言葉を、三田先生はいつも口にされていました。私もその通りだと思います。

実際に合格してみると、見える景色が大きく変わりました。私は家族との時間、友人との飲み会、恋人との時間など、多くの楽しい時間を犠牲にしてでもこの資格を取ると覚悟を決めていました。その過程で失ったものも少なくありませんが、それでも乗り越えて得た資格だからこそ、今は心から誇りに思っています。TACを信じて歩いてきて本当に良かったと、今は胸を張って言えます。心から応援しています。

# SUCCESS VOICE

在学中合格



大学院  
在学中  
合格

友草 嘉音 さん

兵庫県立大学大学院  
社会科学部会計専門職  
専攻専門職学位課程学部 1年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学1年生

3年9ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	食事
1:00		13:00	移動
2:00	睡眠	14:00	
3:00		15:00	
4:00		16:00	
5:00		17:00	TAC 自習
6:00		18:00	
7:00		19:00	
8:00	起床・食事	20:00	
9:00	通学	21:00	帰宅
10:00		22:00	食事
11:00	大学	23:00	自由
12:00		24:00	睡眠

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約6時間 上級期 約8時間

## TACのココが良かった！

### 【個別】成績・学習方法相談

主にオンラインで相談に乗っていただけました。オンラインだと、場所を問わず相談することができ、先生方と学習方針や不安なことなど相談をしながら、無理なく勉強を継続させることができました。平林先生によく相談に乗っていただき、全科目の学習の方向性や学習状況に合わせたアドバイスのもとに、学習に取り組むことができました。

## 合格のポイントは、周りの人に頼ること。TACの相談制度を上手に活用学習を継続できた

### 公認会計士を目指したきっかけ

大学入学後の簿記の授業が公認会計士を目指そうと思った原点です。簿記の勉強が楽しいと感じると共に、貸借が一致する点が綺麗であると思い、簿記や会計学を勉強していきたいと考えました。簿記や会計学を深く学んでいくと、公認会計士という資格があることを知り、職業の幅広さが魅力に感じました。その後、大学1年生の12月から公認会計士の学習を始めました。

### TACを選んだ理由

TACは、受験生を全力でサポートしている点に魅力を感じたため、選びました。充実した相談環境や対策講義、就職サポートがあったため、短答式試験から論文式試験への学習の移行や試験後の就職対策が充実している点が印象に残りました。対面やオンライン、LINE、セミナーなど状況に応じた相談環境や学習の方向性の確認できる場があったため、安心して勉強を続けることができました。

また、テキストに必要な情報がコンパクトに集約しているため、学習への負担ができるだけ少なく取り組むことができる点も印象に残りました。

### 具体的な学習方法

まずTACの活用方法として、自習と答練、相談でした。本試験と似たような環境の答練は、緊張感の下で問題に取り組むことができたため、メンタルが鍛えられたと思います。学習方針やテキストの疑問点を感じた時は、質問ブースや個別相談予約、LINEのオープンチャットを利用して、状況に応じて使い分けていました。話すことや疑問点を文章化することによって、わからないところが明確になり、前向きな気持ちで学習を継続することができたと思います。

100円ショップなどで購入できる、テキストとA4クリアファイルが入るクリアボックスを科目ごとに用意し、テキストや答練をまとめて保管することで、ロッカーの出し入れをスムーズにしました。さらに、各章の冒頭に付箋を貼り、進捗に応じて位置を上げ、本試験当日にすべてが最上部に揃うよう計画的に学習したことで、会場でも自信を持ってました。

各科目の学習の方向性について、財務会計論(計算)は、アクセスと答練の反復中心でした。財務会計論(理論)は、テキスト中心でした。管理会計論は、アクセスと答練を中心でした。企業法は、問題集とテキストの反復を中心でした。監査論は、問題集とテキストの反復を中心でした。租税法は、アクセスと答練、テキストの反復中心でした。経営学は、問題集とテキストの反復を中心でした。計算科目は、何度も解くこと、理論との結び付けを意識していました。理論科目は、暗記の場合、キーワードからおさえていくことを意識しました。

短答対策として、計算は、アクセスと答練を中心に解き、理論は、WEBトレーニングを主に使っていました。論文対策として、計算は、アクセスと答練を中心に解き、理論は、テキストに暗記箇所を明確にすることによって、なんとなくテキストを見るということ無くしていました。論文対策の計算は、短答対策とは異なるところとしては、分量が多い総合問題を定期的に解くことで、一連の問題の解く流れを意識していました。

### 公認会計士を目指す方へのメッセージ

合格のポイントは、周りの人に頼ることです。TACだと先生方やチューターさんが頼れる人です。対面やオンラインの相談を上手に活用することで、前向きな気持ちで学習を継続させることができました。自己解決は、上手くいかないことが多いので、不安を感じたら、周りの人に頼っていくことを心掛けました。

私の入門期は、自己解決中心で学習方針が曖昧なまま進めていました。これでは、計画が上手く立てられず、勉強のモチベーションが低下していました。TACには、相談できる方々がたくさんいます。自分を信じて、頑張ってください。最後に私を支えてくれたすべての方へ、無事に合格できたのは、みなさまのおかげです。本当にありがとうございました！



大学院  
在学中  
合格

**富田 翔太** さん  
名古屋市立大学大学院  
博士前期課程 1年

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

高校3年生 4年2ヵ月

1日のスケジュール

0:00	自由	12:00	
1:00		13:00	
2:00		14:00	
3:00		15:00	自習
4:00	睡眠	16:00	
5:00		17:00	
6:00		18:00	休憩
7:00	起床 食事	19:00	自習
8:00	移動	20:00	
9:00		21:00	帰宅
10:00	TAC 自習	22:00	夕食
11:00		23:00	
12:00	昼食	24:00	自由

1日の平均学習時間

入門・基礎期 約7時間 上級期 約9時間

TACのココが良かった！

【個別】成績・学習方法相談

本試験前に自分の成績で不安になり校舎で相談に行った際は、自分の状況を講師目線で見えて親身に相談のっていただきました。本試験まで最適な勉強法と一緒に考えていただいたのがとても良かったです。

1~3週の期間を定めてテキストやトレーニングを1周できる日数で割ることでタスクを設定しました

公認会計士を目指したきっかけ



私は父親が税理士であり、兄も公認会計士を目指していたため、高校3年生の頃から公認会計士という職業に就きたいという気持ちが芽生え始めました。元々高校では理系のクラスに所属していましたが、公認会計士になることを決断してからは経済学部に進むための受験勉強をするようになりました。

TACを選んだ理由



身近にTACに通っている方がいたことや、TACの公認会計士講座の実績から他校と迷うことはありませんでした。またTACでは対面での講義が充実していることや、自習室などの環境が整備されていること、そして駅からのアクセスがよかったことなども自信を持ってTACを選ぶことができた理由です。これらが備わっているTACだからこそ、私は勉強を続けることができたと思います。

具体的な学習方法



受験期間が長くなるにつれて、直前期以外に10時間以上勉強することが難しくなり、息抜きの時間を多く必要とするようになりました。そのためモチベーションを維持しつつ勉強量を確保するために実践していたのは、事前に決めたその日のタスクが終了したらすぐにTACから家に帰れるというものでした。

家での時間は自由時間にしていたため、家に帰れるということ自体が毎日のモチベーションとなりました。とはいえ、早く帰るためにタスクを少なく設定しては合格するための勉強量を確保することはできないため、大体1週間、科目や時期によっては2,3週間程度でテキストやトレーニングなどを1周できるように単純に日数で割ることでタスクを決めていました。

スケジュール帳などで毎週タスクを設定することが苦手だった私にはこの方法がとても合っていたのだと思います。

短答式試験合格のために一番効果的だったのは、計算科目のミスが減らしたことでした。具体的には、計算問題を解いて間違えるたびにミスの原因を、電卓の打ち間違い、転記ミス、指示の読み飛ばしなど細かく分類し、対策をポイントチェックの該当するページに書き込みました。ポイントチェックは全ての論点が一冊に小さくまとまっているため、答練やアクセスのたびに持ち込み、開始前にミスを見返すことをルーティーンにしたことで確実にミスを減らすことができました。結果として計算科目の点数が安定し、全体の合計点数も上下することが減りました。

また、対面で行われるアクセスや答練には必ず出席することで、同一時点での他の受講生と自分の実力の差を成績表で確認することができます。特にアクセスは1週間ごとに実施されることが多いため、コンスタントに実力を確認することができ、とても役に立ちました。

他にも受験期間全体を通して、眠くなったらすぐに15分の仮眠を取るということは徹底していました。これによって眠いまま勉強をする非効率な時間を減らし、勉強するときはしっかり集中することができたと思います。15分の仮眠を取るときは、YouTubeなどの15分アラームの動画をよく利用していました。

公認会計士を目指す方へのメッセージ



会計士試験は非常に狭き門であり、自分には無理だと思ってしまうがちだと思います。私も受験勉強を始めてから成績が非常に悪く、周りとの実力の差をひしひしと感じていました。

本当にこのまま続けて受かるのかと何度も思ったことがありましたが、そんな私でも諦めずに続けたことで合格することができました。そのため、決して誰かにとって合格が絶対に不可能な試験ではないと思います。

そして公認会計士試験は受験資格がなく、誰にでも門戸が開かれています。公認会計士に興味を持った方はぜひ挑戦してみてくださいと思います。

『オンライン質問ルーム』は、他人の質問を聞き、  
分かっていない所を発掘でき理解を深められた



一発合格

**宗宮 聡** さん  
東京大学大学院  
薬学系研究科修了

社会人合格

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

27歳の時

1年9ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00	自由	13:00	学習
2:00		14:00	移動
3:00		15:00	
4:00	睡眠	16:00	
5:00		17:00	
6:00		18:00	仕事
7:00		19:00	
8:00	朝食等	20:00	
9:00	移動	21:00	移動
10:00		22:00	夕食 自由
11:00	学習	23:00	学習
12:00		24:00	自由

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約4時間 上級期 約5時間

## TACのココが良かった！

### オンライン質問・相談ルーム

オンライン質問ルームでは他の人の質問を聞くことができるため、他の人の質問に自分なりに答えることでより理解を深めたり、逆にわかっていないところを発掘したりできました。また、ラジオ感覚で聞くことができたため、聞きながら計算を解くことで気分転換になりました。

## 公認会計士を目指したきっかけ



私が簿記の世界に興味を最初に持ったのは、2023年4月頃のことでしたが、資格ランキングで簿記が上位に挙がっていたのを見たという、ささやかな理由でした。当時、将来への漠然とした不安を感じていた私は、それを見て簿記の学習を始めました。

そこから簿記3級、2級、1級と学習を進めるうちに、会計という観点から様々な業界に携わることができる会計士という職業に魅力を感じるようになりました。そこで、TACの会計士講座を申し込みました。

## TACを選んだ理由



私がTACを選んだ理由は2つあります。

1つ目は校舎の風通しがよく、自習しやすい環境が整っていると感じたことです。TACの名古屋校は4～10階で自習することができ、教室数が多く広々とした場所で自習を行うことができました。

2つ目は対面で講義や質問ができる点です。オンラインだとどうしても不自由なところがあるため、対面での講義、質問といったサポートがあることはとても大きな理由でした。また、答練を他の生徒と一緒に受けることができ、実際の緊張感をつかむことができた点も魅力でした。

## 具体的な学習方法



私は勉強したくないときは、とにかくTACの自習室へ行き、無理やり始めることを意識していました。やる気がないときでも一度初めてしまえば後からやる気がわいてくるため、朝から空いているTACの自習室はありがたかったです。また、TACの自習室では朝早くから同じく学習を始めている人がいたため、モチベーションとなりました。そういったことを意識して、全く勉強しない日を作らないようにしていました。自習の際は計算でスイッチを入れて、その後理論に取り組んでいました。

また、普段の答練で上位にいることを意識してモチベーションを上げていました。さらに、通勤時間や食事の時、お風呂など、隙間時間を有効活用することを意識しておりました。特に、テキストにメモをあまりする必要がない科目の講義は基本電車の中で消化し、アウトプットの時間を確保することを重要視していました。

私が心がけていたことは2つあります。

1つ目は、講義を受けた後のアウトプットまでを1セットとして取り組むことです。特に計算科目ではアウトプットに比重を置いて、アウトプットで間違えたところをインプットしなおす、ということ意識していました。

2つ目は、私は直前期に大学生より時間が取れないことがわかっていたため、早い時期から計算を仕上げ、答練で最初から高順位をとることを目標としました。そのために、5月のお試し短答の時点で前年度のアクセスや過去問を解いたり、既習範囲の復習に力を入れたりしていました。それにより、実際に短答答練、論文答練では高順位を維持することができ、直前期の時間が取れないときでも過度に焦りを感じることなく取り組むことができました。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



これから始められる方にとっては、長い長い戦いになると思います。公認会計士試験は範囲が膨大な代わりに、突飛な問題、難易度の極端に高い問題はあまり出ず、基礎的な問題を落とさずにとることが重要な試験です。

そのため、体調管理を大切に、モチベーションの波をできるだけ作らず、長距離走を走るようなイメージで継続されることが合格の上で重要だと私は思います。これから公認会計士を目指す皆さま方が、将来会計士試験に合格されることを心よりお祈りしております。



一発合格

古瀬 要 さん

早稲田大学  
人間科学部卒業

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

社会人2年目 1年10ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00	12:00
1:00	13:00
2:00	14:00
3:00	15:00
4:00	16:00
5:00	17:00
6:00	18:00
7:00	19:00
8:00	20:00
9:00	21:00
10:00	22:00
11:00	23:00
12:00	24:00

睡眠 仕事 起床 講義 通勤 仕事 帰宅 講義 夕食 自由 講義 昼食 睡眠

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約3時間 上級期 約6時間

## TACのココが良かった！

### 学習法セミナー

カリキュラムや勉強の進め方・やり方について特に困ることなく勉強に取り組めたのは、学習法セミナーがあったからだと思う。勉強の序盤だけでなく短答前後などの適切なタイミングで、しっかりと情報を共有いただいたため、わざわざ質問等に時間をつかわなくて済んで良かった。

## 講義をスマホで繰り返し聴き、通勤や休憩のスキマ時間を最大限活用することが社会人学習の鍵

### 公認会計士を目指したきっかけ

前職では、望まない転職を経験し、社内や特定の業界でしか通用しない知識しか得られないことに不安を感じたため、まずは転職を考えました。前職とは全く異なる業種へ行きたいと考えましたが、ただ第二新卒として転職に取り組むよりも、資格を取って転職するのも良いかなど考えました。そこで、自分と同じように社会人経験を数年した後、会計士になった知人の話を聞き、社会人2年目の10月に会計士を目指そうと思いました。

### TACを選んだ理由

会計士を目指すきっかけとなった知人や、その周りの人も皆TACで合格したと聞いたため、TACにしました。最初は働きながら勉強をするつもりだったため、通信で勉強できる予備校が良いなと思いました。自分でも調べてみると、他社も良いと思いましたが、実際に合格した知人の話を優先し、TACを選びました。

### 具体的な学習方法

勉強を始めて3ヶ月間は、働きながら勉強をしていました。この期間は、入門期・基礎期であり、講義を視聴し、テキストを読み、問題集を解くという流れが勉強の内容でしたが、社会人は学習時間の捻出とスキマ時間での学習が重要だと思いました。そこで、講義を進めるのと並行して、一度聞いた講義をスマホにダウンロードし、通勤・帰宅時や昼休みに視聴・リスニングしていました。受験生活全体を通して、学習を継続し、モチベーションを維持するために、カリキュラムの日程や本試験日をしっかりと把握し、いつまでに何をやらなければいけないかを逆算して理解していました。具体的にはエクセルで月間カレンダーと週間カレンダーを作成し、いつ何をやるのかを計画し、実際にやった科目・勉強内容を記録し、計画を修正していくことを繰り返しました。

勉強方法としては、どの科目も共通して講義を何度も視聴しました。この試験に合格するためにはテキストを何度も読み直し、頭に入れる必要があると思いますが、ただテキストを読んでいただけではボーっとしてしまいました。そこで、2倍速で講義を聞きながらテキストを繰り返し読むことで、理解がしやすく、あまり苦に感じませんでした。

計算科目については、しっかりとテキストの理解と問題集に取り組んだ後、アクセスを何度も解き直しました。

理論科目(論文)については、問題集というよりは、問われ方や覚えるべき箇所をテキストに書き込み、テキストを読み込んで思い出すことを繰り返しました。特に論文期には、答練の範囲をしっかりと予習し、答練を解いた後は解説を聞き、しっかりと復習して、テキスト等にメモしていました。

補足ですが、TACのテキストは合格に必要な十分な内容と範囲がしっかりと記載されていると思いますし、どの講師も基本的にはテキストに沿って講義を進めてくれるので、テキストの理解が進みます。また、アクセス(財務・管理・租税)は、解きやすい量で、間違いやすい箇所が多く含まれているため、繰り返し解くことで計算力がつくと思います。

### 公認会計士を目指す方へのメッセージ

合格のポイントは、TACでやれと言われたことをやるだけだと思います。大学受験等にはしっかり取り組んだ人は、学習法セミナーでもおっしゃられているような当たり前の勉強の仕方を淡々とこなしていけば問題ないと思います。

また、講師のどなたかがどこかでおっしゃっていましたが、本試験の問題のレベルが高くても、数百人の上位層を除けば受験生のレベルが思うほど高くないのは本当だと思います。短答・論文の答練や全国模試ではC判定が多く、本試験でも細かいもったいないミスをどの科目でもしてしまいましたが、一発で合格できたので、そこまで気負う必要はないと思います。



一発合格

**西名 裕太** さん  
 京都大学大学院  
 農学研究科学部修了

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

社会人3年目 2年0ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	勉強
1:00	勉強	13:00	勉強
2:00		14:00	
3:00	睡眠	15:00	仕事
4:00		16:00	仕事
5:00	起床	17:00	
6:00	勉強	18:00	移動(勉強)
7:00		19:00	食事・自由
8:00	食事 通勤 (勉強)	20:00	
9:00		21:00	
10:00	仕事	22:00	勉強
11:00		23:00	
12:00		24:00	

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約10時間 上級期 約10時間

## TACのココが良かった！

### オンライン質問・相談コーナー

通信で受講していたため、勉強の進捗具合等悩み事を相談する機会がなかなか取れず不安に感じることもあったが、TACはオンラインの質問・相談コーナーが充実しており通信生であっても安心して受講することができた点が良かったです。また、土曜日に開催されることが多い為、普段仕事をしている社会人でも利用することができた点も良かったです。

**TACは通信生のサポート環境が充実。勉強した情報を書込み集約したテキストで一発合格！**

## 公認会計士を目指したきっかけ



私が会計士を目指した理由は、社会人として3年が経過し自らの将来について考えなおした際に、高い専門性を有し、資格を活かして多様な分野で活躍できる働き方に憧れたからです。そこで、日々の業務で、より多く人と多様に関われる領域は経済社会だと考え、経済社会の発展に貢献したいと考えたため会計士を目指し勉強することを決意しました。

## TACを選んだ理由



私がTACを選んだ理由は、高い合格実績のある予備校で勉強したいと思ったからです。また、社会人として働きながら勉強する予定であったため、必然的に通信で受講することになり、不安な要素が多くありました。

そこで、TACは通信生のサポート環境が充実しており、自宅近くに校舎があったためTACで勉強することを決めました。

## 具体的な学習方法



私が、日々意識していたことは「受験生」としての意識と覚悟を持つことです。試験勉強を開始するにあたり、過去の合格体験記を一読し、短期合格している方の特徴を見つけることから始めました。短期間で合格している方の特徴として、入門期から直前期まで毎日10時間以上の勉強を継続して実行できている点だと感じ、自らの勉強計画に取り入れました。

そのため、仕事の通勤時間、休憩時間、仕事後の時間は、睡眠時間も削って全て公認会計士試験のことしか考えない生活をしてきました。最初は、しんどい思いをしましたが、いつの日かそれが当たり前になり、最後まで突き進むことができました。勉強することが当たり前になった時、本当の意味で公認会計士受験生になれたと感じました。

また、合格までの期限を決めることも大切にしていました。2025年目標で勉強を開始したため、2025年8月の論文試験までは、最大限までできることをやり、利用できるものは全て利用する(TAC、会社の制度等)覚悟をもって勉強してきました。家族もいたため、期限を示すことで家族に自分の目標を応援してもらえたことはとても感謝しています。

勉強については、テキストを中心に進めていました。入門、基礎、上級期は、直前期にテキストを高速回転するための準備期間だという意識をしていました。アクセス、答練で得た新しい知識や、ミスしたところなどは全てテキストの該当ページに書き込むようにして、テキストに戻れば色々な復習が一度にできる状態が理想の形です。

答練は、問題難易度のABよりも、後日公開される受験者の正答率を重視していました。公認会計士試験は、相対評価の試験のため、他の受験生が点数をとれている所を自分も落とさない意識をすることがとても大切だと思います。

私は、勉強期間が空くと不安になる性格だったので、最低でも2日間で全科目を少しでもする(30分でも)ようにしていました。勉強時間は、朝多めにとれるようスケジュールを立てました。朝しっかり勉強できると1日の充実感が高い気がしたので朝の時間を大切にしていました。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



公認会計士試験は、試験当日の点数で合格が決まるため全ての努力が実るとは限らない試験ですが、最後に自分の中で悔いのないほどやりきれたという思いがとても大切だと思いますし、その思いが合格を後押ししてくれると思います。

私は、日々頑張られている全ての受験生を尊敬していますし、どうか頑張っている自分をほめてあげてください。合格体験記が、今頑張っている受験生や、これから始める方への少しでも力となれたら幸いです。頑張ってください。



一発合格

片山 絢斗 さん

早稲田大学  
商学部卒業

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学1年・社会人 3年3ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00	勉強	12:00	勉強
1:00		13:00	
2:00		14:00	
3:00	睡眠	15:00	仕事
4:00		16:00	
5:00		17:00	
6:00		18:00	通勤
7:00	起床 食事 通勤 勉強	19:00	食事自由
8:00		20:00	
9:00		21:00	
10:00	仕事	22:00	勉強
11:00		23:00	
12:00	食事 勉強	24:00	

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約4時間 上級期 約5時間

## TACのココが良かった！

### オンライン質問・相談ルーム

私は働きながらの受験で家族の協力も得ながらの受験であり、学習の中心は基本的に自宅であることが多かったので場所を問わずに質問や相談ができるのが便利でした。また、夜の時間にも対応してくれている講師の方もいて、仕事が終わった平日に質問ができるのもよかったです。

## 学習の習慣化と環境作り、スキマ時間は積極的に活用し学習時間を最大化し社会人合格！

### 公認会計士を目指したきっかけ

大学1年生の頃に一度会計士に興味を持って学習に取り組むもすぐ断念した経験があったのですが、社会人になってから仕事で会計や税務の知識を求められる局面があるなかで、改めて会計の分野の専門家である会計士という職業に興味を持ちました。

### TACを選んだ理由

TAC自体、会計士を受ける前に仕事に必要な資格を取るにあたって会社の補助で講座を受けていたので認知をしてはいました。

本格的に受験を検討した際には複数の資格取得の専門予備校に話を聞きにいったのですが、講師などのサポート体制が一番しっかりしていそうだと感じたこと、校舎の数が多く自宅や実家、出張先などに校舎があるので気軽に校舎に行けて学習がしやすいそうだと感じたことがTACを選んだ理由です。

### 具体的な学習方法

私がモチベーション維持のために気を付けていたことは、学習を習慣化することと学習に集中できる環境を作ることです。日々違うスケジュールで学習していると、勉強を始めようと机に向かうまでの予備動作がストレスになると思ったので、毎日決まった時間に机に向かうことでストレスなく学習を継続できるように考えました。

また、学習時間を最大化できるように、スキマ時間は積極的に活用するようにしました。仕事の移動時間や、朝の通勤から始業までの時間、昼の休憩時間などは30分～1時間程度の時間がとれる時間だったのでその時間は積極的に活用しました。

学習時間の習慣化や確保にあたっては、周囲のサポートを得られたのも大きいと思います。家族のサポートに加えて、会社の同僚や上司などにも会計士試験を受けていることは言っていたので、朝も始業時間ギリギリまで勉強したり、昼はお弁当を自宅から持ってきて会社の飲食スペースで食事をとって1時間ほぼフルで勉強したり、夜は飲み会などにかずにいたので、毎日決まったスケジュールで勉強を継続することができました。

計算科目については理論とセットでの理解を心がけてました。財務会計論は、理論と計算はなるべく同日に同じ範囲をやること、管理会計論については計算を解く際には、関連する範囲の理論の想起とセットで行うこと、租税法は計算と条文とセットで行うこと、経営学は公式の意味するところを正確に理解することなどです。これを行うことで聞き方を変えてきた基本問題や応用問題への対応力が増したと思います。

理論科目は短答直前期にはテキストベースの学習を心がけてました。問題集や答練で聞かれた箇所はテキストに重要度とセットでマーカーで記載して置くことで短答直前期にはテキストに目を通すことで一通りの復習ができるようになっていました。論文期は論証部分をテキストに反映することで、同様にテキストを見ながらある程度の論証の復習ができる用に心がけてました。また、企業法については必ず条文を引くように心がけていたこと、経営学についてはキーワードの暗記を心がけてました。

### 公認会計士を目指す方へのメッセージ

会計士試験に最短で合格する上で大事なことはいかに自分を応援・協力してくれる人をたくさん作るかだと思います。私自身最初は周囲のサポートを得るのを躊躇う時期はあったのですが、結果的に様々な方に協力してもらい合格にたどり着きました。

会計士は難関資格なので、一人の力で合格することは不可能ではないですが非常に困難だと思います。なので、なるべく家族、友人、職場の上司・同僚、講師の方々などよりたくさんの方々を借りて学習に集中できる環境を作ることが合格への近道になると思います。

## 学生時代に猛勉強(短答合格)で上場企業就職も、働きながら学習してリベンジ合格を達成!



**後藤 健太** さん  
名古屋大学  
経済学部卒業

### 公認会計士を目指したきっかけ



大学生の時に、高度なビジネスマンを目指して会計士の勉強をしましたが、合格に至らず一般企業に就職しました。約10年営業マンとして働いて、今後のキャリアを考えた所、自分には外見で分かる高い能力や、専門的な能力が何も無いと感じ、会計士になれば、会社で大きく活躍でき、例えば出世して役員になるのに役立つと思い、会計士試験のリベンジを始めました。

### TACを選んだ理由



社会人は時間の確保が難しく、無駄な時間をなくす必要があり、自習室まで直ぐ行ける予備校を選びました。TACは関東にたくさん校舎があるため、慣れた場所だけで勉強するのではなく、初めての校舎で勉強するとしたこと本番での緊張を緩和できるのではないかともしました。

また、WEBとリアル講義のどちらでも選択できることも魅力で、答練はリアル受講することで、出来るだけ本番に近い環境で受けられると思いました。

### 具体的な学習方法



勉強継続のため、毎日の行動をルーティン化しました。例えば、会社へ始業2時間前に到着し、勉強しました。夜は自宅の遊び道具で気が散ってしまうので、スマート家電を使って、自動で勉強用の照明モードに変えたり、テレビやゲーム機は自動でOFFにするようにしました。スマホは自動モードを使って、自習室や時間帯に応じて勉強用のアプリ以外を使用できないようにしました。本当に勉強したくないときは、中途半端ではなく全力で遊ぶようにしました。十分遊んだら、その後は勉強するしかありません。時間捻出のために、睡眠時間を削るようなことはしませんでした。休日の昼の勉強中も、眠くなったら集中できないので仮眠をとるようにしました。睡眠不足で体調が悪くなったら長期間勉強に支障が出てしまうからです。スキマ時間で勉強はしませんでした。むしろ目を閉じて休憩して、まとまった時間に勉強に集中するようにしました。

財務会計論 計算:講義後、早めにトレーニングを解いて、定期的に解き直し、休日はパワーアップ問題集や過去問集を一気にやりました。直前期は、テキストの例題を読んで、網羅的に記憶の確認をしました。財務会計論 理論:一通り理解できるようにテキストを繰り返し読み、うまく論文を書けるように答練を読み込みました。管理会計論:財務と同様な勉強をしました。直前期は、計算も理論もテキストを読むことを中心に取り組み、理論問題集を毎日少しずつ読みました。監査論:テキストをとにかく読み、論文問題集を5周程しました。短答はテキストメイン、論文本番近くは、論文問題集を1問ずつ法令基準集でチェックしながら解きました。企業法:テキストを理解するように何回も読みました。答練や論文問題集の回答を読んで(解説部分ではなく)、どのような答案の書き方をしているかを自分になじませるように努力しました。短答問題集は間違えた所はチェックを残し、チェックした箇所を3周程回しました。租税法:論文当日に細かい暗記箇所をチェックできるように、そこだけを抜粋したファイルを作りました。理論は、テキストと法令基準集を併用して、条文引きに慣れさせました。経営学:ファイナンスはテキスト・問題集・答練の簡単な問題から2周して、後から難しい問題と直前テキストの問題を1周しました。組織論などはテキストと答練を4周程読みました。

### 公認会計士を目指す方へのメッセージ



私は、学生時代に短答まで合格してリタイアしましたが、途中の簿記資格や猛勉強したことが評価され、プライム上場企業(当時の東証1部)に採用いただきました。不合格でも頑張ったことは活かすことが出来ますし、1度諦めても再チャレンジだってできます。年齢を気にされている方もいるかと思いますが、「今日が人生で一番若い日」です。動き出すなら今、勉強するなら今日からです。現職や転職でも、会計士資格や学んだことは武器になりますので、心配せずに、とにかく突き進んでください。

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学生の時 2年10ヵ月

### 1日のスケジュール

0:00		12:00	食事 昼寝
1:00		13:00	
2:00	睡眠	14:00	
3:00		15:00	仕事
4:00		16:00	
5:00	起床	17:00	通勤
6:00	通勤	18:00	料理 食事 風呂
7:00	勉強	19:00	
8:00		20:00	勉強
9:00		21:00	
10:00	仕事	22:00	遊び
11:00		23:00	睡眠
12:00		24:00	

### 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約3時間 上級期 約4時間

### TACのココが良かった!

#### デジタル教材(PDF教材)

持ち運びが楽で、スマホでもPCでもタブレットでも書き込みや進捗状況を共有できた。書き込みを間違えても修正が容易。目次が付いていて、簡単に見たい項目にアクセスできた。当初は答練をスキャンしていたが、PDFで配布されるようになり、時間を節約できるし、下書きデータまで用意されていた。



**江藤 康祐** さん  
早稲田大学院  
会計研究科中退

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

社会人2年目 3年0ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00	勉強時間	12:00	
1:00		13:00	
2:00		14:00	仕事
3:00	睡眠	15:00	
4:00		16:00	帰宅
5:00		17:00	夕食
6:00	起床	18:00	
7:00		19:00	
8:00		20:00	
9:00	仕事	21:00	勉強時間
10:00		22:00	
11:00		23:00	
12:00		24:00	

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約7時間 上級期 約7時間

## TACのココが良かった！

### WEB個人別成績表

分野ごとや大問ごとに平均点や判定が出るため、できていない箇所が一目で分かりました。また、これまで受けた答練を一覧で確認でき、各答練の出題範囲も明記されているため、とても見やすく分かりやすかったです。成績は、勉強計画をたてる時や計画の修正に必要なため、見やすく分かりやすい点は助かりました。

できた問題や重要度の低いものは思い切ってやらず、苦手克服を優先し合格を引き寄せる

## 公認会計士を目指したきっかけ



社会人経験2年目の時、将来のことを考えて公認会計士を目指しました。社会人として働く中で、公認会計士という職業の魅力を改めて実感しました。

公認会計士は収入が安定しており、社会的信用も高く、さらに資格がある限り定年を過ぎても現役と同様に働くことができる点がとても魅力的だと感じました。大学時に一度勉強したこともあり、再度挑戦してみようと思いました。

## TACを選んだ理由



通信講座の環境が最も整っていると感じたからです。私は通える範囲に校舎がなかったため、通信で学習する必要性がありました。TACはマイページの使いやすさや成績表の見やすさなど、公認会計士講座に限らず多くの講座を展開しているからこそ、通信講座の環境が非常に充実していると感じました。

また、仕事をしながら勉強する私にとって、公開模試でD判定以上の合格者が70%以上という実績は、大きな指標になると考えました。

## 具体的な学習方法



私が勉強で気を付けたのは、効率と答練スケジュールの遵守です。社会人は時間がないため、隙間時間の活用と「できない問題」から取り組むことを意識しました。昼休みなどでも勉強できるよう単語帳アプリを使い、答練で間違えた問題や頻出の苦手分野を中心に登録しました。できた問題や重要度の低いものは思い切ってやらず、苦手克服を優先しました。限られた時間を意識した取捨選択が効率向上につながったと思います。

また、答練は合格の鍵と考え、どんなに忙しくても予定通り受けることを徹底しました。成績が悪くても、予習が間に合わなくても受け続けました。仕事で疲れて勉強できない日もありましたが、仕事が気持ちの切り替えになり、モチベーション維持に役立ちました。

私が心掛けていたのは、出来なかった問題としっかり向き合うことです。理論科目では、問題集や答練で理解できなかった箇所付箋を貼り、単語帳アプリに問題文と答えを入力しました。頻出かつ出来なかった論点はAランク、出来たが重要なものはBランク、確実にできるものはCランクとし、自分専用のランク分けを作りました。仕事の合間や移動時間に確認し、隙間時間を最大限活用しました。

計算科目では、出来なかった問題をノートにまとめ、注意点や誤答の理由を記録し、見返せるようにしました。苦手箇所を一冊に集約したことで、直前期にも何を勉強すべきか明確にできました。毎日全科目に取り組むようにしていましたが、時間が足りない日は会計学・租税法・企業法を優先しました。疲れて勉強が進まない日もありましたが、「できる範囲で前に進む」ことを大切にしました。

社会人の私にとって、仕事のない土日が勝負でした。平日は無理せず、土日はどんな時も12時間勉強することを徹底し、メリハリをつけて取り組みました。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



TACでは、第2回の全国公開模試でD判定以上の合格者が70%以上だったので、D判定を取ることを目標にしました。第1回はE判定でしたが、第2回ではD判定を取り、本試験では偏差値53.83で受かりました。意識したことは、出来なかった時は、以前と違う行動をとることです。昨日より5分早く起きたり、解く順番を変えたり等々同じミスをしないうために様々な工夫をしました。

そして、最後まで諦めず勉強することが合格に結びついたと思います。難しい試験ではありますが、困難を乗り越えた時には、今より成長した自分がいると思います。辛い時はありますが、そんな時は他人と比較せず自分ができるところです。乗り越える力を身につけることは今後の人生において大きな武器になると思うので、最後まで諦めずに勉強頑張ってください。



**杉山 綾香** さん  
大阪府立大学院  
理学部修了

会計士を目指そうと思った時期 **合格までの期間**  
**就職後** **5年2ヵ月**

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	仕事
1:00		13:00	自習
2:00		14:00	
3:00		15:00	
4:00	睡眠	16:00	仕事
5:00		17:00	
6:00		18:00	食事
7:00		19:00	
8:00		20:00	
9:00		21:00	自習
10:00		22:00	
11:00	仕事	23:00	
12:00		24:00	入浴

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 **約2時間** 上級期 **約2時間**

## TACのココが良かった！

### デジタル教材(PDF教材)

スマホから利用することができたのがよかった。机に向かうことが億劫なときややる気がないときでも、スマホを開いてすぐに勉強することができるので、勉強時間の確保に大いに役立った。出先で想起学習をすることが多かったため、スマホ1つでテキスト等を見直すことができたのが非常によかった。

## 隙間時間の有効活用、想起学習の反復、TACのスマホアプリの活用で仕事をしながら合格！

### 公認会計士を目指したきっかけ



当初は簿記1級の受験(2020年)を予定していましたが、コロナの影響で試験が半年後に延期になってしまいました。次の試験まで同じ勉強をするよりも違う勉強をしたい気持ちが高まったことが理由の1つです。

また、現在まで外資系IT企業に勤務していますが、英語×IT×〇〇という観点でキャリアを差別化したいという思いが強まったことも理由の1つです。

### TACを選んだ理由



公認会計士を受講する前に簿記1級のTAC講座を受講しており、その際にテキストが非常にわかりやすく、演習も充実していたため、公認会計士講座もTACを選択しました。

また、公認会計士試験合格者数も多く、講師陣も公認会計士試験合格者であるため、実績・知見ともに豊富であったこともTACを選んだ理由の1つです。

### 具体的な学習方法



TACは、質問コーナーをよく利用しました。論文の記述を確認してもらい、どの部分を修正するとあと何点上がるのか指摘してもらい、ゴールとの差分を確認してもらいました。

また、モチベーションが下がってしまったときにも励ましの声をかけていただき、メンタルケアにも使っていました。

学習時間は出勤前、昼休み、退勤後の時間を有効活用しました。スキマ時間には、スマホのアプリからテキストを確認したり、想起学習を行っていました。仕事との両立で工夫したことは、0時間の日を作らないようにして、1日5分でも継続して勉強することを意識していました。

また、試験日前には有給休暇で1か月半ほどお休みできるように会社と調整しました。家族にもたまに問題を出してもらい、サポートしてもらいました。

以下は論文直前期(7月、8月)の勉強内容です。理論科目の時間を3時間×3確保し、それ以外を計算科目の勉強に充てました。

机に向かえない時間は想起学習を取り入れ、関連論点を思い出しながら網羅的に勉強していました。

監査論：論文問題集の完全暗記が必要なものの周回、基準集の引き方の練習

租税法理論：理論テキスト・過去問の周回

租税法計算：論文アクセスの周回

財務会計理論：論文問題集のA,Bの周回、テキストのA論点のチェック

財務会計計算：論点アクセス

管理会計理論：テキストの周回

管理会計計算：問題集、過去問

企業法：第一関門リスト・論点リストの周回

経営学：問題集の周回、テキストの要点まとめのチェック

### 公認会計士を目指す方へのメッセージ



社会人合格のポイントは隙間時間の有効活用、想起学習の反復、TACのスマホアプリの活用だと思います。

想起学習は隙間時間に頭の中で行うことができ、できなかった部分や関連論点の確認をスマホアプリのテキストで確認することができます。これを繰り返すことで、記憶の定着、アウトプット力の向上を図ることができ、合格に直結したと思います。

これからは、現職のスキルを生かしつつ、会計スキルとの掛け合わせでキャリアアップを目指したいと思います。



一発合格

大西 優佑 さん

大阪市立大学  
経済学部 経済学科卒業

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学卒業後 1年5ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	
2:00		14:00	TAC 自習
3:00		15:00	
4:00	睡眠	16:00	
5:00		17:00	
6:00		18:00	
7:00		19:00	演習 と 講義
8:00		20:00	
9:00	準備 移動	21:00	
10:00		22:00	帰宅
11:00	TAC 自習	23:00	食事 自由
12:00		24:00	睡眠

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約5時間 上級期 約10時間

## TACのココが良かった！

### WEB個人別成績表

個人別成績表によって他の受講生との差やアドバンテージがどこにあるか、あと何点でボーダーラインに乗るかをちゃんと把握することができ、自分の成長を感じることができました。そのため、モチベーションを維持することができました。

答練や模試では、とにかく自分の成績が前回よりも良くなることを意識して学習しました

## 公認会計士を目指したきっかけ



実際に会計士という職業に興味を持ったのは高校生の時でした。両親が一級建築士で個人事務所を持っており、その個人事務所に経営サポートとして会計士の方が親身になって対応している姿を見たことがきっかけでした。

その後、大学生になってから勉強を開始したいと思っていましたが、大学では硬式野球部に所属したため、4年間野球を思う存分やってから、卒業した後に会計士を目指すことにしました。

## TACを選んだ理由



1番の理由は、僕の高校の時の先輩がTAC名古屋校で会計士に合格したことを聞き、その先輩に尋ねたところ、先輩から会計士の勉強をTACであることを勧められたからです。

そこで、TACへ説明を聞きに行き会計士に合格するためのカリキュラムがここにはあると思い、自分が実際にTACに入って会計士に合格するビジョンが見えたことが決め手になってTACを選ばせていただきました。

## 具体的な学習方法



勉強を継続する上で他の受験生の成績が良くても悪くても決してメンタルを崩されないように意識していました。これは、会計士を目指すような受講生は、もともと勉強ができる人達の集まりであるため、自分よりも能力が高い人は山のようにいて、自分は下の層から這い上がっていくイメージを持つことで、自分の成績を上げることに集中することができることを狙うことに目的があります。確かに、本番では相対評価であるため、他の受験生の成績は絶対的に知っておくべきではありませんが、それは本試験の1回だけ気にすれば良いので、答練や模試ではとにかく自分の成績が前回よりも良くなることを意識して学習しました。

短答式試験の時には、全体の科目をバランスよく基礎を磨き続けることによって順調に一次試験を突破することができたと思います。やはり苦手教科を作らないことは、日々の勉強科目のバランスを調整する上でも大事なことだと思います。たとえ、苦手な教科があったとしても早い段階でその教科を集中して勉強して、短答式試験が始まる半年から3ヶ月前までには全ての教科がバランス良く仕上がっている状態を作るべきだと思います。

論文式試験では、どうしても論述の暗記に目が行きがちで、その論証暗記から逃げたくなりますが、毎日のルーティンのように論証を暗記するべきだと思います。また、監査論に関しては、論証を暗記するよりも、監査の全体の流れを意識しながら問題集の問題を解くことで対応できると思います。そして、論証暗記の気分転換として計算科目、特に租税法や経営学を重点的にを行い、管理会計や財務会計の計算をメンテナンスするとバランス的には良くなるかと思えます。

最後に、論証を暗記できたかどうかをチェックする時には、スマホのメモ機能を使って実際に書き出してみるとどこまで覚えたかが明確になりますし、文字をタイピングするだけなので数分で書き上がるのでおすすめです。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



まず、短答式試験でも論文式試験でも受け切るまでは諦めずにやり遂げてください。どんなに日々の答練や模試の結果が悪くても、本試験の1日ないし3日だけ最大瞬間風速を出すことができれば、合格の可能性は格段に上がります。会計士試験は、本番で自分の実力がちゃんと発揮できさえすれば合格することができる試験です。本試験まで諦めずに努力できるだけのメンタルを持つてる方であれば、合格できるだけの素質は必ず持っている僕は信じてます。

勉強してもなかなか成績が上がらない思いをしている方や授業の量が多く復習も追いついていない方、やる事が多すぎてやる気が出ない方など色々な境遇の方がいるかと思いますが、最後まで諦めないでください。応援してます。

勉強専念合格

# SUCCESS VOICE

人に寄り添った親身なアドバイスがもらえるのがTACの一番の魅力だと思います



一発合格

田野入 昭人 さん  
神村学園高校卒業

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

21歳の頃

1年8ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	昼食
2:00		14:00	
3:00	睡眠	15:00	
4:00		16:00	勉強
5:00		17:00	
6:00		18:00	家事
7:00	朝食	19:00	夕食
8:00	家事	20:00	入浴
9:00		21:00	自由
10:00		22:00	
11:00	勉強	23:00	睡眠
12:00		24:00	

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約10時間 上級期 約9時間

## TACのココが良かった！

### Webフォロー

メモを取る時は一時停止、聞き逃したら逆再生、雑談は30秒スキップ、基本は倍速視聴と、聞きやすいように授業をカスタマイズできたため大変ありがたかった。また、最も進みが早い校舎のペースで配信されているため、時間が余っている場合に、どんどん先に進めたのもよかった。

## 公認会計士を目指したきっかけ



2023年後半から、就職のためには強みとなる資格が必要であると感じるようになり、様々な資格を検討した結果、高卒でも受験出来て合格後の就活もしやすい公認会計士に魅力を感じ、2024年1月にTACに入会しました。

## TACを選んだ理由



過去に勉強ができなくなった経験があるので、在宅のみで学習できるか不安があり、通学もできる予備校に絞りました。

また、校舎まで往復1時間かかるため、もし自宅で集中できる場合は、オンラインをメインに学習したいという思いもあり、校舎とオンラインの両立ができる予備校はTACのみだったので、TACを選びました。

## 具体的な学習方法



ちょっとした疑問点を放置せず、校舎やオンラインの質問コーナーを通じて、納得して理解するよう心がけていました。問と答えを一問一答のように暗記するのではなく、なぜその答えになるのか、どこを間違えたのか、どうすれば同じミスが起こらないのか、を常に考え、納得するまで質問し続けることにより、知的好奇心を損なわず、より本質的な理解が可能になりました。

それを継続することで、少しひねった問題でも解けるようになっていたり、異なる論点に共通点を見出せたり、自身の成長が感じやすかったです。

そのような努力と成果が比例しやすい状態を作り出せれば、頑張った分だけ成績が上昇するため、学習を継続しやすく、モチベーションが維持しやすかったです。

短答計算の学習方法は、解けるまで解くことです。問題集は、授業の次の日、一週間後、一か月後、の三回解きました。さらに間違えた問題は、間違えた次の日に解き、それでも間違えればその次の日も解きました。こうすることで、すべて一発で解けても3回、よく間違える問題は10回近く解くことになり、計算力が付きました。

短答理論の学習方法は、問題文のどのキーワードが、どのようにひっかけとして出されるか覚えることです。そうすることで、キーワードに反応でき、速度が上がるとともに無駄な暗記を減らしました。

論文計算は一問の分量が多く、何度も解くのは困難なので、答練で定期的に論点に触れ、短答の計算力を高止まりすることに集中しました。

論文理論の学習方法は、キーワードを覚えることです。論点ごとに解答を丸暗記するのではなく、加点对象となるキーワードのみ覚えて、現場ではそれを組み合わせて文章を作ること、暗記量を抑えて部分点を積み重ねられました。

TACの良い点は、校舎とオンラインの両立ができます。私は、授業と自習は自宅で、質問と答練は校舎で受けました。授業はオンラインで自分に合ったペースで視聴でき、移動時間を削減できました。また、校舎で答練を受けることで、本番さながらの臨場感を何度も体験できました。TACは選択肢が多いので、自分好みに活用できました。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



私は、専念で、金銭的・時間的な余裕もあり、一人になれる自宅があって、講師の方が多い校舎も近く、環境に恵まれていたと感じます。そのため、自身の学習法が万人に共通するとも思いませんし、人によってベストな方法は異なると感じています。

なので、合格や学習継続を阻む困難な要素があるのであれば、講師やTACの職員に相談してほしいです。きっと、何人もの受験生や合格性を見られてきたと思うので、その人に寄り添った親身なアドバイスがもらえると思います。そういった温かさが、TACの魅力だと思います。

勉強専念合格



一発合格

**山越 秀悟 さん**  
 明治学院大学  
 経済学部中退

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学1年生 1年9ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	自習
1:00		13:00	食事
2:00		14:00	
3:00	睡眠	15:00	
4:00		16:00	自習
5:00		17:00	
6:00		18:00	
7:00	起床	19:00	
8:00	自習	20:00	食事
9:00	食事	21:00	自習
10:00		22:00	
11:00	自習	23:00	風呂
12:00		24:00	自習
			睡眠

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約10時間 上級期 約12時間

## TACのココが良かった！

### WEB個人別成績表

すべての答練で自分の順位がわかるので、現状の自分の位置づけがわかり学習のモチベーション及びペースメーカーとなった。また、公開模試では名前が公開されるので、知人の順位を知ることができ学習のモチベーションとなった。

## 順位が見える個人別成績表が、学習のモチベーションとペースを支え、租税法第1位獲得！

### 公認会計士を目指したきっかけ



大学一年生のころに、大学の簿記講座を履修し、そこで簿記を楽しく感じただけで簿記を仕事にすることのできる会計士を目指そうと思ったからです。加えて、会計士はAIに仕事を奪われることなく食いっぱぐれないという話をセミナーで聞いたのも理由の一つです。

### TACを選んだ理由



大学の簿記講座及び会計士のセミナーを担当しているのがTACであり、講義を教わった方や会計士についての様々なお話を一番最初に聞いた方々がTACの方だったからです。また、TACのほかに会計士の予備校があるのを知らなかったからです。さらに、自宅から近いため通いやすく、大学とのつながりがある予備校がTACだったからです。

### 具体的な学習方法



自分は大学を中退し、アルバイトをすることもなく受験勉強に専念していたこともあり、自分から自らを勉強しなければならぬ環境に置いていたので学習のモチベーションがなくなることはなかったのですが、その中でも約二年間の受験勉強の中でうまくいかずに悩むこともありました。

そこで自分を支えてくれたのは、家族や友人でした。自分が精神的にきついに、飯を食いにいって来て勉強頑張れよと言ってくれる友人がいたり、いつも自分の勉強を邪魔しないように配慮してくれたり、自分の好きなご飯を作ってくれる家族がいたり、本当に周りの人に支えられました。なので、その人たちに対して自分のできる最高の恩返しをするために、やることは、本試験で結果を出すことひとつであり、結果を出すためには勉強するしかない日々を過ごすことで学習を継続することができました。

短答:計算は、とにかく量をこなせば太刀打ちできると考えていたため上級期の前にトレーニングとテキストの精読をぶん回し、上級期から直前期はアクセスと過去問をぶん回していました。理論は、上級期の前には授業の復習をメインに、上級期から直前期にはアウトプット中心に切り替え、上級期前に詰めが甘かったところの再確認をしていました。

論文:計算は、財務及び管理は短答の知識があればある程度太刀打ちできると考えていたので、論文アクセスの対策及び復習を行っていました。他方、租税は、講義の消化をいち早く済ませ復習に時間をとり、アクセスでアウトプットすることを繰り返しました。経営はトレーニングしかやってません。理論は、管理はテキストの精読と問題集のフル暗記のみです。財務は、問題集の暗記がメインで根本の理解は論文対策講義を受講しました。企業及び監査は短答と勉強方法がガラリと変わるので、典型論点のフル暗記と答練の復習、テキストの精読を行いました。租税は三田先生の言うことに従っただけで、経営は暗記のみです。すべての時期に共通して、息抜きは友達との飯などのみで、丸一日勉強しなかった日はありません。

勉強専念合格

### 公認会計士を目指す方へのメッセージ



自分は決して自頭が良いわけではなく、勉強に自信があったわけでもありません。しかし、そんな自分が答練や模試で優秀な成績を取り一発合格できたのは、ほかの人よりも継続力があつたからだと思います。

自分は、受験期間に一度も勉強をしない日を作ったことはありません。一度でも勉強の流れを断ち切ると再び勉強生活に戻ることが苦になると思ったからです。しかしこれは本当に特例だと思います。会計士試験は長期戦なので、少し勉強しない時間を作っても大差はつかないと思います。

最後に笑うのは受験勉強を継続できた人だと自分は思っているので、無理のない範囲で受験勉強を継続し合格できるように頑張ってください。

# SUCCESS VOICE



一発合格

**藪田 洵** さん  
明治大学  
法学部卒業

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

社会人1年後 2年0ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	TAC
1:00		13:00	食事
2:00		14:00	
3:00		15:00	
4:00	睡眠	16:00	TAC
5:00		17:00	
6:00		18:00	帰宅
7:00		19:00	食事
8:00	起床	20:00	
9:00	食事	21:00	自由
10:00	移動	22:00	
11:00	TAC	23:00	勉強
12:00		24:00	睡眠

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約8時間 上級期 約10時間

## TACのココが良かった！

### 質問・相談コーナー（校舎）

私は毎週質問コーナーを利用していましたが、勉強の不安点や疑問点をその場で解消できたことが合格に最も直結したと思っています。そのため、授業がなくても質問コーナーに入ってくださった先生にはとても感謝しています。質問コーナーはTACの一番の強みだと思います。

**TACは、校舎での対面授業や質問コーナーが充実、疑問を解消できる学習環境が整っています**

## 公認会計士を目指したきっかけ



社会人時代は特に秀でたスキルなどを持っていなかったため、今のままではその会社に依存した働き方になり、環境を変えたくても変えられなくなるのではないかと不安を感じるようになりました。

その際、公認会計士試験に合格した友人から、会計士の高い専門性や幅広い選択肢について話を聞き、自分のキャリアを自分でコントロールできるスキルに魅力を感じ会計士を志しました。

## TACを選んだ理由



友人がTACの公認会計士講座を利用して合格していたためです。TACが大手予備校であることは前から知っており、高い合格実績と長年培われた指導ノウハウを期待してTACを選びました。

また校舎での対面授業や質問コーナーが多くあり、疑問点をその場で解消できる学習環境が整っているということもTACを選んだ理由です。

## 具体的な学習方法



学習を継続するうえで最も意識していたことは、TACのカリキュラムから離れないことです。学習が追いついていないと感じる時期もありましたが、自分の判断で授業や答練を後回しにせず、決められたスケジュール通りに受講することを徹底しました。理解が不十分な部分は後から復習で補うことで、学習全体の流れを止めないよう心がけました。

また勉強のモチベーションが上がらない日でも、とにかくTACに足を運ぶことを意識していました。自習室の席に座れば自然と勉強を始めることができ、環境の力に助けられたと感じています。

それでも集中できないときは、勉強仲間と会話をすることで気持ちを切り替え、前向きに学習を続けることができました。

勉強方法については時期を問わず、TACの問題を解き、テキストの該当範囲に戻るという学習をひたすら繰り返していました。インプットとアウトプットを往復することで知識の定着を図りミニテストや答練、全国模試で良い点数を取ることを一つの目標として学習に取り組んでいました。

また得意科目や苦手科目を作らないことを意識し、各科目をどれくらい学習するかをスケジュールアプリに登録して管理していました。これにより、特定の科目に学習時間が偏らないよう調整しながら、計画的に勉強を進めることができました。

気分転換については、あらかじめ休みの日を決めるのではなく、学習に行き詰ったと感じたタイミングでその場で休むようにしていました。無理に続けず一度離れることで、結果的に集中力を保ちながら学習を継続できたと感じています。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



公認会計士試験は、合格までの道のりが非常に長く、厳しい戦いだと思いません。モチベーションを維持しながら何年も勉強を続けることは決して簡単なことではありません。だからこそ、周囲の力を積極的に借りてほしいと思います。

TACには校舎やオンラインの質問コーナーや平林先生のセミナーなど、支えとなる環境が数多く用意されています。私自身も校舎に通い、これらの制度を利用したり受験仲間と切磋琢磨することで合格にたどり着くことができました。

試験本番は孤独でも、そこに至る過程は決して一人ではありません。ぜひ周りの力を頼りながら、最後まで走り抜けてください。

**答練の不正解の問題を最優先に復習。正解した問題も更に良い解き方を考え理解度が高まった**



一発合格

**大宮 瑛 さん**  
神戸大学  
経済学部卒業

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

再就職を考えた時 2年5ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	
2:00	睡眠	14:00	自習
3:00		15:00	
4:00		16:00	
5:00		17:00	
6:00	起床	18:00	
7:00	食事	19:00	移動
8:00	自由	20:00	食事
9:00	移動	21:00	入浴
10:00	TAC 講義 (ビデオブース)	22:00	自由
11:00		23:00	睡眠
12:00		24:00	

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約8時間 上級期 約8時間

## TACのココが良かった！

### 自習室

自分のことに集中できる環境が整っていて良かったです。空調がきいていて心地よかったです。昼寝していても問題ないようになっていて時々休憩できることが良かったです。定休日などがなくほぼ毎日利用できるのが良かったです。

## 公認会計士を目指したきっかけ



会計士を目指そうと思った理由は、資格を持って安定している仕事につきたいと思ったからです。

もともと大学時代の友人が公認会計士を目指していたため公認会計士の存在は知っていましたが、前職を辞めて次の仕事を考えた時に、両親から何かの資格を取ったと言われて調べてみたところこれならいけるのではと思ってTACの相談会に参加して目指すことに決めました。

## TACを選んだ理由



最初に調べたのがTACだったからです。相談会の時の丁寧な対応で、ここなら信頼できるのではと思ったのも決め手になりました。また、失敗した時の再受講割引制度や成績上位者に対する入会金の返還制度なども魅力でした。加えて、校舎が他の予備校に比べて家から近かったことで通いやすい点もTACを選ぶ理由になったと思います。

## 具体的な学習方法



私は、勉強を楽しむことを一番に心掛けていました。計算問題は好きだったので、毎日計算問題をやるようにして「できて嬉しい」という気持ちを毎日味わうようにしていました。暗記が必要な時は効率的な暗記方法を調べてから実験をやるような気持ちで学習に取り組んでいました。また、模試などであまり手ごたえがなかった時は、落ち込むのが嫌で点数や順位は見ないようにしていました。

また、私が学習を継続できたのは、家族のサポートがあったからだと思います。私は退職をして受験に専念していたので、金銭面でのサポートが一番で、次に健康のために食事をきちっと取れるような環境にあったことが本当に助かりました。また、私は友人が全然いないので、家族との会話は自分の世界にこもりきりにならないためにはとても助かったと思います。

計算科目も理論科目も復習を特に大切にしていました。答練は、なるべくビデオブースで受けるようにして、模試以外で教室で受けたことはほぼないです。私は、退職専念で自由に使える時間が多かったので、午前中にビデオブースで答練を受けて、午後をほぼ全部使ってその答練の復習をするようにしていました。(答練は自分の実力を確かめるだけでなく、良い復習教材になると思います。TACの答練は重要なところは網羅しているので、答練に合わせて学習を進めると効率的に勉強できると思います。)

直前期に近づくにつれて、正解数が増えて復習の時間が短くなっていった時は実力がついていることが実感できて嬉しかったです。

また、復習する時は、不正解の問題を最優先で復習し、あっている問題でもどうして正解できたのかを検証するようにしていました。正解していても、もっと良い解き方はあったのではないかと考えることで理解度が高まったと思います。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



世の中には二種類の人がいると思います。長時間勉強するのが苦痛じゃない人とそれ以外の人です。私は前者だったので勉強時間を確保できたので合格することができたと思います。この試験はどれだけ勉強時間を確保できるかの勝負だと思います。ただ、公認会計士試験はいろいろなタイプの人が受験する試験もないと思うので、勉強方法の正解はなく、自分なりの勉強方法を確立できた人が合格すると思います。合格を目指している人は楽しんで頑張ってください。

勉強専念合格

# SUCCESS VOICE



一発合格

**藤田 亮** さん  
一橋大学  
経済学部卒業

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学2年生 4年5ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	移動
1:00		13:00	
2:00	睡眠	14:00	TAC 自習
3:00		15:00	
4:00		16:00	
5:00		17:00	夕食
6:00		18:00	
7:00	起床	19:00	TAC 講義
8:00	食事 通学	20:00	
9:00		21:00	
10:00	講義	22:00	帰宅
11:00		23:00	風呂 暗記
12:00	昼食	24:00	睡眠

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約5時間 上級期 約7時間

## TACのココが良かった！

### 自習室

私は一人暮らしで大学生活を過ごしていましたが、自分の部屋ではなかなか勉強のやる気が出ず、勉強に集中することができなかつたためよく自習室に行き、勉強をしていました。自習室では同じく会計士を目指す人たちと勉強できたため、周りの人たちに負けないという気持ちでより集中して勉強できました。

暗記など毎日続けるものは同じ時間で繰り返し勉強し続け、睡眠不足にならないことを注意

## 公認会計士を目指したきっかけ



私が会計士を目指し始めたのは大学生の2年生の始まりです。大学2年生を迎え、就職活動を少しずつ意識していた中で、どのような職種を目指すか考えて会計士という資格を知り、士業として将来の安定が見込めること、監査という業務に魅力を感じたため会計士を目指しました。

## TACを選んだ理由



私が会計士を目指すのにあたって予備校を選ぶにあたってできるだけ対面の授業を受けたり、自習室で勉強をしたいと考えていました。ほかの予備校は近くに校舎がなかったため、近くに校舎があるTACを選びました。

私が通うと決めたのは立川校でした。立川校は駅に近く、電車から降りてすぐ着くので、通いやすいことも選ぶ理由になりました。

## 具体的な学習方法



私が受験勉強を通して意識していたことは、毎日同じことを続けることです。勉強することを日課にすることで、どんな日であっても継続して勉強ができるように意識していました。財務理論などの論証の暗記といった毎日続けたいと思っていたことは同じ時間にするようにしていました。そうすることによって、昨日まで続けていたのだから今日もやらなければならないと考えるため、ずっと繰り返し勉強し続けることができました。

また、起きる時間もできる限り毎日同じ時間に起きるようにしていました。私は朝型よりの人間でしたので、午前中にできるだけ勉強したいと思っていたため、7時半には起きて8時から行動を開始することを意識していました。そして午前をしっかり勉強できれば午後もし調子よく勉強していくことができるため、とにかく朝から動くということを意識していました。

入門期ではとにかく計算(財務会計論と原価計算)の習得を目指していました。基本的に入門期は財務と管理の2科目を学習していくので、ほかの科目が始める上級期に入るまでにできる限り計算を頑張っていました。

そして上級期にはいると企業法や監査論、財務理論が始まっていきますが、このときも基本的には計算を中心に勉強していました。

理論の勉強はまずは内容の理解に努めていました。この時は暗記をしても短答までに時間があり、忘れてしまうこともあるので、理論科目に時間を裂きすぎないことを意識していました。

直前期に入ると理論のテキストを回すという期間に入るのですが、計算は知識等を保持する程度にとどめ、理論を突き詰めるという意識でやっていました。

また、勉強をするなかでどの期間でも意識していたのは睡眠不足にならないようにすることです。睡眠不足だとまったくと言っていいほど頭に内容が入ってこないで、しっかり睡眠時間を確保することを意識して勉強をしていました。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



会計士に合格することができたのはともに会計士合格を目指して目標を語ったり、愚痴を言い合いながら切磋琢磨することができた友人、私の勉強を支えてくれた両親の支援によるものです。友人や家族に感謝してもしきれません。

また、会計士になったのがゴールではなく、ここから先、会計の専門家として働いていくこととなります。ここで落ち着くのではなく、自己研鑽を積み、会計士として成長していきたいと思えます。

合格のポイントとはとにかく勉強することです！ひねりもないですが結局勉強を積み重ねることでは合格には近づけません。勉強するという単純なことを積み重ねた先に公認会計士という大きなゴールがあるので頑張ること以外に選択肢はないでしょう！



**松本 凜子** さん  
早稲田大学  
社会科学部卒業

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学2年生 3年0ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	食事
2:00		14:00	
3:00	睡眠	15:00	TAC 自習
4:00		16:00	
5:00		17:00	
6:00		18:00	食事
7:00		19:00	
8:00	起床	20:00	TAC 自習
9:00	移動	21:00	
10:00		22:00	移動
11:00	TAC 自習	23:00	自由
12:00		24:00	睡眠

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約3時間 上級期 約6時間

## TACのココが良かった！

### 合格者チューター

チューター制度では、学習面での悩みや不安を気軽に相談できた点良かったです。年齢に近いこともあり、友達と話しているような感覚で相談でき、緊張せずに本音を伝えることができました。その結果、精神的にも支えられ、安心して学習に取り組むことができました。

「友達に会いに行く」感覚で予備校に通うことができるので仲間を作ることをお勧めします！

## 公認会計士を目指したきっかけ



大学2年生の時、友人が簿記の勉強をしていたことをきっかけに会計士という職業を知りました。

就職するまでに自分の強みとなる専門性を身に付けたいと考えており、また、お金や会計に関する知識は将来どのような場面でも役立つので、ちょうどいいと思い、会計士を目指しました。

## TACを選んだ理由



予備校選びの際に複数校を見学しましたが、中でもTACは対応して下さったスタッフの方が親切で、全体的に雰囲気が良いと感じました。

コース選択の際には講師の方にも相談に乗っていただき、安心して決めることができました。また、自習室や休憩室が広く、自習室も比較的空いていて集中しやすい環境が整っており、学習に専念できる点が魅力でした。

## 具体的な学習方法



長期間にわたる受験生活では、学習を継続するための環境づくりと生活習慣を特に意識していました。予備校では友人と積極的に話すことで、勉強の悩みを共有し、ストレスを溜め込まないようにしていました。悩みを相談できる存在がいたことで、精神的に支えられたと感じています。

また、大学の授業は可能な限りオンラインで、課題の負担が大きくなるものを選択し、会計士試験の勉強に集中できる時間を確保しました。

生活リズムを崩さないことも重視し、毎日同じ時間に起きて校舎へ行く習慣を続けました。

睡眠時間はできるだけ削らず、体調管理を優先することで、安定した学習を継続できました。

さらに、食事は予備校の友人と一緒に取ることで良い気分転換となり、午後の学習への活力につながりました。

学習を進める上では、計算科目と理論科目を交互に学習することで、飽きずに集中力を保つよう心掛けていました。

短答期の入門・基礎期では、財務計算や管理計算で分からない点をそのままにせず、すぐに予備校の先輩に質問し、理解を深めていました。学習方法についても先輩の経験を参考にし、自分に合った勉強法を模索しました。

短答直前期には、あえて18時には勉強を切り上げ、家で自由時間を設けることで心身をリフレッシュするようしていました。その分、朝少し早くから勉強を始めた、移動時間を活用したりして学習時間を調整していました。

論文期では、1年目の反省を活かし、3年目は早い段階から勉強時間を多めに確保することを意識しました。その結果、直前期に余裕を持って復習や答案練習に取り組むことができ、落ち着いて試験に臨むことができました。

TACの一番の魅力は、アットホームで質問しやすい学習環境だと思います。教材はコンパクトにまとまっており、学習の優先順位がつけやすい点も魅力です。講師やチューターの方々気軽に質問できるため、不安をすぐに解消できます。また、答練の頻度もちょうど良く、無理なく実力を確認しながら学習を進められる点もおすすめしたいポイントです。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



これから会計士を目指す方、学習中の方にお伝えしたい合格のポイントは、予備校で仲間を作ることです。一人での勉強は孤独で、モチベーションを保つのが難しいと感じることも多いと思いますが、仲間がいることで「友達に会いに行く」という感覚で予備校に通うことができ、自然と勉強を継続できました。

分からないところを教え合ったり、時にはくだらない話で笑い合ったりした時間が、結果的に最後まで走り切る力になったと思います。

是非、交流会などに参加し、勇気を出して話しかけてみてください。

## SUCCESS VOICE



**藤木 栄人** さん  
西南学院大学  
経済学部卒業

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学4年の就活 3年0ヵ月

### 1日のスケジュール

0:00		12:00	勉強
1:00		13:00	食事
2:00		14:00	
3:00	睡眠	15:00	勉強
4:00		16:00	
5:00		17:00	
6:00		18:00	食事
7:00		19:00	
8:00	起床	20:00	勉強
9:00	勉強	21:00	
10:00	食事	22:00	
11:00	勉強	23:00	入浴 自由
12:00		24:00	睡眠

### 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約5時間 上級期 約10時間

## TACのココが良かった！

### 【個別】成績・学習方法相談

オンラインで講師の方と一対一で長めの時間お話をすることができるので日頃不安に思っていることをまとめて相談できるという点が良かったです。講師の方もとても優しく相談に乗っていただけなので精神的に助けられました。

合格のポイントは、正しい努力を知るために、  
本試験のレベルをなるべく早く知ること

## 公認会計士を目指したきっかけ



大学4年生の時に、就職活動をする中で会計士という職業について知り、目指すことを決めました。会計を通じて色々な業界や企業の内部事情を知ることができるのは面白そうだと思いますし、キャリアの幅が広いことや収入面も魅力的に感じました。

## TACを選んだ理由



公認会計士試験は相対評価で合格が決まるため、受講者数の多い大手予備校を選ぶべきと考えました。その中で、TACは校舎が比較的近くにあって、通信で受講しながらでも答練や模試についてはスクーリング制度を使い校舎で受けることができると思いました。

また、身近にTACで勉強している人がいて紹介制度を利用できたこともTACを選ぶきっかけになりました。

## 具体的な学習方法



私は受験期間1年目は大学通学、部活、アルバイトをしながら、2年目はアルバイトをしながら、3年目は完全に専念し、通信で受講しながら答練と模試だけはTAC校舎で受けるという形で勉強しました。

転機になったのは2年目で、主に次の3つを変えたことで学習を継続できました。①毎日必ず同じ時間に起きるようにした：勉強を始めるまでの行動を完全にルーティン化することで、その日のやる気に左右されることがなくなりました。②よく見ていたSNSを消して、スクリーンタイムを追加し携帯の利用時間がわかるようにした：携帯を触ると明らかに集中力が下がっていたので見るのを最小限にしました。最終的には1日平均15分くらいでした。③筋トレを始めた：部活動を辞めてから体を動かす機会が極端に減り、体調、メンタルともに崩れた時期がありましたが、筋トレを始めてどちらも安定しました。

短答対策：最初はインプット→アウトプットを繰り返し、定着してきたらアウトプット→インプットの順で穴を見つけてテキストで補うようにしました。しかし管理会計論については、テキストの本質的な理解が足りないままアウトプットばかりしてしまい、12月短答では30点程しか取れず不合格の原因になりました。そこから岡本講師の論文対策講義を見てテキスト理解を根本からやり直し、試験中時間が無い状況に慣れるためネットにある全ての過去問を時間制限をして解いていった結果、5月短答では86点まで伸びました。管理会計論に限らず、テキストの本質的な理解ができていないと同じような問題しか解けなくなるため、論点の説明ができるかを基準に理解度を確認しました。

論文対策：理論科目は、部屋の中を歩きながら声に出して自分に説明するというやり方で、目次や問題だけを見て、何も見ずに説明できる状態を目指しました。計算科目、特に財務、管理は基本的に電卓を使わず計算プロセスを想起することでメンテナンスし、理論科目に時間を割くようにしました。また、短答・論文に共通して、前日までに、科目ごとに翌日やることを1枚の付箋にまとめておきました。そうすることで次に何をするかで迷う時間がなくなり、無駄な時間を削減できました。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



合格のポイントは、本試験のレベルをなるべく早く知ることだと思います。私が当時読んだ合格体験記には「努力すれば報われる試験だ」と多く書いてあり、最初はそれを信じてただ量をこなす勉強をしていました。本当は「合格に向けた正しい」努力が必要です。その方法を見つけるために大事なものは、本試験問題をなるべく早い段階で見ておいて、合格点を取るために今の自分に何が足りないかを常に考え続けることです。そして、その方法は人によっても時期によっても異なります。ここがこの試験の最も難しいところだと思います。不安になった時は、講師の方を頼りに、何度も軌道修正してみてください。不安が合格に必要な材料に変わります。応援しています！



**元畑 勇人** さん

一橋大学  
商学部卒業

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学2年生

3年1ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	食事
1:00	運動	13:00	
2:00	夜食	14:00	自習
3:00	自習	15:00	休憩
4:00		16:00	
5:00		17:00	自習
6:00	睡眠	18:00	
7:00		19:00	
8:00		20:00	アルバイト
9:00		21:00	
10:00		22:00	
11:00	起床 身支度	23:00	食事
12:00		24:00	勉強

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約3時間 上級期 約6時間

## TACのココが良かった！

### テキストチェックゼミ

入門期でまだ勉強に本腰が入っていない時期に、刺激と危機感を持たせたことが良かったです。私は一人で淡々と取り組むことが苦手ですぐにサボってしまう人間でしたので、合格する人の基準を知れることで危機感を感じ、モチベーションアップにつなげることができたと思います。

## テキストチェックゼミは、本腰の入らない入門期に刺激と危機感を持たせたことが良かった

## 公認会計士を目指したきっかけ

大学2年生の頃、まだ就職活動の意識がない状況で優秀な友人と話した際、「その浅さだと就職活動はうまくいかない」と言われ、就職をどうしようかと考えていた時にたまたまスマホに公認会計士のコンテンツが流れてきたことがきっかけです。監査・会計についての専門性を身に付けられ、キャリアの選択肢が広い点に魅力を感じました。また、せっかく時間に余裕のある大学生のうちに本気で勉強してみようと思ったこともきっかけです。

## TACを選んだ理由

大学の近くに校舎があったことが大きかったです。大学で説明会が頻繁に開催されており、その伝統から信頼感もあり、身近な予備校がTACでした。また、校舎に通って自習することで学習習慣をつけやすいと考えたことも理由の一つです。さらに、親しい友人が一足早くTACの同じ校舎で会計士の勉強を始めており、その話を聞いていたことが最終的な決め手となりました。

## 具体的な学習方法

人と話す機会を意識的に作っていました。勉強中心の生活になると人と話さなくなり、メリハリを失って心身ともに疲れてしまうため、友人と食事や遊びに行く日を設けていました。これによりリフレッシュでき、勉強にも良い影響があったと感じています。

また、答練が始まると準備・受験・復習に追われ、成績という現実を突き付けられます。このとき、多くの受験生が順調に進められているわけではないと理解しておくことが重要です。計画通り進み高得点を取るのが理想ですが、現実には思うようにいきません。やる気が出ない日や、悪い結果を取ることもあります。私自身、生活リズムが崩れ答練でE判定を重ねた時期もありましたが、少し気楽に考える余裕を持たせたことで挽回できました。長期戦だからこそ、継続を大切に積み上げることが合格への近道だと思います。

入門・基礎期から財務会計論・管理会計論の計算を徹底することが何より重要だと思います。学習初期に講師や合格者が口を揃えて「計算！計算！！」と言うのは本当で、大切なので繰り返しますが、とにかく計算です。早めにこの2科目の計算力を身につけることが、合格への最大の近道です。学習が進むと科目や内容が増え、答練も始まるため、基礎的な計算力を鍛える時間は次第に取れなくなります。

論文期はさらにやるが増え時間的余裕がなくなるため、財務と管理の計算力が十分にある人は他に時間を回すことができず、全体的な成績アップにつながります。そのため、計算にはしっかり時間を割いて強化してほしいです。ミニテストや実力テスト、アクセス答練で高得点を取れる状態を目指すのがよいと思います。計算を疎かにして失敗した経験から、これだけは強く伝えたいです。

また、論文期はバランスを意識した学習が重要です。得意科目を伸ばすよりも、苦手科目をなくす方が合格可能性は高まります。私自身、1回目の論文式試験では租税法を後回しにし、監査論ばかり勉強した結果、本試験で振るわない成績となりました。合格のために必要なことを優先する姿勢が肝要です。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ

私は短答式試験・論文式試験共に不合格の経験があり、決して順調な受験生活とはいえなかったですが、最終的に合格をつかみ取れたのは家族や友人の存在とTACのサポートがあったからだと強く感じます。私の受験生活を支えてくださった周囲の方々存在に深く感謝申し上げます。

これから会計士試験合格を目指して勉強される方々は、簡単ではない道のりが待っているかと思いますが、どれだけベースが落ちようとも継続できていれば着実に目標に向けて進めているので、諦めず頑張してほしいと思います。合格したときの喜びは格別です。

# SUCCESS VOICE



**藤原 竜輝** さん  
同志社大学  
商学部卒業

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学1年の夏休み 3年2ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	勉強
2:00		14:00	食事
3:00		15:00	勉強
4:00	睡眠	16:00	勉強
5:00		17:00	散歩
6:00		18:00	
7:00		19:00	勉強
8:00	準備	20:00	
9:00		21:00	
10:00		22:00	カフェで勉強
11:00	勉強	23:00	
12:00		24:00	食事

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約5時間 上級期 約6時間

## TACのココが良かった！

### 質問・相談コーナー(校舎)

講師と直接会話し、成績の推移などが確認でき、自分の勉強に対する客観的な評価が得られたことが一つ目の理由です。また、講師と親密になることで自分の性格や考え方までをも理解してもらえるので、これらを踏まえた本質的なアドバイスがもたらされたことが二つ目の理由です。

## 基本的に毎日TACの自習室に通い、自習室にいる間は最大限集中することを心がけた

### 公認会計士を目指したきっかけ

大学1年の夏休み中、当時の私はふと思いました。「こんな何の生産性もない日々を送って将来何の役に立つのか」と。そこで、なんとなく簿記検定の勉強を始め、その中で会計的な思考(収益の配分方法等)が面白いと感じました。

そして、偶然にも簿記検定の学内講座の先生が公認会計士であり、収入が良いといった話を聞き、目指そうと思いました。

### TACを選んだ理由

私は、強制力がなければ勉強ができないので、予備校選びに際しては校舎で勉強できる環境が望ましいと考えていました。この点、TACでは答練や講義が対面で行われることから、TACに行くことさえできれば強制的に勉強に集中できるなと思いました。

また、講師全員が実務家であるという点がパンフレットで強調されており、そのような人に常に質問ができる環境があるというのも決め手の一つでした。

### 具体的な学習方法

私は、絶対に家では勉強しないというルールを決めていました。そのため、基本的に毎日TACの自習室に通い、自習室にいる間は最大限集中することを心がけていました。また、TACにいる間にしんどくなってきたときは、友人を誘い、外の空気を吸うために近所に散歩に行っていました。

そして、論文期においては、モチベーションを維持するためにはTACの友人の存在が非常に重要です。つらいときに気持ちを共有するほか、次の答練の出題予想をするなどしていました。

私は、一度短答に落ちているのですが、これを踏まえて財務計算の重要性に気づきましたので、落ちてからは財務計算の勉強時間を大幅に増やしました。このとき、「本試験のあの緊張のなかでこれを再現できるのか？」を強く意識し、財務理論との繋がりを重視しました。また、各科目の特殊性を踏まえて勉強をしていました。たとえば、財務会計論は短答では最後の科目であり、論文では2日目の午後に行われます。つまり、最もしんどいときに最も試験時間が長く、配点が2倍の科目を受験するわけですから、本試験で起こりうる事象を考えながら勉強していました。

論文生になってからは、各科目のバランスを強く意識していました。論文の偏差値は大問ごとの加重平均により算出されるので、特定の大問で偏差値35などを取ってしまうと、他の大問でかなりの高い偏差値を取らなければなりません。意図的に高い偏差値を取るのはいかなり難しいです。そのため、どんな大問でも最低偏差値45は守り切る意識を持っていました。

そして、私は受験期間が3年であったため、3年目は心身ともにかかなり辛かったです。そのため、休む勇気を持ち、論文1ヵ月前までは最低でも週1回は必ず休み、それでも疲れが取れなかったときは、さらに1日～2日追加で休みました。1日に一切勉強をしないことに罪恶感を覚える人が多いのですが、休む勇気も合格のためには必要だと思います。

### 公認会計士を目指す方へのメッセージ

この試験は、単に頭が良い人が合格する試験ではありません。公認会計士になるに相応しい人間性を備えた人が合格します。論文の合否が偏差値により判定されるのは科目間でムラのない人すなわち満遍なく仕事ができる人を受かせるためであり、試験範囲が膨大なのは受験生にリスクアプローチ能力があるかを判断するためであり、管理会計や経営学で単位トラップがあるのは懐疑心のない人を受かさせないためです。そして、公認会計士に必要な人間性は試験勉強を通じて後天的に醸成されるものであり、これが欠落している限りはいくら連結会計や財務理論などが得意であっても合格することはありません。勉強中は、幾度なく心が折れそうになりますが、それもすべて公認会計士になるに相応しいか否かが国により試されているのです。



**大本 さくら** さん

関西学院大学  
商学部卒業

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学生の頃

3年2ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	昼食
1:00		13:00	自習
2:00	睡眠	14:00	休憩
3:00		15:00	自習
4:00		16:00	休憩
5:00	自習	17:00	夕食
6:00		18:00	お風呂
7:00	朝食	19:00	自習
8:00	運動	20:00	就寝
9:00	講義	21:00	
10:00		22:00	
11:00		23:00	
12:00		24:00	

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約6時間 上級期 約8時間

## TACのココが良かった！

### 質問・相談コーナー(校舎)

先生と面と向かって話すことで、自分の今の立ち位置を明確にすることができました。オンラインでは時差もあったりして、タイミングをとるのが難しいと思っていたので、校舎で実際に先生とお会いして、お話をさせていただけたことは嬉しかったです。

**同級生から、TACの講師はとても優しく非常に話しやすいと聞いて、魅力を感じました**

## 公認会計士を目指したきっかけ



私は小学生のころ算盤をやっていたので、計算をするのが好きでした。大学の簿記の授業を受講した際、計算もしつつ貸借対照表の貸方、借方の両方が同じ数字になるところに面白さを感じました。授業で会計士の仕事があると知り、そこで簿記の面白さを活かせる会計士になりたいと思い、目指そうと思いました。

## TACを選んだ理由



私の周りにTACに通っている人が多かったため、TACを選んだのも理由の一つですが、大きな決め手となったのはTACに通学していた同級生からの話を聞いたことです。その同級生の話では講師の方々はとても優しく、非常に話しやすい方々であるためなんでも気軽に話せると言っていました。そこに魅力を感じTACを選びました。

## 具体的な学習方法



合格学習継続のために日々気をつけていたことは、諦めないという気持ちを持ち続けることです。テストでなかなかいい点を取れなかったり、友達にランキングで負け続けて気分が下がっていても、「自分の目標は試験に合格することだ」と思い返し、その目標を達成するんだという気持ちを常に持つように意識していました。自分の意思だけでモチベーションを維持できない時は、先生のところに行き、悩みを聞いてもらっていました。そうすることで、気持ちが軽くなり、切替えて勉強を再開することができました。

また先生には悩みを聞いてもらうだけでなく、実務の話も聞くことで、「早く働いていろいろな経験をしたい」を思うことができ、モチベーション維持にもつながりました。

私は同じ場所で何時間も勉強することができない人だったので、朝はTACの自習室で勉強し、午後からは家で勉強するなど学習環境をころころと変えていました。そのおかげで場所に飽きず、モチベーションもあげた状態で勉強を継続することができたと思います。

また私は長時間椅子に座り続けることがしんどいと感じていました。そのため、「何時まで勉強したら、体を動かす」と決めて、勉強することに集中しながらも体を動かすことも忘れないようにしていました。昼食を食べた後、どうしても眠くなってしまう時は、寝るのを我慢するのではなく、割り切って30分だけ寝るとしていただくことで、返って頭がスッキリし、勉強も捗ったと思います。

わからない問題があった時は自分で一回考えて、どうしてもわからなければ友達や先生に必ず聞くようにし、わからないままではおいておかないようにしていました。そのおかげで、「これがとても苦手だ」と感じるものが少なく、試験直前になっても苦手な論点ばかり復習するのではなく、まんべんなく勉強することができたと思います。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



つまずくときがあっても絶対にあきらめないでください！そこを乗り越えるにはどうしたらいいのかを考えることも勉強の一環であり、乗り越えられたときの嬉しさはとても大きいものになると思います。

私もあきらめなかったから合格することができ、嬉しさを感じています。しかし、諦めないといっても自分一人だけでは乗り越えられないことも多いと思います。その時は、家族、友達、講師の方を頼るのも一つの方法だと思います。自分一人で抱え込まず、周りを頼りながら成長していくことで、より多くの人と合格した時の嬉しさを喜び合えると思います。

勉強専念合格



**中西 晴哉** さん  
関西学院大学  
商学部卒業

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学1年生 3年3ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	自習
1:00		13:00	食事 昼寝
2:00	睡眠	14:00	
3:00		15:00	
4:00		16:00	
5:00		17:00	
6:00	起床 食事 準備	18:00	自習
7:00	通学	19:00	
8:00		20:00	
9:00		21:00	
10:00	自習	22:00	帰宅
11:00		23:00	食事
12:00		24:00	自由 睡眠

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約5時間 上級期 約7時間

## TACのココが良かった！

### 質問・相談コーナー(校舎)

質問コーナーで疑問点を解消していただくだけではなく、勉強の方向性についてその都度、軌道修正していただけたことはとても有難かったです。また、質問コーナーで先生方とお話することが日々の勉強のモチベーションになっていました。実際に試験を合格されていて、実務経験や指導経験も豊富な先生方と毎週のようにお話できる機会があることが良かったです。

**自分の弱点やミスの原因を分析することは、精神的な傷みを伴いますが大切なことです**

## 公認会計士を目指したきっかけ



私が大学1年生の頃に、大学の授業で先生から、「商学部なら資格を取った方がい」と教えていただき、その時に公認会計士の資格の存在を知りました。そして、大学生活のなかでどうせ勉強をするなら一番難しい資格に挑戦しようと思いました。

また、公認会計士のことを調べていくなかで、多様なキャリアがあり、そのキャリアの実現可能性の高さに魅力を感じ、目指そうと思いました。

## TACを選んだ理由



受講前に、受講相談をさせてもらうために最寄りのTACの校舎に伺わせていただきました。その時に、率直にTACの校舎が綺麗だなと感じました。

また、相談させていただいた方が丁寧で印象が良く、かつ、校舎内の設備も充実しているなどと思い、TACを選ばせていただきました。

## 具体的な学習方法



私が日々の学習を継続するために気を付けていたことは、日々の勉強を習慣化すること、そしてその習慣を壊さないことです。基礎期のころ、とても優秀なチューターの方に「どうやって勉強のモチベーションを維持していましたか」とお聴きしました。するとその方は、「モチベーションなんてなかった。機械のように、毎日、自分が決めた時間を勉強していた。そうしていくうちに、毎日勉強することが当たり前になり、モチベーションに左右されなくなった」と仰いました。私も本当にその通りだと感じています。

毎日、自分が決めた時間を勉強することを習慣化すれば、その時間に勉強していないことが気持ち悪くなり、気分によって勉強する、しないが左右されなくなります。公認会計士試験はどうしても長期戦になるため、モチベーションに頼らず、日々の生活に勉強を組み込み、その日々を繰り返すことで学習を継続することができました。

まず、計算科目の勉強方法は、単に仕訳や計算プロセス、そして公式を暗記するのではなく、なぜその仕訳になるのか、なぜその計算プロセスになるのか、なにを求める公式で、その公式によって導かれた結果からどういったことがわかるのかなどを考えることを意識していました。こうすることで、理解が深まり捻った問題にも対応できるようになるとともに、長期記憶にも繋がるからです。

また、理論科目については、具体的なイメージが湧かないところは先生方に質問をすることでイメージを湧かせるように心がけていました。総じて、どの科目も、論証の暗記を除き、問題集をひたすら回転していたら点数が伸びるというものではないと思うので、テキストの理解を重視していました。

また、気分転換の方法については、毎日、昼食後の15分間は昼寝をしていました。昼食後は血糖値が上がり眠くなり、午後からの勉強の質が下がってしまうと思うので、15分間だけ昼寝をすることでスッキリした状態で午後からの勉強に取り組むことができました。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



私は、いわゆる、「地頭」や「才能」などは全くないただの凡人でした。ですが、「諦めずに勉強を継続すること」は得意でした。その結果の合格です。皆さんも、結果が出なくて辛い、「なんで自分だけ」と思うことがあると思います。ですが、それは多くの合格者が通ってきた道の半ばであり、決して自分だけが後退している訳ではありません。

そして、最後に皆さんに伝えたいことがあります。それは「大切なことはコケないことではなく、コケた後に強くなって立ち上がることだ」ということです。そのため、自分の弱点やミスの原因を分析する必要があります。それは精神的な傷みを伴います。私はこれらを潜在的に避けていて勉強期間が長くなってしまいました。皆さんにはその二の轍を踏んで欲しくない。挑戦する皆さんのことを応援しています。



**山本 晃大 さん**  
 千葉大学  
 法政経学部卒業

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学1年生 3年3ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	食事
1:00		13:00	
2:00		14:00	TAC 自習
3:00	睡眠	15:00	
4:00		16:00	休憩
5:00		17:00	TAC 自習
6:00		18:00	
7:00	起床	19:00	
8:00	食事 移動	20:00	TAC 答練
9:00		21:00	
10:00	TAC 自習	22:00	移動
11:00		23:00	食事 自由
12:00	食事	24:00	睡眠

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約5時間 上級期 約5時間

## TACのココが良かった！

### 自習室

私は自宅で勉強すると誘惑に負けてしまうことが多かったため、勉強する環境が整った自習室を利用することができるのが非常にありがたかった。また、ロッカーを借りることができたので教材をまとめておいて身軽な状態で通学することができたのも助かった。

## オンタイムで受講し、復習、答練の準備→復習と当たり前のことをしっかりとこなした人が受かる

### 公認会計士を目指したきっかけ



中学のキャリアを考える授業で初めて公認会計士に出会い、簿記に触れてみて楽しいと感じたのが公認会計士に興味を持ったきっかけでした。

その後大学生になり、改めて公認会計士について調べたところ、会計のプロフェッショナルであり、社会的に重要な存在である点に魅力を感じ、公認会計士を目指すことを決意しました。

### TACを選んだ理由



私がTACを選んだ理由は長年の経験の蓄積がある点と校舎が多い点です。TACは公認会計士予備校として長年合格者を輩出してきた実績があり、公認会計士合格のためのナレッジが蓄積してると考えたためです。

また、校舎の数が多く、直接講義や答練を受けることができることで緊張感をもって学習を進めることができ、通うことによるモチベーション維持もできると考えたためです。

### 具体的な学習方法



私が合格学習継続のために日々気を付けていたことは張り切りすぎないことです。公認会計士試験は通常のカリキュラムで2年間に及ぶ長い受験生活になるため、最初から飛ばしすぎたり、直前になってから学習時間を増やして詰め込みをしても太刀打ちすることができません。そのため長期的に勉強を継続してムラのない学習スケジュールを立てて勉強に臨んでいました。

勉強が第一優先なのはもちろんですが、バイトや友人との交遊などを時に挟むことで勉強に対するモチベーションが下がりにくいように配慮をして自身のストレスをコントロールしていました。

また、直前期などは特に生活リズムをできるだけ整えることを気を付けていました。一日にどの時間に何をするのかを決めておくことで行動する際に選択するストレスを減らして安定して勉強に励むことができたと思います。

私は非常に飽き性だったので同じ科目を長々と勉強することができませんでした。そのため、学習をする際には1時間程度で区切って科目を切り替えて集中力を落とさないようにしていました。

また、暗記の多い理論科目はできるだけ頭がすっきりしてる午前中にこなし、夕方あたりの疲れてきて集中力が落ちてきた時間帯に財務などの計算科目を行い、自分がかかっている状態だとどのようなミスをしてしまうのかなどを見つけておくようにしていました。理論科目はただ暗記だけすると特に論文で捻られた問題で太刀打ちできなくなってしまうので理解を重視し、理解したうえで覚えるようにしていました。

また、直前期にはどの科目もバランスよく勉強することで全範囲の知識を最新の状態で本番を迎えられるようにしました。

### 公認会計士を目指す方へのメッセージ



私が最も伝えたいことは公認会計士試験は地道に頑張った人が順当に報われる試験であるということです。授業をオンタイムで受けて、復習をしっかり行い、答練の準備をして受けた後はしっかりと復習をする。この当たり前のようなことをしっかりとこなした人が受かることができる試験だと思います。

しかしながら非常に長く、苦しい試験であることは間違いありません。時には息抜きをしながら最終的な合格を目指して頑張ってください。応援しています。



**松原 千夏** さん  
同志社大学  
経済学部卒業

会計士を目指すと思った時期 合格までの期間

大学卒業後 3年4ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	
2:00		14:00	自習
3:00	睡眠	15:00	
4:00		16:00	散歩
5:00		17:00	
6:00		18:00	
7:00		19:00	自習
8:00	移動	20:00	
9:00		21:00	移動
10:00		22:00	
11:00	自習	23:00	休憩
12:00		24:00	睡眠

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約5時間 上級期 約5時間

## TACのココが良かった！

### 自習室

成績優秀者の勉強法を真似することで、効率的な勉強法を知ることができました。名古屋校は自習室がたくさんあり、疲れたら気分を変えることができたり、理論教室もあったため、理論科目に集中したいときは周りの音に乱されことなくストレスフリーで勉強できたのは大きかったです。

## 受験仲間といつでも質問できるTACの環境、5つの戦略が私の合格の支えとなった

### 公認会計士を目指したきっかけ



私は大学在学時に、香港に派遣留学をしました。香港の学生は勉強への熱量がすさまじく将来のために知識なり経験なり身に付けなければならないという意識がとて高かった印象があります。

私は大学4年間で人脈もなければ特に身に付けた知識技術もなく、たまたま内定をもらえた企業に数十年間勤めあげるイメージがつかなかったため、手に職付けるために大学卒業後から会計士を目指すと思いました。

### TACを選んだ理由



私が通っていたTAC名古屋校は、校舎が移転したばかりでとてもきれいでした。また、自習室数が多く、理論教室もあったため、私のような電卓音や室温、貧乏ゆすりに強いストレスを感じてしまうようなHSPにとって、同じ予備校内の自習室で部屋を変えることができる環境は最高でした。

また、受講生が多く切磋琢磨しあえる勉強仲間が身近にいることはとても励みになり、また、いつでも質問できる環境があることは強みでした。

### 具体的な学習方法



私は合格するまでに約4年を要し、短答試験で2回、論文試験で1回不合格を経験しました。正直に言えば、一発合格者のように柔軟な思考力や理解力は持ち合わせていない不器用なタイプだと思います。私のように、なかなか結果がでず苦しんでいる方の戦略の参考になれば幸いです。

私の合格を支えた具体的な5つの戦略を紹介します。①成績優秀者の勉強法を徹底的に真似る、②すべての答練で「名前を載せる」強い意志を持つ、③量をこなす、④WordHokic(無料)というアプリを使って忘却曲線を意識した暗記、⑤テキストを要約し、インプットとアウトプットを一元化。

③に関して、計算力と初見対応力をつけるために、他の受験生の2倍以上の量をこなしました。例えば、各答練の前に23、24年目標の答練を事前に解きなおしてから25年目標を受験していました。

④に関して、会計士試験は範囲が広く、暗記量が膨大です。やみくもに暗記しようとする非効率的になるため、暗記したい論証例や定義のテキストページを写真にとって「WordHokic」に入れ、忘却曲線に基づいた復習を徹底しました。暗記するためには何度も反復することが大事だと思うので、覚えられていない箇所だけを抽出して何度も見返せる機能が非常に役立ちました。

また、分野科目ごとの暗記定着率が数値で示される点、及び過去問や答練で出た問題、論対レジュメなど情報を一元化できたため効率が高まりました。

⑤に関して、私の周りの成績優秀者は電卓をたたく時間よりもテキストを熟読している時間が長い印象があります。しかし分厚いテキスト(計算)全部を読み返すのは時間がかかるため、テキストを要約し、それを各章の先頭ページに貼付。問題を解く前に、まずこの要約を一読する習慣をつけました。

### 公認会計士を目指す方へのメッセージ



私は論文1年目の時、パニック障害になってしまいました。「今更どう頑張っても受かる気がしない。」と気持ちで負けていたため、勉強中に涙が止まらなくなったり、活字を見ると吐き気がして勉強ができなかったり、ご飯がいつもどおりの量を食べられなくなって精神的にも身体的にも限界でした。試験3日間も、緊張のあまり手が震えて初日の監査論は信じられないほど汚い字でした。

会計士試験は、本当にきつい試験だと思います。でも、「これ以上もう無理だ」と思うくらいすべてを犠牲にして勉強してください。直前模試でよい判定をもらえたらきっと、当日は落ち着いて受験できると思います。あきらめないで最後まで走り抜けてください。応援しています。



**森重 天満** さん

明治大学  
政治経済学部卒業

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学1年生 3年10ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	昼食
2:00		14:00	散歩 休憩
3:00	睡眠	15:00	学習
4:00		16:00	家事
5:00		17:00	筋トレ
6:00	起床	18:00	お風呂
7:00	運動	19:00	夕食
8:00	シャワー 学習	20:00	
9:00	朝食	21:00	学習
10:00		22:00	
11:00	学習	23:00	休憩
12:00		24:00	睡眠

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約4時間 上級期 約6時間

## TACのココが良かった！

### 【個別】成績・学習方法相談

苦手科目を避けて得意科目に逃げたまま自分の悪い癖を改善することができたからです。これまでの学習状況や現状を聞いてもらい、これからの勉強方針を定期的に示してもらうことにより、適切な科目間バランスや方向性を意識した学習をでき、合格につながりました。

**TACに移籍し、講師相談を利用して状況は大きく好転して合格を勝ち取ることができました**

## 公認会計士を目指したきっかけ



大学1年生の時に予備校の会計士の宣伝を見て目指すことを決意しました。当時、技術革新や環境の変化が激しい現代の状況から、漠然と将来の自分の暮らしや働き方に不安な気持ちがありました。そこで、なにか自分の強みを持ちたく、会計という武器を身に付けようと思いました。会計士のキャリア選択の幅広さも、私が抱える不安を解消するという観点から魅力的に映りました。

## TACを選んだ理由



論文式試験合格に最も適した予備校と判断したからです。私は論文3回目のタイミングで他校からTACへ移籍しました。TACの教材のボリュームは必要十分な適正量になっており、使用教材も明確であったため、基礎や重要論点を迷いなく確実に固められると思いました。また、講師相談をしやすいことも大きな理由でした。定期的に講師相談を利用することにより、学習方針を適宜修正しながら勉強をできる環境が魅力的でした。

## 具体的な学習方法



私は論文3回目を受験する年度の3月に大学を卒業し、4月からはアルバイトをしながらの専念生でした。三振り一チの状況で確実に合格を勝ち取るために、定期的に講師相談に行くこと、身体を動かすことを習慣化すること、効果的な休憩をとることの3つを強く意識していました。

講師相談は、苦手科目から逃げないようにし、学習方針を明確にするため、科目間の勉強バランスを整えるために、定期的に行うことを意識していました。少なくとも月に1回は相談に行くことで、間違った方向性そのまま勉強をしているという状態に陥らないように注意していました。

身体を動かすことと休憩に関しては、専念で論文3回目というメンタル面のケアを意識していました。勉強時間をできるだけ確保することも当然重要ですが、体調を崩してしまっただけでは元も子もないです。本試験を万全な状態で迎えるためにも、日々の学習の質を上げるためにも必要なことだったと思います。

論文はいかに穴となる大問を作らないかが重要な試験です。そのため、少なくとも3~4日で必ず全科目に触れ、放置してしまう科目がないように常に意識していました。そして、苦手科目はまとまった時間を取って必ず克服するようにしました。私は苦手科目を避けて好きな科目に逃げる悪い癖があったので、講師相談を利用してこの癖を改善するようにしていました。

理論科目については想起学習を取り入れるようにしました。テキストを閉じて、テキストにどんなことが書いてあったかや論点のつながりを想起することはインプットした知識を本試験で使える知識に変換するのに非常に効果的だったと思います。テキストを読み込んでいるだけでは気づかない自分の弱点を把握するきっかけにもなるので、読み込み学習をした後はテキストを閉じてどんなことが書いてあったかを思い出すようにしていました。

休みのとり方については、散歩や瞑想を取り入れていました。散歩や瞑想をすることで長時間勉強した後もある程度頭がすっきりするので、勉強時間を増やすという面でも勉強の質を上げるという面でも非常によかったです。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



私は論文の勉強に非常に苦戦をしてしまい、2回目の論文の結果は、苦手科目は大きな穴となり、得意科目も思うように伸びなく科目合格も一つもないという悲惨なものとなりました。

しかし、TACに移籍してから講師相談を利用して、苦手科目から逃げず、全科目バランスよく正しい方向性で勉強することを意識してから、状況は大きく好転し、合格という結果を勝ち取ることができました。論文は勉強の方向性を間違えなければ合格に大きく近づくことのできる試験だと思います。

TACの講師と教材を信じて、全力で走り切ってください。応援しています。

勉強専念合格

# SUCCESS VOICE



**國廣 翔大** さん  
福岡大学  
商学部卒業

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

高校時代 4年0ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00	自由時間	12:00	自習
1:00		13:00	食事
2:00		14:00	自習
3:00	15:00		
4:00	睡眠	16:00	運動
5:00		17:00	
6:00		18:00	
7:00	支度	19:00	食事
8:00		20:00	自由時間
9:00		21:00	
10:00	22:00		
11:00	自習	23:00	
12:00		24:00	

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約10時間 上級期 約5時間

## TACのココが良かった！

### オンライン質問・相談コーナー

特に論文2回目の挑戦の際にこのコーナーを利用させていただきました。このコーナーでは自分の論証の添削や学習方針に関する相談を講師の先生方が親身になって相談に乗ってくださり、間違った勉強方法を行う時間を最小限に抑えることができました。このコーナーは受験開始時から利用すればよかったと深く後悔しています。

## 想起学習で隙間時間を有効活用し、記憶を定着させ、効率的かつ効果的な学習ができた

### 公認会計士を目指したきっかけ



私が公認会計士を目指したきっかけは、高校時代に友人が公認会計士についての話をしており調べてみたところ、資格一つで幅広い業務に従事することができる点や最難関国家資格である点にとっても魅力を感じたからです。

### TACを選んだ理由



私が行っていた大学がTACと提携しており、また、TACは長くにわたり公認会計士講座を行っており公認会計士試験合格を目指すに当たって十分なカリキュラムや生徒思いな講師の先生方などが揃っており、TACであれば公認会計士試験に合格するための環境が揃っていると考えたためTACを選びました。

### 具体的な学習方法



私はモチベーション維持のために十分な睡眠と運動を心がけていました。具体的には、睡眠は少なくとも7時間は寝るように心がけ、勉強で行き詰まって嫌になってきた時や夕方の集中力が切れる時にはキックボクシングや筋トレをして脳のリセットしていました。運動をすることでメンタルが前向きになり、これもモチベーション維持に役立ちました。

また、受験仲間と答練や模試で勝負したり、時には雑談をしたりご飯に行くことでモチベーション維持に繋がりました。さらに、自習室で勉強することで自分以外の受験仲間が頑張っている姿を見ることができるので、自分も負けたくないように頑張ろうと思え、学習継続に繋がりました。

さらに、モチベーション維持のために、家に帰ったら勉強せず自由時間にするというルールを定め家でゆっくりと過ごすことで、夜寝る前の自由時間のために日中に集中して勉強を頑張ることができました。

計算の勉強では講義を受けた範囲の問題集をエビングハウスの忘却曲線を意識して復習し、その後は答練やアクセス答練を解くことで強化しました。

また、試験1ヶ月程前から答練をもう1周することで最終調整をしました。理論の勉強は、問題集をテキストに反映してテキストを中心に回転していました。

また、歩いている時や隙間時間に論点を想起して自習室についてから論点を確認するなどして隙間時間を有効活用していました。想起学習をすることで論点が記憶により定着し、とても効率的かつ効果的な学習ができました。

気分転換としては、運動を行ったり、家に帰ってからはゆっくりと自由時間を過ごすことで気分転換をしていました。論文式試験の1日目と2日目の後にはぐっすり寝るためにキックボクシングに行っていました。

### 公認会計士を目指す方へのメッセージ



公認会計士試験は最難関国家資格ということもありとても難しい試験ではありますが、この試験は頭の良し悪しに関わらず諦めずに素直な心で正しい努力を続ければ誰でも合格できる試験だと思います。

私はまだ試験に合格して間もないですが、既にこの試験を合格したことによる恩恵を多く感じており、この試験に合格して本当に良かったなと感じております。

受験期間に多くの挫折や辛い経験をするとは思いますが、それを乗り越えるだけの価値はあります。また、受験を通して様々なソフトスキルを身につけることもでき、そのような資格取得よりも価値のある副産物を多く得ることもできます。

今挫折している人はその敗北の味を勝利の美酒で流せるよう頑張ってください。繰り返しになりますが、乗り越えれば一生の財産になるので頑張ってください！



**長谷川 雄一 さん**  
愛知大学  
国際コミュニケーション学部卒業

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学2年生 4年0ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	
2:00		14:00	
3:00	睡眠	15:00	
4:00		16:00	
5:00		17:00	
6:00		18:00	不明
7:00		19:00	
8:00	起床準備移動	20:00	
9:00		21:00	
10:00		22:00	
11:00	自習・答練	23:00	
12:00		24:00	

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約6時間 上級期 約7時間

## TACのココが良かった！

### 合格者チューター

自分は講師の方と話すのは緊張してしまうこともあり、合格者チューターの方によく相談にっていました。チューターの方には勉強の相談はもちろん、自分と年齢も近いこともあり、友達と話すような感覚で勉強とは全く関係のない雑談もよくしていました。とても良いリフレッシュになっていたと思います。

## 圧倒的な勉強量で試行錯誤を重ね、早期に自分流の学習法を確立することが合格の鍵

### 公認会計士を目指したきっかけ



自分は今まであまり将来のことは考えずに、適当に楽な方に身を任せて生きてきました。大学の学部も気にせず、とりあえず合格した大学に進学し、ダラダラと生活していましたが、ある日突然自分の将来を考えたときに、このままではまずいのではないかと思い、一念発起して大学生の頃から学習を始めました。

### TACを選んだ理由



現在は校舎の場所が移動してしまいましたが、自分が入校する時は、駅の改札から地下で校舎まで移動することができ、立地が他校と比べて非常に優れていたからです。また、地下にはお店がたくさんあったので、ご飯を買いに行ったり、ちょっと散歩に行ったりと勉強のリフレッシュがしやすい環境が校舎の周りに整っているなど感じました。

### 具体的な学習方法



まず、自分の場合は学生合格はできず、途中から専念生になって学習していました。TACの授業が夜からあったので、学生時代は大学の講義が終わったらすぐにTACに向かって講義を受けて、次の日に学習した範囲の復習をするといったサイクルを繰り返していたと思います。地味な作業の繰り返しですが、基礎をおろそかにしなかったのは大きかったと思います。

また、自分はマルチタスクが苦手でしたので、自分のリソースをほぼすべて会計士の勉強に費やしていました。結果として、サークルやアルバイトもせず、成績はギリギリ、友達も全くいない状態で、ひたすらTACに行くことを優先した生活だったと思います。専念生になっても大学に通っていた時間が自習の時間が変わっただけで、あまり生活習慣は変わらなかったと思います。

最初とはとにかく計算を固めて、後から徐々に理論の比重を増やしていくといった、多くの合格者が行っていたであろう戦略を自分も実践するようにしていました。

あと、勉強とはとにかく量が大事だと思います。成績が優秀な人の勉強方法を真似してみて、圧倒的な量で試行錯誤を高速で繰り返して、なるべく早いうちに自分なりの勉強法を確立することが合格の近道だと思います。

また、自分は重度のスマホ中毒でしたので、短答直前期から論文合格するまではスマホをTACに持っていかないようにしていました。最初の頃はロッカーに入れて保管するなどしていましたが、スマホがTACにある限り自分はスマホを触りにいってしまうので、最終的にTACにスマホを持ち込まないという結論に至りました。極端な対策ですが、電車などの移動時間や休憩でスマホを見ていた時間が勉強時間になったので、自分的にはこれはかなり効果がありました。勉強中のスマホとの付き合い方に悩んでいる方々にはぜひおすすめしたいです。

### 公認会計士を目指す方へのメッセージ



自分の受験時代を振り返ってみると、自分は非常に環境に恵まれていたなと思います。私立大学に通いながら予備校代を両親に出してもらい、卒業後もアルバイトすることなく受験勉強に専念させてもらいました。

また、両親や高校時代の友人も含め、自分の周りには「お前には無理だからやめておけ」などとマイナスな言葉を言うてくる人はおらず、むしろ「応援してる」「頑張って」と声をかけてくれる人達に囲まれていました。努力をする前にこういった恵まれた環境があったからこそ、なんとか合格することができたんだと思います。

自分のような万馬券を信じて投資してくれた両親、応援してくれた友人、TACの講師・スタッフの方に心から感謝申し上げるとともに、今勉強を頑張っておられる受講生の方々の努力が報われる日が来ることを、心よりお祈り申し上げます。

勉強専念合格



**安井 亮太郎** さん  
立命館大学  
産業社会学部卒業

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学4年生の6月 4年2ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00	目田	12:00	食事
1:00		13:00	
2:00		14:00	TAC 自習
3:00		15:00	
4:00	睡眠	16:00	休憩
5:00		17:00	TAC 講義
6:00		18:00	
7:00		19:00	休憩
8:00	起床	20:00	TAC 自習
9:00	食事 移動	21:00	
10:00		22:00	移動 食事 自由
11:00	TAC 自習	23:00	勉強
12:00	食事	24:00	目田

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約5時間 上級期 約5時間

## TACのココが良かった！

### 自習室

学習初期のころは自宅で勉強することが多く、さぼったりだれてしまうことが多かった。一方、TACの自習室を利用してから周りの受験生たちを横目に勉強することになるので気が引き締まり、さぼったりだれてしまうことはなくなりモチベーション高く勉強できた。

## 勉強する場所を決めてルーティーンを崩さず学習する習慣化が学習継続の鍵

### 公認会計士を目指したきっかけ



私が会計士を知ったのは、大学4年の6月に経理職として内定をいただいた後に将来的にどのようなキャリアがあるのかを調べているときでした。コロナ禍での就活だったため将来的に経理一本でやっていけるのかという不安や会計士になれば多様なキャリアを築けることから、目指す価値があると思い会計士を目指そうと思いました。

### TACを選んだ理由



TACを選んだ理由は大手の予備校であるという信頼感と自宅から通いやすい場所に校舎があったからです。スタッフの方も非常に丁寧で親身になって対応してくださるところが良かったです。また、通学講座を受講しているWEBで講義を受けることができ柔軟に勉強ができる点が魅力的でした。ロッカーや休憩室もあるので一日中勉強する環境が整っている点も非常に良かったと思います。

### 具体的な学習方法



私が学習継続のために気を付けていたことは毎日のルーティーンを崩さないことと休みの日を作ることです。私は毎日の起きる時間、勉強時間、休憩時間、食事の時間、寝る時間を決めていました。毎日決まった時間に決まったことをすることで勉強を日常生活の一部に組み込み習慣化することができます。勉強を習慣化することでモチベーションの有無に関係なく勉強を継続できました。また勉強する場所を決めておくことで勉強モードに入れるのでお勧めです。

休みの日を作ることについては抵抗を感じる人もいるかもしれませんが個人的には長期間勉強し続けるためには必要なことだと思っています。その際に注意してほしいのは休みの日にはしっかりと休むことです。勉強しないと、しなくていいのかなと思いつつ休んでいては体は休まりますが心は休まらないので休む際は休むことに集中することが大事だと思います。そうすれば再び勉強にも取り掛かりやすいと思います。

私は会計士試験全体を通して計算科目を得意にすることを心がけていました。会計士試験では短答式と論文式のいずれにおいても計算科目の配点が高いため、計算科目を得意にすれば他の受験生に差をつけることができると考えていました。そのため入門・基礎期、上級期まではほとんどの時間を計算科目に費やし、問題集を繰り返し解いていました。

またアクセス答練がはじまってからはミスノートを作り直前期に見直せるように準備していました。そのおかげで短答前には計算科目はメンテナンスのみで済み、理論科目の詰め込みに時間を使うことができました。また計算科目を得意にしておくことで論文期もメンテナンスのみで済み論証暗記など理論科目に時間を投下することができます。

理論科目については問題集や答練を解きアウトプット重視で知識の定着を図りました。また間違えた問題はテキストに反映させ一元化することで直前期に一括して復習できるようにしていました。また、論文の理論科目は理解が浅いところは講義を見直したり、講師に疑問点を質問したりすることで理解を深めると論証暗記がはかどると思います。

### 公認会計士を目指す方へのメッセージ



公認会計士試験という高い壁に挑み続けるあなたへ、心からのエールを送ります。会計士試験の勉強はとても長く辛いと感じたり、思うように成績が伸びずに諦めたいことも多いかと思いますがそれに負けず、勉強を続けるという選択をした時点で優勝なのではないかと思っています。

この過酷な道の中で培われる不屈の精神と専門知識はあなたの一生モノの財産となります。継続し続けられれば必ず合格できる試験だと思うので、合格した暁にはそれを武器に人生を切り開いていってください。



**武富 勇太** さん

福岡大学  
商学部卒業

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

高校生の時 4年5ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	食事
2:00		14:00	
3:00	睡眠	15:00	大学 (自習室)
4:00		16:00	
5:00		17:00	
6:00		18:00	食事
7:00	散歩・食事	19:00	
8:00	風呂	20:00	自習室
9:00		21:00	
10:00	大学 (自習室)	22:00	風呂
11:00		23:00	
12:00		24:00	就寝

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約3時間 上級期 約6時間

## TACのココが良かった！

### 学習法セミナー

その時期や置かれた状況によってやることを教えてもらった。頻度も多すぎることなく学習に影響が出ない量であり、何より、その時期にやるべきことを知ることができたので方向性を大きく見失うことがなかった結果、合格できたのだと思う。

**一人で悩まずTACの講師やチューターに相談し、諦めないことが合格の秘訣！**

## 公認会計士を目指したきっかけ



中学2年生の頃、汎用性の高い働き方ができ、高年取ということで税理士に興味があった。そこで商業高校に進学し、簿記の勉強をしていた。

そこで、会計士試験に合格した高校のOBの方と話す機会があり、会計士を知った。会計士の方が資格取得までの期間が短い上に、税理士業務も行えるということを知り、会計士の方がいいと思ったので目指した。

## TACを選んだ理由



大学入学当初、TAC、CPA、大原の大手の予備校があるのは知っていた。高校から大学に進学する際に、会計士試験合格実績があり、かつ、サポート体制が充実している大学を探し、福岡大学商学部の会計専門職プログラムに所属したが、そのプログラムがTACと提携していたため。

## 具体的な学習方法



大学1年の時から、学習を始め、大学4年の時の5月短答に合格し、8月論文は不合格、その1年後、既卒1年目で論文に合格しました。その中で学習継続のために気を付けていたことは、要領よく大学の単位をとって、会計士試験の勉強に支障が出ないようにすることです。大学の授業はテスト勉強を頑張れば講義に出なくてもいい科目や、講義に出ていれば単位をとれる科目をバランスよく履修し、大学の講義の時間で勉強時間が削られないように心がけていました。

また、私自身、家では勉強できないタイプの人間なので、勉強は大学の専用の自習室かTACの自習室で行い、家では一切勉強せずにゲームしたりゴロゴロしたりして、オンとオフのメリハリをつけるようにしていました。

短答・論文ともに直前期には、1日に触れない科目をないようにすることを心がけていました。具体的に、短答直前期には、9時から勉強を始め、短答の財務アクセスと管理アクセス、岡本先生厳選の管理過去問を解き、その後1時間くらい財務理論のテキストを読み込んだ後、昼ごはん(12時くらい)を食べ、少し眠い状態で1時間から1.5時間ほど監査の問題演習(短答理論問題集と過年度生向けの短答対策講義の問題)とテキスト読み込み、短答管理の過去問(1時間しっかり本番形式で)を解き、1時間ほど企業法のテキストを眺めた後、夜ごはん(19時くらい)を食べ、20時くらいの疲れと眠気が現れる時間から連結の総合問題を解き、その後22時まで企業法の短答問題とテキスト読み込みをしました。

ポイントは、午前元気な時に計算をするのと、本試験のタイムスケジュール(昼飯後の監査や夜の連結問題)を意識することです。論文は、科目数が増えるし科目ごとの負担も大きくなりますが、1日に触れない科目をないように3日間で全科目偏りないようにバランスをとるように意識しました。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



まずは、既卒1年目まで勉強専念を支えてくれた親には一番感謝してますね。本当に頭が上がらないです。次にTACの講師や大学の教授の先生方ですね。サポートしてもらえそのおかげで合格できました。最後に、一緒に勉強に励んだ先輩後輩同級生の仲間ですね。みんなのおかげでモチベーションを高く勉強できたと思います。

私は23年目標で勉強開始して24年目標で短答リスタート25年目標で論文リスタートとそれなりに苦労して合格したわけですが、伝えたいことは2つで、一人で悩まないことと、諦めないことですかね。TACには色々な制度があって相談にのってくれる講師やチューターがいっぱいあるのでそれを利用して方向性を大きく外さずに勉強してください。諦めなければ受かるとは言わないですけど、諦めたら絶対受かりませんから、最後まで頑張ってください。

勉強専念合格

# SUCCESS VOICE



**高柳 佑斗** さん  
法政大学  
経済学部卒業

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学2年生 4年5ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	勉強
2:00		14:00	勉強
3:00	睡眠	15:00	食事
4:00		16:00	
5:00		17:00	
6:00		18:00	勉強
7:00		19:00	
8:00	朝準備	20:00	
9:00	移動	21:00	
10:00		22:00	移動
11:00	勉強	23:00	食事
12:00		24:00	睡眠

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約7時間 上級期 約10時間

## TACのココが良かった！

### WEB個人別成績表

答練の点数が一番の指標なので自分の立ち位置が明確に分かったのが良かった。最初は全くできなかったけど、勉強するにつれて成績が上がっていった判定が良かったので、モチベーションという意味でも役立ったと思います。

**サッカーのプロ選手への憧れから、専門性を発揮できる職に魅力を感じ、会計士を目指しました**

## 公認会計士を目指したきっかけ



自分が会計士を目指した理由はプロフェッショナルとしての仕事に魅力を感じたからです。幼少期からサッカーをしており、プロ選手への漠然とした憧れがありました。次第にその憧れから専門性を持った働き方に惹かれるようになりました。こうした想いから会計士を目指しました。

## TACを選んだ理由



TACを選んだ理由は名古屋と東京に校舎があった点です。実家が名古屋で、大学が東京だったので、どちらでも校舎に行って勉強できる環境が備わっていたので選びました。

大学生の時は東京で勉強をして、卒業後は名古屋で勉強し、策略通りに勉強できました。全国各地に校舎があるため、校舎に行って勉強をしたい派の人にはオススメです。

## 具体的な学習方法



校舎に通って勉強していましたが、なるべく輪を広げすぎないように勉強していました。自分自身色んな人と話すのは好きですが、輪を広げすぎるとおしゃべりに時間を取られる可能性があるため、3人程で固まって勉強していました。

自分の持つ全ての時間を勉強に割きたかったため、バイトもサークルも辞めました。大学生の時はなるべくオンライン授業を取って、TACにいけるようにして、一番労力の少ない方法で単位が取れる授業を探して大学の単位を取得していました。友達の誘いはほぼ全て断っていましたが、今考えるとリフレッシュになるなら言ってもよかったかなと思います。

あとモチベーションを上げるという概念を考えないようにしてまいりました。モチベーションを動機に勉強をスタートすると、モチベーションがない日には気分が乗らないという事態に陥るため、モチベーションを一定に保つ方法を常に考えて自分の機嫌を取っていました。具体的には睡眠を削らない、毎朝一定の時間に起きる、答練の日には自信をもって挑めるように準備するなどです。毎日のサイクルがうまく回っていればメンタルがやられることはないですし、不測の事態を回避することができます。そのようにして受験期間を過ごしていました。

勉強についてはとにかく量を意識してやっていました。苦手科目をまずはじめにやって、終わったらその他の科目を勉強するようにしていました。

入門基礎期はとにかく計算に時間を割き問題に慣れることを意識しました。短答直前期はとにかく回転を意識し高速で網羅的に論点に触れることを意識しました。間違えた肢を中心に問題集も隅々まで対策しました。

論文期は理論の量が多かったため、全て暗記するのは無理だと感じました。理解を徹底し、論証例を見ながら反復をくりかえすことで、徐々に覚えていきました。心がけていたことは甘えを許さないことです。これは盛大なことではなく、引っかけ論点があればすぐ解消する、答練を自分なりにしっかり準備するといった具合です。これを守っていたので本試験当日は自信をもって問題に挑めました。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



諦めなければ合格できる試験だと実感しました。自分は合格までに時間がかかりましたが、周囲のサポートのおかげで合格することができました。

会計士を目指されておられる方はそれぞれ制約があったり、抱えているものも様々であると思います。この試験は大変で、ある程度の勉強期間が必要であることは皆さん変わりません。おかれている状況が様々であれ、平等に受かるチャンスがあるため、せつかくなら受験生活を楽しんで乗り切ってください。

どんな人も必ず試験に挑戦する姿勢を応援してくれる味方がいると思います。その人に恩返しをするためにもきつい中ですが、必要以上に悩みを抱えず突き進んでほしいと思います。そうすればこの受験期間を有意義に過ごせると思います。自分の受験生活を支えて下さった全ての方に感謝申し上げます。



**宇都宮 大輝** さん

龍谷大学  
経済学部卒業

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

大学3年後半 4年6ヵ月

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	食事・移動
2:00		14:00	
3:00		15:00	
4:00	睡眠	16:00	
5:00		17:00	TAC 自習
6:00		18:00	
7:00		19:00	
8:00	準備	20:00	
9:00		21:00	
10:00	自習	22:00	移動
11:00		23:00	食事
12:00		24:00	勉強 睡眠

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約1時間 上級期 約3時間

## TACのココが良かった！

### 質問・相談コーナー(校舎)

わからないことがあれば、すぐ解決することができること。京都校に関してはたくさん講師の方々が待機してくださったので、何度も利用させていただいた。また、学習のペースメーカーとして、定期的に講師の方々と会話することもでき、非常に良かった。

## TACに毎日通い、勉強している仲間の姿を見 ることでモチベーションを維持できた

### 公認会計士を目指したきっかけ



私は、大学3年生の最後あたりに会計士を目指そうと思いました。理由として、私は大学で部活動をやっており、その集団は170人を超える大きな組織でした。そこで活動しているうちに、巨大な組織で自らの意見を通すためには、その組織で最も重視される事柄についての実力が必要だと実感しました。それを社会に置き換えた時、その事柄とは突き抜けた専門性だと考え、会計士を目指しました。

### TACを選んだ理由



他の予備校に比べて家から通いやすかったのと、公認会計士試験に限らず、資格の勉強といえばTACというイメージが当時からあったためです。また、TACの受付の方が、私が受講相談に行った際丁寧に教えてくださり、印象がとても良かったですし、予備校に長い歴史があり、これまで多くの合格者を排出している点で信頼できたためです。

### 具体的な学習方法



私は既卒であり、アルバイトを週に1回やっているだけだったため、他の受験者よりも時間的な余裕がありました。そんな中で、家で勉強してばかりではモチベーションの維持が難しかったため、朝は家で勉強し、昼から夜までTAC、または朝から夕方までTAC、夜は家で勉強、といったように1日の2/3はTACに行こうと決め、利用していました。

TACに毎日通い、自分よりも勉強している仲間の姿を見ることが、モチベーションの維持に繋がっていたと思います。さらに、答案練習やアクセスなどで名前をランキングに載せる意識を常に持ちました。それにより、自分のモチベーション以上のパフォーマンスを発揮できていたように感じます。

私は入門期には大学の授業や部活動の関係でほとんど勉強できていませんでした。そのため、入門期について言えることはありません。

上級期、直前期は、毎日10時間はやっていました。勉強方法については、科目ごとの優先順位について、まず財務会計論の計算、管理会計論など、計算科目を固め切ることが最優先だと思います。その次に財務会計論の理論を、計算の知識と絡めながら習得、同時並行的に企業法、監査論を勉強すべきだと考えます。そして、12月に短答式試験を合格すれば、その後は財務会計論の理論、租税法、経営学を最優先でやり、あとはバランスを整えるイメージでやっていました。

短答式試験で意識すべきことは、教材を回転させるスピード感です。浅く広く知識を積めるという意識が大切だと考えます。論文式試験は狭く深く。さらに理解と論証暗記の精度にこだわるべきです。

心掛けていたことは、ルーティンをこなす上でその作業に慣れてしまったと感じた際、何か工夫をするという点です。思考が止まっている状態で勉強を続けても、それ以上の収穫はありません。頭を使って様々なことを考えることで、脳の活性化につながると考えていたため、それを強く意識しました。

### 公認会計士を目指す方へのメッセージ



合格のポイントは、試行錯誤をして脳に負荷をかけることです。例えば、過去問演習ばかりを行い、解答を覚えているだけに関わらずできた気になることや、テキストの文字を精読しているだけで、他の論点のつながりを意識しないなどがあります。脳に負荷をかけなければ、脳を活性化することはできず自分の脳の限界値を引き上げることはできません。そこで試行錯誤してください。不安に思うなら、勉強方法があっているかを講師の方に相談してください。正しい努力を行えば、公認会計士試験は合格できます。

最後に、私が合格できたのは99%、周りの方々のおかげです。切磋琢磨できた京都校の人たち、講師の方々、家族、友人、彼女。本当に素敵な方々に囲まれました。ありがとうございました。

## SUCCESS VOICE



**飯田 大賀** さん  
東京農業大学  
応用生物科学部卒業

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

社会人のとき 5年0ヵ月

### 1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	食事
2:00		14:00	
3:00		15:00	
4:00	睡眠	16:00	
5:00		17:00	TAC
6:00		18:00	
7:00		19:00	
8:00	起床	20:00	
9:00	食事	21:00	
10:00	移動	22:00	移動
11:00	TAC	23:00	食事自由
12:00		24:00	就寝

### 1日の平均学習時間

入門・基礎期 約10時間 上級期 約10時間

## TACのココが良かった！

### 【個別】成績・学習方法相談

私は専念で学習していて、かつ一時期校舎に通って勉強できない時期があったため、個別に講師の先生方に学習方法の悩みを相談できたのは非常に有難かったと感じている。おかげで、最後まで色々な方々の協力があったからこそ、合格できたのだと思っている。

**合格に必要な箇所のみしっかり載せた教材は、基礎の徹底にはとても使い勝手が良かった**

## 公認会計士を目指したきっかけ



前職で食品会社の品質管理の仕事をしていた際に、製品の信頼を保証し、工場の仕組み作りに貢献しており、また大学3年生の頃から日商簿記の勉強を通じて、製造工程の原価計算に関心があったことから、会計知識を使って、監査・内部統制業務を行う公認会計士の仕事に魅力を感じて、志そうと思いました。

## TACを選んだ理由



教材及び講師の先生方がとても素晴らしかったからです。まず、教材は合格に必要な箇所のみしっかり載せてあり、基礎を徹底し直すにはとても使い勝手が良かったからです。

また、講師の先生方は関東と関西でそれぞれ選ぶことができ、自分の特性に応じた学習スタイルをとることができると思ったので、TACを選びました。

## 具体的な学習方法



まず新卒で約半年間働いていた時期は、仕事と勉強を両立させるのは難しいと感じており、仕事の日にはなるべく朝早く起きて勉強して、昼休みや帰宅後も勉強と結構しんどくなり、退職を決意しました。

退職して専念して、そこから約4年かけて試験に合格したわけですが、中でも家族や親戚のサポートは大きかったと感じております。勉強で思うように成績が上がらなかつたり、勉強のやりすぎでなかなかそれ以外の事に手が回らなかったとき、家事などの身の回りの世話をほとんどして頂いていて、本当に感謝しきれない気持ちでいっぱいです。途中でくじけそうにもなりましたが、そのおかげで何とか最後まで勉強を続けることができ、今回無事合格できたのだと思っています。

主な使用教材…財務会計論(計算):テキストとアクセス、財務会計論(理論):テキスト、管理会計論:テキストとアクセス、監査論:テキスト、企業法:テキストと答練、租税法:テキストとアクセス、経営学:テキストと答練

勉強方法…計算科目:短答及び論文の学習初期はとにかく基礎的な計算演習を心がけました。主にテキストの例題とアクセスを自分のものにできるまで、何度も繰り返し解きました。逆に答練などは、時間を図って初見で何問解けるのかを試すのが目的だったので解き捨てでした。

理論科目:主に計算科目の学習がある程度進んだ頃、まず講義を視聴して内容を理解してから、テキスト等のマーキング作業を行っていました。次に、短答では一問一答形式の問題集、論文では答練などを活用して、アウトプットの演習を行っていました。そして本試験の直前期は、計算科目以上に理論科目に重きを置き、テキストを使った基礎的なインプットを再度心がけました。

気分転換の方法…勉強が思うように進まないときは、いったん机から離れるよう心がけていました。例えば、美味しいものを食べたり、映画を見たり、人と話したり、公認会計士になったら何をしたいかなどを考えるようにして、気分転換をしていました。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



やはり基礎を徹底することと、講師の先生の言うことにはきちんと耳を傾けるべきだと考えております。何故なら、自己流でいい加減なやり方で勉強していても成績は上がらないし、合格に必要な年数やお金もその分多くかかってしまうからです。

私は色々な学習方法に紆余曲折ながらも、家族や親戚、講師の先生など色々な方々の支えがあったからこそ、今回無事論文式試験に合格できたのだと思っているので、今まで自分を支えて下さった方々に恩返しをしていくとともに、これからクライアントや社会のニーズに応えていけるような、思いやりと優しさを兼ね揃えた公認会計士を目指していきたいと考えております。



**坂本 龍一** さん  
 中京大学  
 経営学部卒業

会計士を目指そうと思った時期 **30歳ころ** 合格までの期間 **5年0ヵ月**

## 1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	食事
2:00	睡眠	14:00	
3:00		15:00	
4:00		16:00	
5:00		17:00	勉強
6:00	起床	18:00	
7:00	食事 移動	19:00	
8:00		20:00	
9:00		21:00	食事
10:00	勉強	22:00	自由時間
11:00		23:00	勉強
12:00		24:00	睡眠

## 1日の平均学習時間

入門・基礎期 **約7時間** 上級期 **約7時間**

## TACのココが良かった！

### 学習法セミナー

受講生のそれぞれの状況に合わせた、学習方針や学習スケジュールを示してくださり大変参考になりました。また、メンタルの保ち方や受験当日の持ち物に至るまで、あらゆる面でサポートして下さったことがありがたかったです。

**TACの講師・チューター等の人に頼ること、  
「絶対に合格するんだ」という覚悟が大切です**

## 公認会計士を目指したきっかけ



コロナ禍に社会の状況が変わる様を目の当たりにした頃です。どのような状況においても自分の力で生きていくスキルを身に付けたいと考えたことや、これまでの仕事では調整業務にあたることが多く、クライアントの課題解決ができるような仕事をしたいと考えたことなどから会計士を目指しました。

## TACを選んだ理由



学生時代は学内の行政書士講座、FP講座、大学卒業後は転職あたり公務員講座でTACを利用していました。これまで複数の講座をTACで受講し結果を出せており、信頼感があったことからTACを選びました。

また、TAC名古屋校では講師に直接教えを乞えること、多くの教室が自習室として解放されており学習環境が整っていることも選択した理由の一つです。

## 具体的な学習方法



私は「勉強のやり過ぎで死ぬことはない」と自分を追い込んだ時期がありましたが、体調を崩し、一定期間勉強ができなくなりました。これでは本末転倒です。過去の私は、頑張っている他の受講生を見ると「自分なんか休んでいいわれない」と考え、頑張る軸を他者との比較に置いていました。

しかし、同じ会計士講座の受講生でも、年齢や体力、生活環境など前提条件はそれぞれ異なります。それに気づいてからは他人と比べることをやめ、疲れたら早めに帰り、週に1回は半日、2週間に1回は一日休むようにしました。その代わり「昨日の自分を超える」ことを意識しました。

現在学習中で、少し無理をし過ぎていと感じる方は、頑張る軸を見直し、日々のタスクとして「休息」を取ることも検討してみてください。

私は受験期間が長期化したので、その失敗談についてお話しします。最大の失敗は「人に頼らなかった」ことです。わからない問題があっても、わからないところがわからないから講師には質問できないと考えたり、成績がいい受験仲間に対してもプライドが邪魔をして質問ができませんでした。その結果、わからないことを一人で何時間も考えたり、理解が不十分なまま学習を進めてしまい、成績は思うようには伸びませんでした。

ここでやっかいだったのは、数年勉強すると、その過程で少しずつ理解が進み、少しずつ成績が伸びたことでした。その事実に加え、これまでのスタイルを変えることなく、独りよがりの勉強は続きました。短答期もそれで乗り越えられましたが、論文期は伸びが鈍化し、気づけば3振り一チ。

さすがに危機感が芽生え、恥ずかしさやプライドなどは捨てて、講師への学習相談、作成した答案の直接指導を乞うたり、友人にアドバイスを乞うなど、独りよがりの勉強から脱却すべく、やった方がいいと思うことは全てやりました。結果として論文3年目の成績は大幅に上昇し、これなら合格できるだろうと自信を持てるレベルに到達。本試験も多少の余裕をもって合格することができました。

この試験は一人きりで乗り切れることは難しいと思います。TACには講師、チューター、受講生など様々な方と接点を持てる機会が多くあるので、是非それを有効活用し、人に頼ってみてください。

## 公認会計士を目指す方へのメッセージ



難関国家資格といわれますが、特別な才能は不要です。合格に必要な素養を強いて挙げるとすれば、『覚悟』だと思います。私の体感では入門期に学習を始めた受講生のうち半数は短答式試験を受験することなく撤退している印象です。もちろん、中にはどうしようもない事情によるものもあるかもしれませんが、それだけ厳しい道のりだということは認識しておくべきです。

これから目指す方は「合格できればいいなあ」ではなく「絶対に合格するんだ」という覚悟をもって臨んでください。覚悟さえあれば後はどうにかなるはずで。応援しています！



## 令和7年度 公認会計士試験 合格体験記

本書は、著作権法によって、著作権等の権利が保護されている著作物です。

本書の全部または一部につき、無断で転載、複写されると、著作権等の権利侵害となります。



**TAC**